

京都市
母子保健に関する意識調査
【結果報告書】

令和元年 6 月

京都市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査設計	1
3 回収結果	1
4 報告書の見方	1
II. 調査結果	2
1 健康診査を受けられたお子さまと母親の状況について	2
2 産前・産後のことについて	10
3 子育てについて	22
4 子どもの事故予防について	43
5 飲酒や喫煙について	50
6 食生活やお口の健康について	61
7 母子保健に関連するサービス等の利用状況について	80

1. 調査の概要

1 調査の目的

子育て中の母親の健康に対する意識や家庭での育児の状況，母子保健サービスについての意見等を把握し，今後の本市の母子保健施策等の充実に向けた基礎資料とすること。

2 調査設計

- 調査対象者：平成30年9月3日～9月28日の間に区役所・支所子どもはぐくみ室における乳幼児健康診査（4か月児，8か月児，1歳6か月児，3歳児）に来所した保護者
- 調査期間：平成30年9月3日～10月12日
- 調査方法：区役所・支所子どもはぐくみ室における乳幼児健康診査会場でアンケート票配布・郵送回収

3 回収結果

		調査対象者（配布数）	有効回収数	有効回収率
母子保健に関する意識調査		3,162件	1,327件	42.0%
（参考）	平成25年調査	4,332件	1,725件	39.8%
	平成20年調査	3,906件	1,726件	44.2%

4 報告書の見方

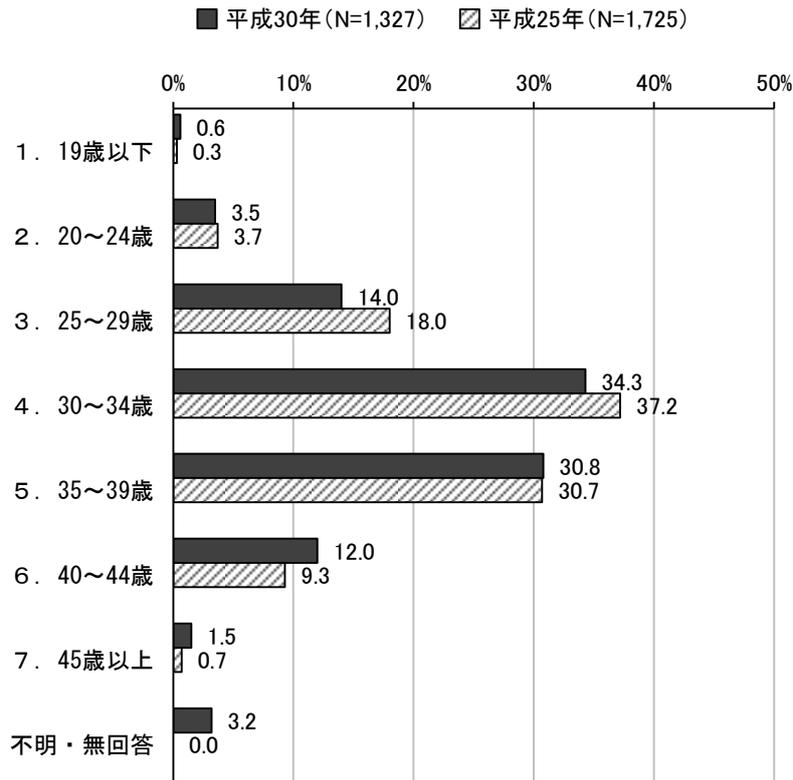
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して，それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため，単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは，本報告書内の分析文，グラフ，表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合，回答は選択肢ごとの有効回答数に対して，それぞれの割合を示しています。そのため，合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは，回答が示されていない，又は回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N（number of case）」は，集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について，長い文は簡略化している場合があります。
- 設問によっては，結果を詳細に分析するため，クロス集計表を掲載しています。

II. 調査結果

1 健康診査を受けられたお子さまと母親の状況について

問1 あなたの現在の年齢をお答えください。(〇は1つ)

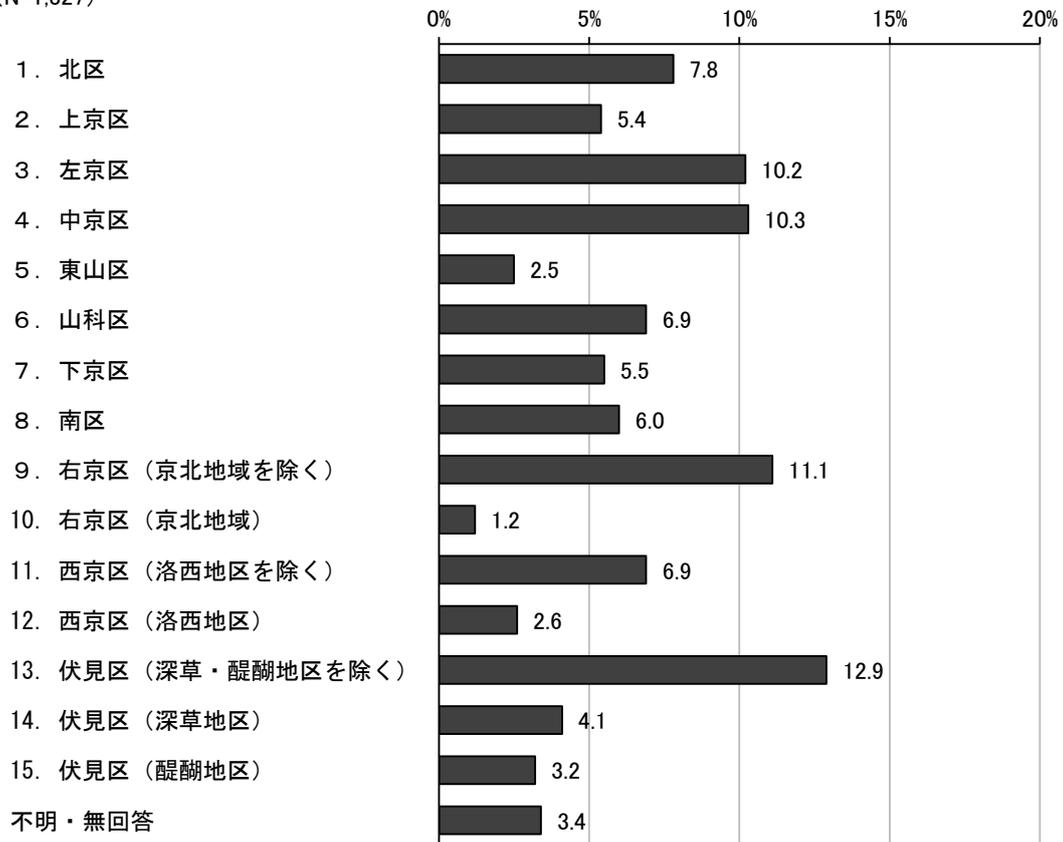
「30～34歳」が34.3%と最も高く、次いで「35～39歳」が30.8%、「25～29歳」が14.0%となっています。



問2 現在のお住まいの区をお答えください。(〇は1つ)

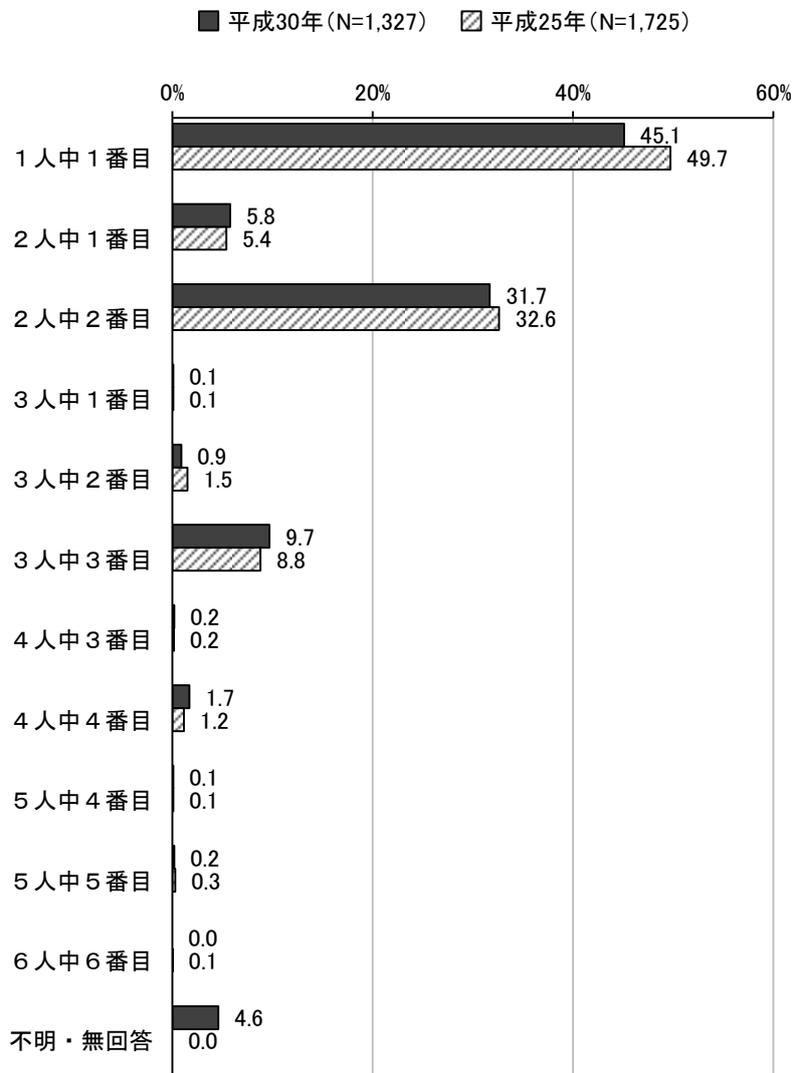
「13. 伏見区（深草・醍醐地区を除く）」が12.9%と最も高く、次いで「9. 右京区（京北地域を除く）」が11.1%、「4. 中京区」が10.3%となっています。

(N=1,327)



問3 今回の健康診査を受けられたお子さまは兄弟姉妹の何人中何番目ですか。

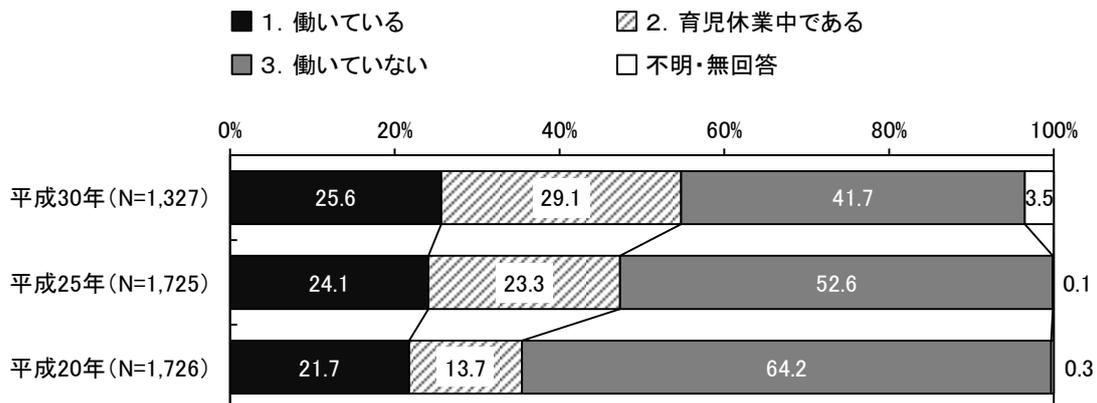
「1人中1番目」が45.1%と最も高く、次いで「2人中2番目」が31.7%、「3人中3番目」が9.7%となっています。



問4(1) 現在あなたは働いていますか。(〇は1つ)

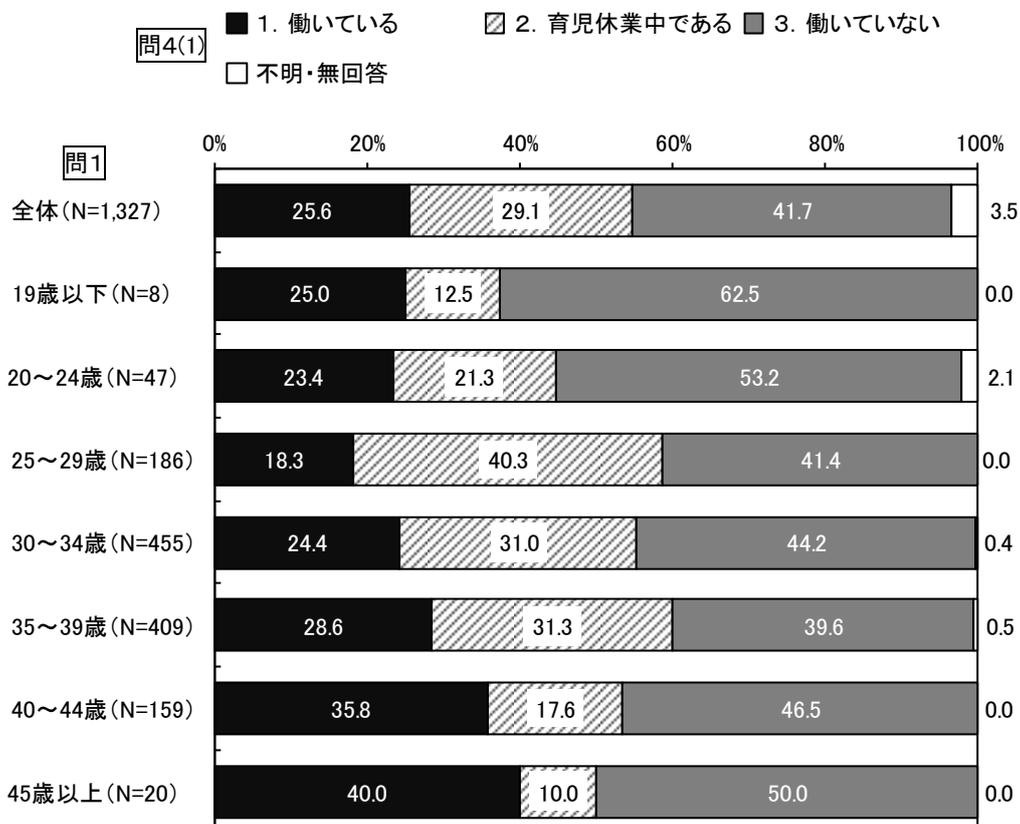
「3. 働いていない」が41.7%と最も高く、次いで「2. 育児休業中である」が29.1%となっています。

過去調査と比較すると、「2. 育児休業中である」が平成25年より5.8ポイント、平成20年より15.4ポイント高く、「3. 働いていない」が平成25年より10.9ポイント、平成20年より22.5ポイント低くなっています。



《問4(1) 就労状況 × 問1 年齢別》

30歳以上については、年齢が上がるほど、「1. 働いている」の割合が高くなる傾向がみられます。



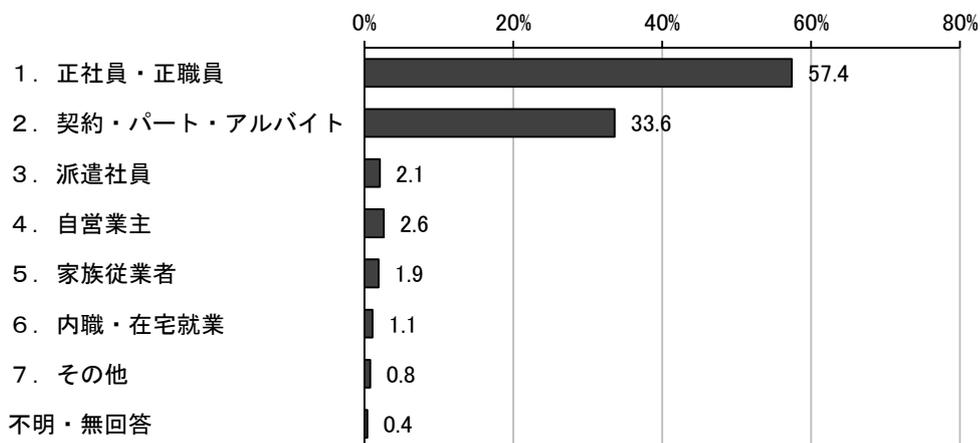
※不明・無回答除く

問4(1)で「1」または「2」と答えた方

問4(2) あなたの就労形態についてお答えください。(〇は1つ)

「1. 正社員・正職員」が57.4%と最も高く、次いで「2. 契約・パート・アルバイト」が33.6%、「4. 自営業主」が2.6%となっています。

(N=726)



《問4(2) 就労形態 × 問5 世帯の昨年1年間の可処分所得別》

世帯の昨年1年間の可処分所得別にみると、「0～100万円」「101万～200万円」では回答者の就労形態が「契約・パート・アルバイト」、それ以外の区分では「正社員・正職員」の割合が最も高くなっています。

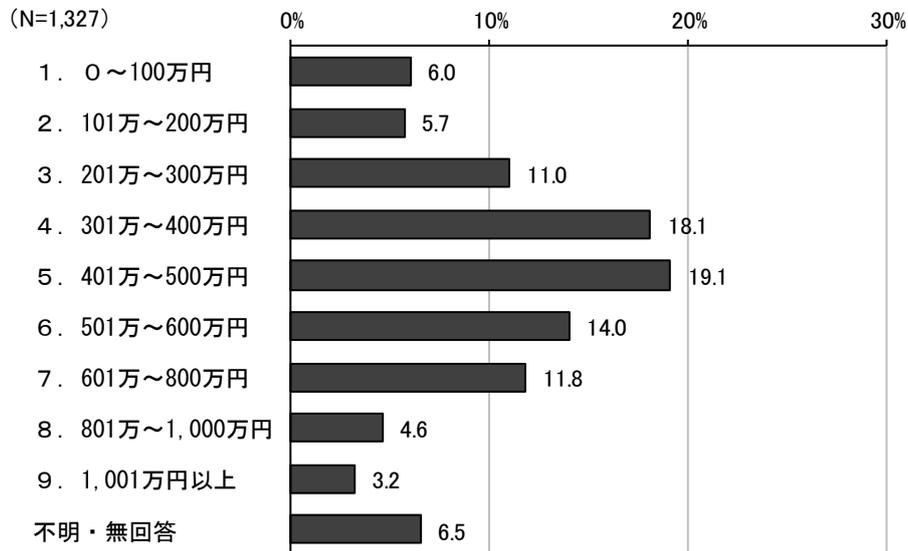
上段:件数 下段:%	合計	正社員・正職員	契約・パート・アルバイト	派遣社員	自営業主	家族従業者	内職・在宅就業	その他	不明・無回答	
全体	726 100.0	417 57.4	244 33.6	15 2.1	19 2.6	14 1.9	8 1.1	6 0.8	3 0.4	
世帯の可処分所得別	0～100万円	53 100.0	6 11.3	38 71.7	0 0.0	3 5.7	2 3.8	1 1.9	2 3.8	1 1.9
	101万～200万円	56 100.0	16 28.6	32 57.1	1 1.8	4 7.1	2 3.6	1 1.8	0 0.0	0 0.0
	201万～300万円	86 100.0	51 59.3	30 34.9	0 0.0	0 0.0	5 5.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	301万～400万円	114 100.0	67 58.8	38 33.3	4 3.5	2 1.8	0 0.0	1 0.9	2 1.8	0 0.0
	401万～500万円	125 100.0	70 56.0	45 36.0	5 4.0	3 2.4	0 0.0	2 1.6	0 0.0	0 0.0
	501万～600万円	113 100.0	78 69.0	28 24.8	2 1.8	1 0.9	3 2.7	0 0.0	1 0.9	0 0.0
	601万～800万円	91 100.0	70 76.9	16 17.6	1 1.1	3 3.3	0 0.0	1 1.1	0 0.0	0 0.0
	801万～1,000万円	36 100.0	28 77.8	6 16.7	0 0.0	1 2.8	0 0.0	1 2.8	0 0.0	0 0.0
	1,001万円以上	27 100.0	19 70.4	4 14.8	1 3.7	2 7.4	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※不明・無回答除く

問5 あなたの世帯の昨年1年間（平成29年1月1日～12月31日）の可処分所得（実収入から税金や社会保険料等を引いたいわゆる手取り収入）はおおよそどのくらいですか。

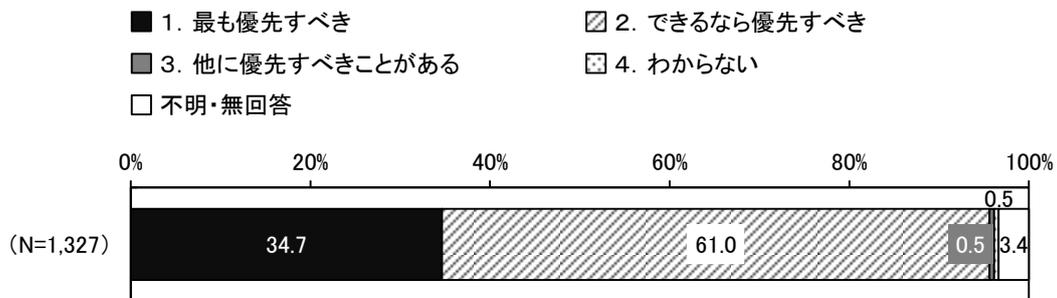
（○は1つ）

「5. 401万～500万円」が19.1%と最も高く、次いで「4. 301万～400万円」が18.1%、「6. 501万～600万円」が14.0%となっています。



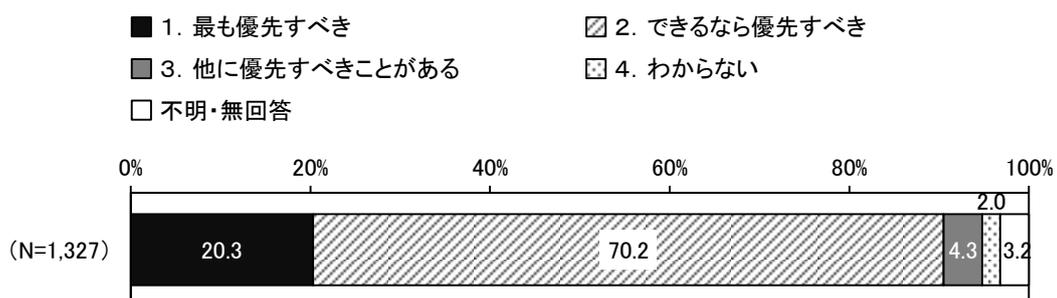
問6(1) 日々の生活において、子育てにかかる時間は優先すべきだと思いますか。（○は1つ）

「2. できるなら優先すべき」が61.0%と最も高く、次いで「1. 最も優先すべき」が34.7%となっています。



問6(2) 日々の生活において、子育てにかかるお金は優先すべきだと思いますか。（○は1つ）

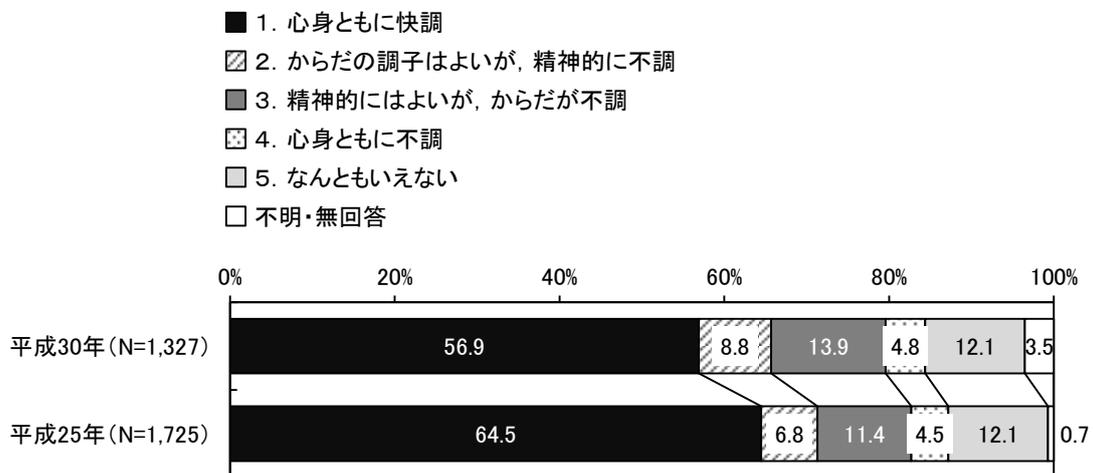
「2. できるなら優先すべき」が70.2%と最も高く、次いで「1. 最も優先すべき」が20.3%、「3. 他に優先すべきことがある」が4.3%となっています。



問7 現在のあなたの気持ちやからだの調子はいかがですか。(○は1つ)

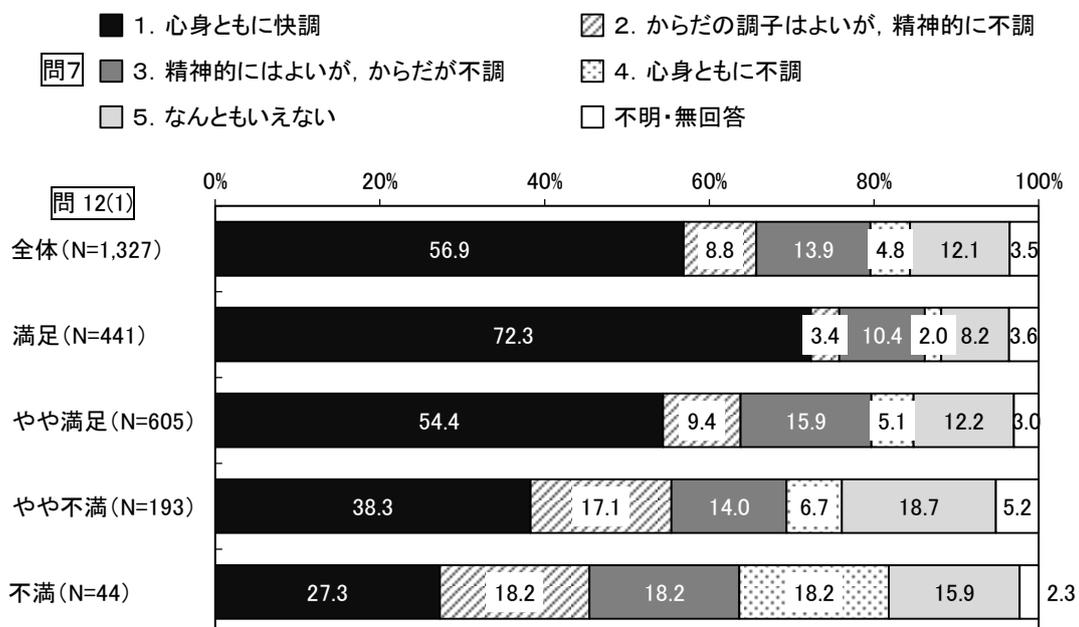
「1. 心身ともに快調」が56.9%と最も高く、次いで「3. 精神的にはよいが、からだの不調」が13.9%、「5. なんともいえない」が12.1%となっています。

平成25年と比較すると、「1. 心身ともに快調」が7.6ポイント低くなっています。



《問7 現在の心身の調子 × 問12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

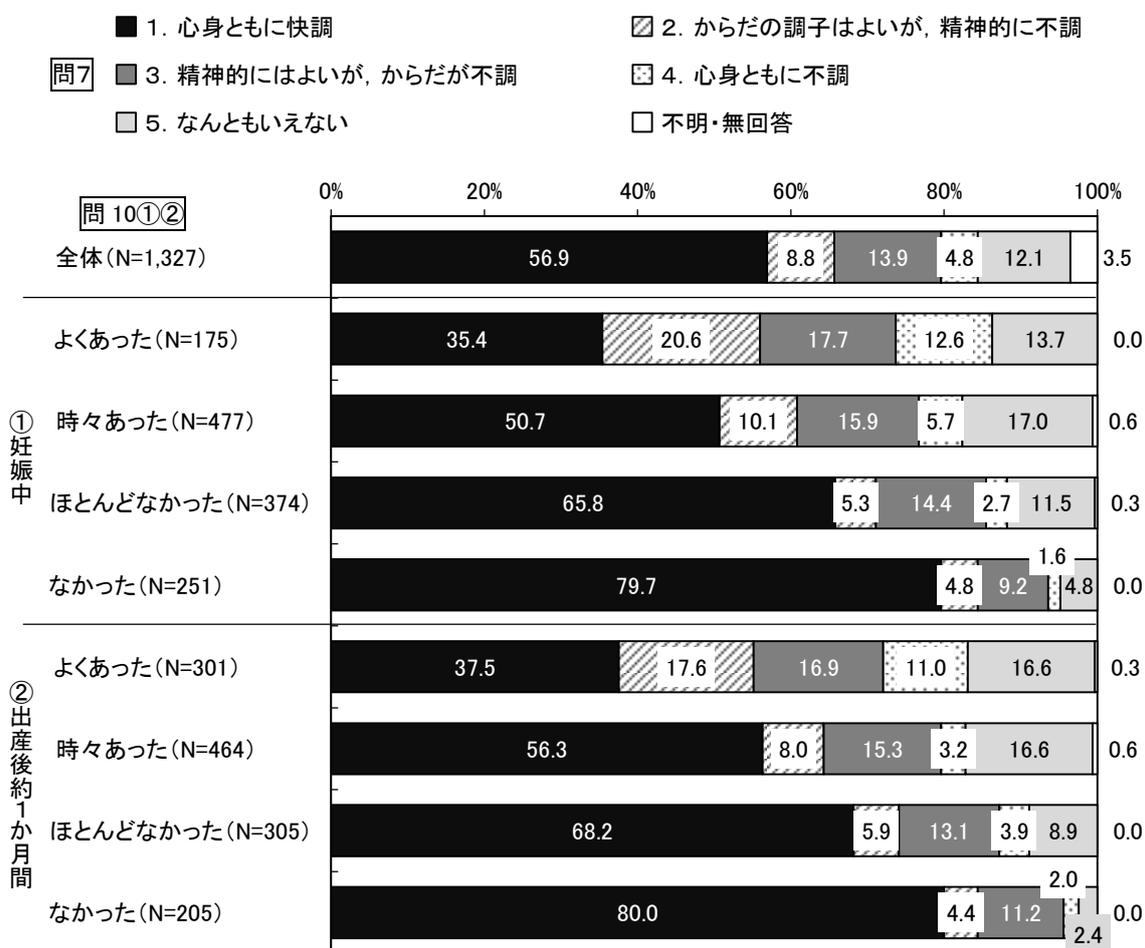
すべての区分で回答者の現在の心身の調子が「1. 心身ともに快調」の割合が最も高くなっていますが、家族や公的なサポートに対して「やや不満」「不満」では「1. 心身ともに快調」の割合が2～3割となっており、満足度が低くなるほど割合が低くなる傾向がみられます。



※不明・無回答除く

《問7 現在の心身の調子 × 問10①② 妊娠中・出産後1か月間の落ち込みやイライラ感の頻度別》

①妊娠中, ②出産後約1か月間ともに, すべての区分で回答者の現在の心身の調子が「1. 心身ともに快調」の割合が最も高くなっていますが, 妊娠中・出産後約1か月間に落ち込みやイライラ感が「よくあった」では, 「1. 心身ともに快調」の割合が他の区分よりも低く, 3割にとどまっています。



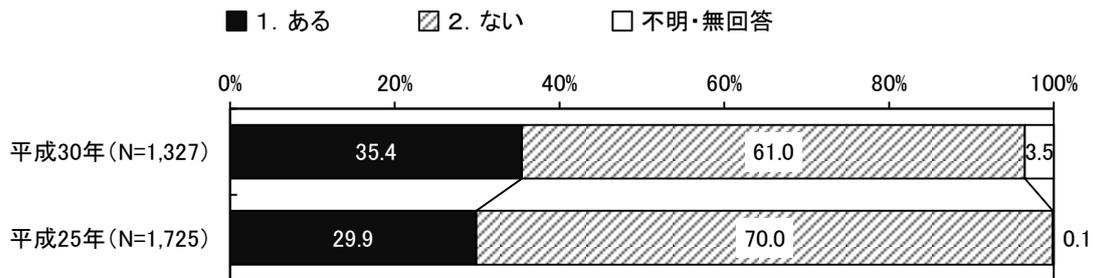
※不明・無回答除く

2 産前・産後のことについて

問8(1) 不妊について悩んだことはありますか。(〇は1つ)

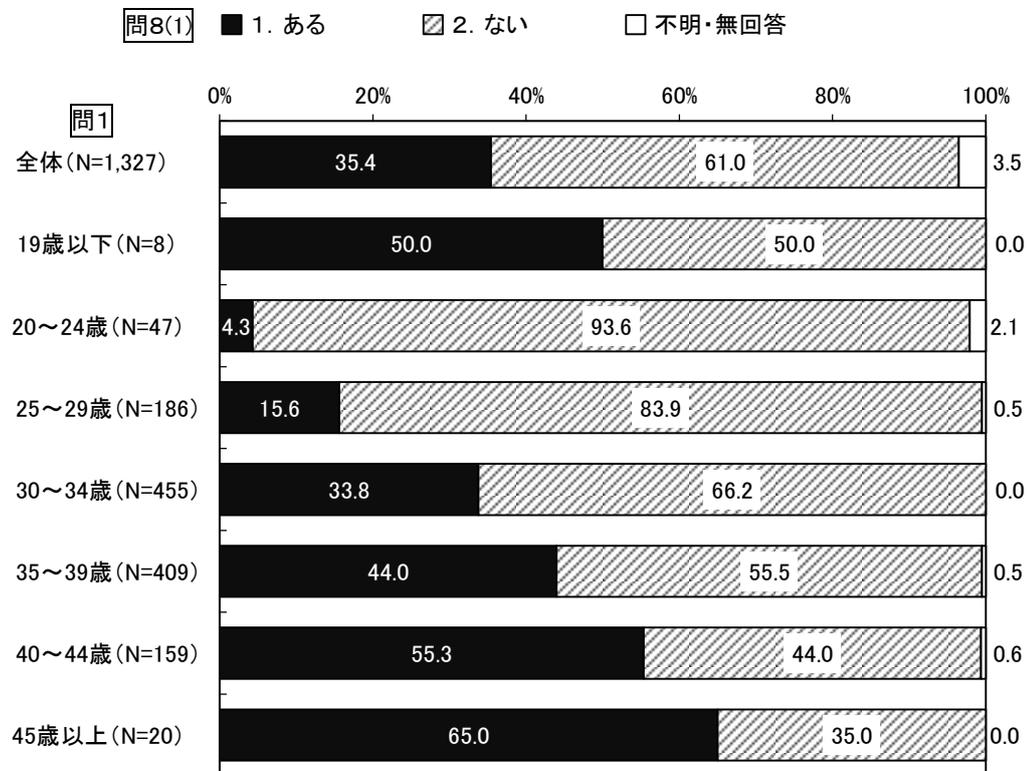
「1. ある」が35.4%、「2. ない」が61.0%となっています。

平成25年と比較すると、「2. ない」が9.0ポイント低く、「1. ある」が5.5ポイント高くなっています。



《問8(1) 不妊について悩んだことの有無 × 問1 年齢別》

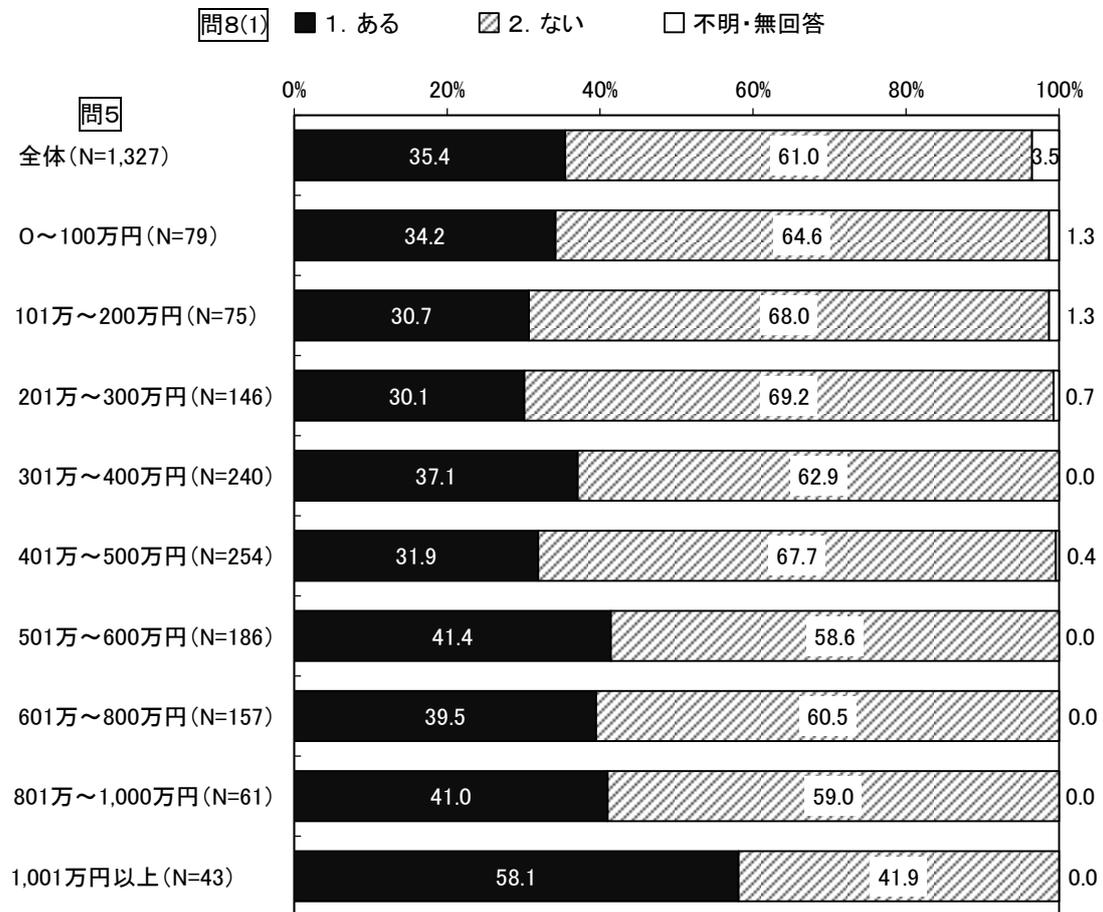
40歳以上では、不妊について悩んだことが「1. ある」の割合が半数を超えており、年代が上がるほど割合が高くなる傾向がみられます。



※不明・無回答除く

《問8(1) 不妊について悩んだことの有無 × 問5 世帯の昨年1年間の可処分所得別》

世帯の昨年1年間の可処分所得が「1,001万円以上」では、不妊について悩んだことが「1. ある」の割合が半数を超えています。



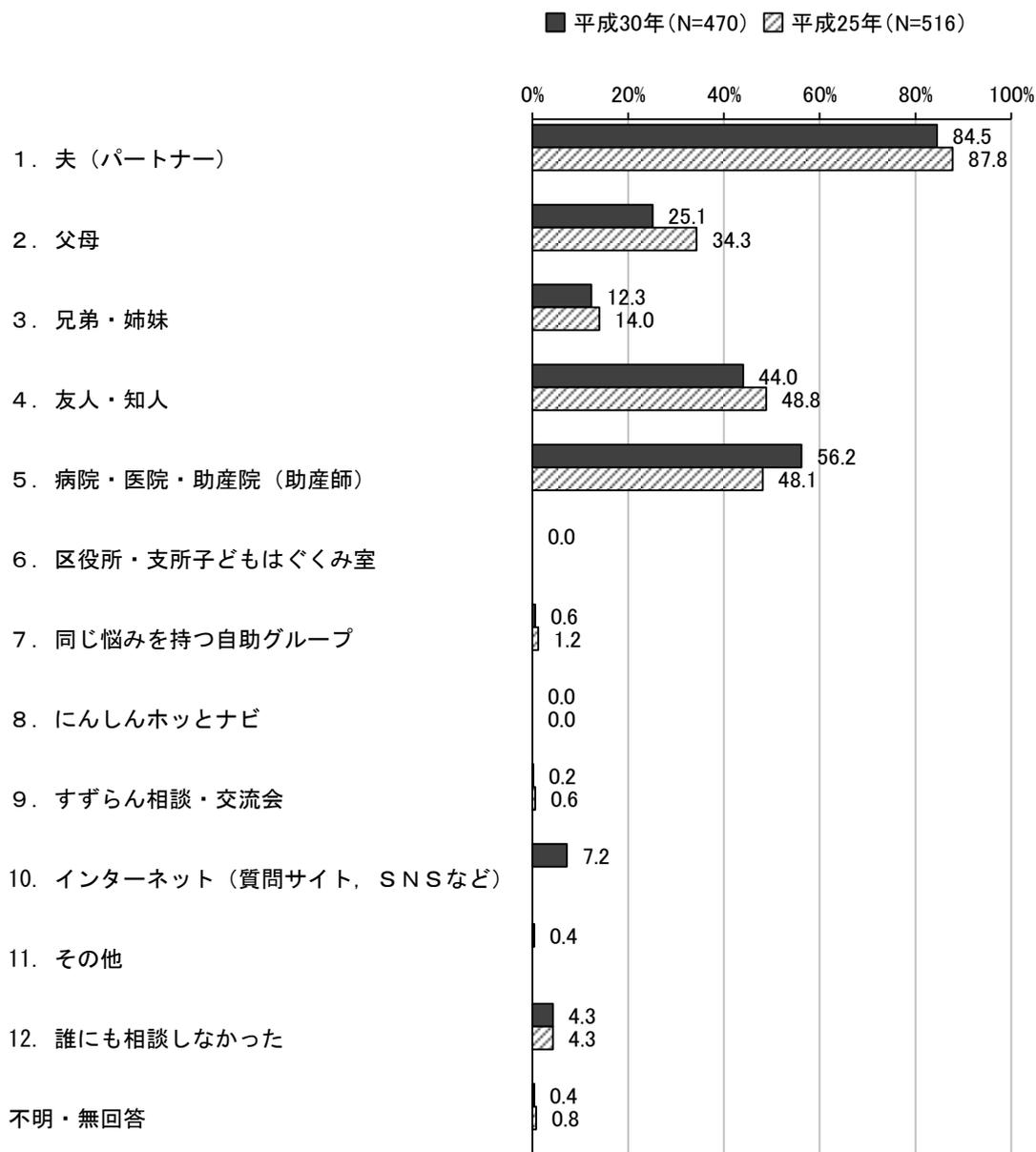
※不明・無回答除く

問8(1)で「1. ある」と答えた方

問8(2) その悩みは誰かに、またはどこかに相談しましたか。(〇はいくつでも)

「1. 夫（パートナー）」が 84.5%と最も高く、次いで「5. 病院・医院・助産院（助産師）」が 56.2%、「4. 友人・知人」が 44.0%となっています。

平成 25 年と比較すると、「2. 父母」が 9.2 ポイント低く、「5. 病院・医院・助産院（助産師）」が 8.1 ポイント高くなっています。



※「6. 区役所・支所子どもはぐくみ室」「10. インターネット（質問サイト、SNSなど）」「11. その他」は平成 30 年のみの選択肢

《問8(2) 不妊に関する悩みの相談先 × 問1 年齢別》

「20～24歳」「45歳以上」では、不妊に関する悩みの相談先について「夫(パートナー)」と「病院・医院・助産院(助産師)」が同率で最も高く、それ以外の年齢区分では「夫(パートナー)」の割合が最も高くなっています。

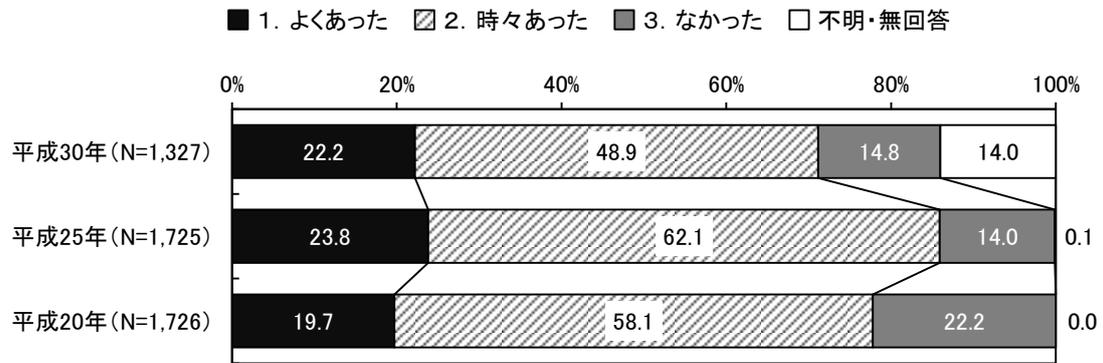
上段:件数 下段:%		合計	夫(パート ナー)	父母	兄弟・姉妹	友人・知人	病院・医院・助 産院(助産師)	区役所・支所 子どもはぐく み室	同じ悩みを持 つ自助グルー プ
全 体		470 100.0	397 84.5	118 25.1	58 12.3	207 44.0	264 56.2	0 0.0	3 0.6
年 齢 別	19歳以下	4 100.0	4 100.0	2 50.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
	20～24歳	2 100.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	25～29歳	29 100.0	23 79.3	10 34.5	2 6.9	11 37.9	15 51.7	0 0.0	0 0.0
	30～34歳	154 100.0	131 85.1	49 31.8	22 14.3	70 45.5	77 50.0	0 0.0	1 0.6
	35～39歳	180 100.0	151 83.9	32 17.8	21 11.7	80 44.4	111 61.7	0 0.0	2 1.1
	40～44歳	88 100.0	74 84.1	18 20.5	11 12.5	39 44.3	46 52.3	0 0.0	0 0.0
	45歳以上	13 100.0	12 92.3	6 46.2	2 15.4	4 30.8	12 92.3	0 0.0	0 0.0

上段:件数 下段:%		合計	にんしんホッ とナビ	すずらん相 談・交流会	インターネッ ト(質問サイ ト, SNSな ど)	その他	誰にも相談し なかった	不明・無回答
全 体		470 100.0	0 0.0	1 0.2	34 7.2	2 0.4	20 4.3	2 0.4
年 齢 別	19歳以下	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～24歳	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	25～29歳	29 100.0	0 0.0	0 0.0	4 13.8	1 3.4	1 3.4	0 0.0
	30～34歳	154 100.0	0 0.0	0 0.0	10 6.5	0 0.0	6 3.9	0 0.0
	35～39歳	180 100.0	0 0.0	1 0.6	10 5.6	1 0.6	6 3.3	2 1.1
	40～44歳	88 100.0	0 0.0	0 0.0	8 9.1	0 0.0	7 8.0	0 0.0
	45歳以上	13 100.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※不明・無回答除く

問9(1) あなたはお子さまを妊娠中に、妊娠・出産・育児について心配なことや不安なことがありましたか。(〇は1つ)

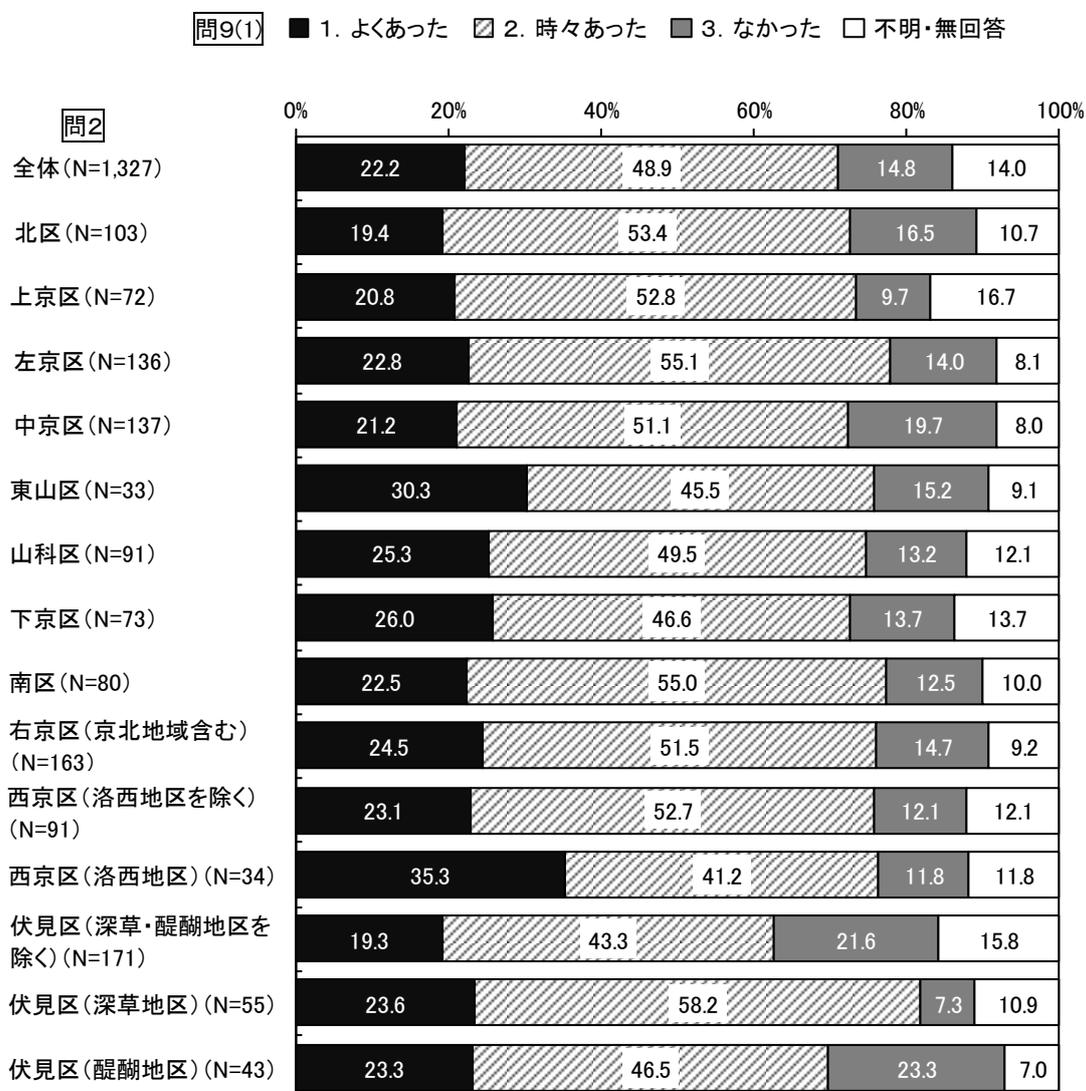
「2. 時々あった」が48.9%と最も高く、次いで「1. よくあった」が22.2%となっています。
過去調査と比較すると、「2. 時々あった」が平成25年より13.2ポイント、平成20年より9.2ポイント低くなっています。



《問9(1) 妊娠中の妊娠・出産・育児について心配や不安なことの有無 × 問2 居住区別》

すべての居住区において、「2. 時々あった」の割合が最も高くなっています。

また、「東山区」「西京区（洛西地区）」では「1. よくあった」の割合が全体よりも特に高くなっています。

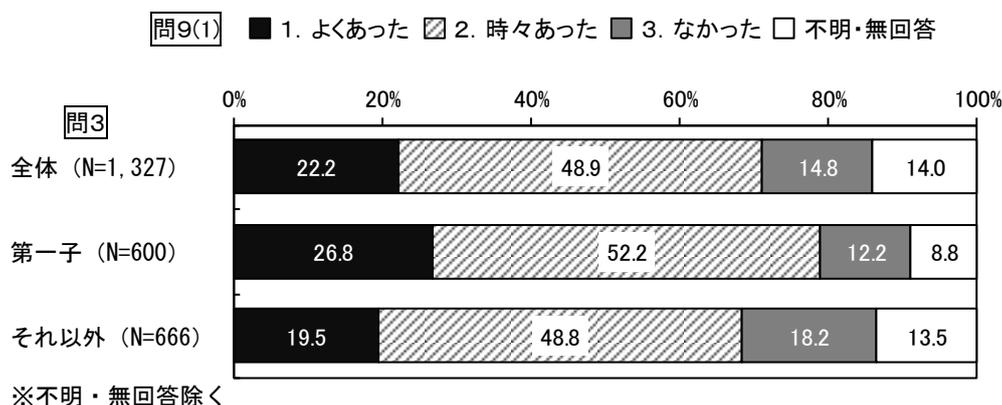


※不明・無回答除く

《問9(1) 妊娠中の妊娠・出産・育児について心配や不安なことの有無 × 問3 健診を受けた子ども別》

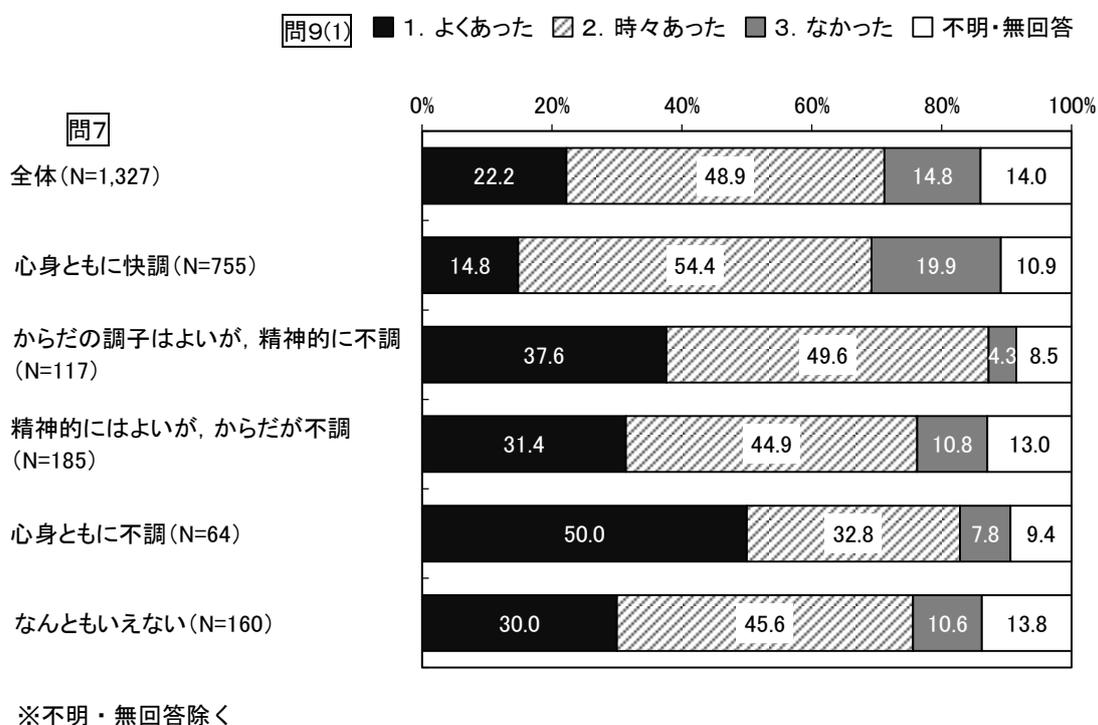
健診を受けた子どもの出生順のすべての区分で「2. 時々あった」の割合が最も高くなっています。

また、「第一子」と「それ以外」を比較すると、「第一子」の方が、妊娠中の妊娠・出産・育児について心配や不安なことが「あった（「よくあった」と「時々あった」の合計）」の割合が10.7ポイント高くなっています。



《問9(1) 妊娠中の妊娠・出産・育児について心配や不安なことの有無 × 問7 現在の心身の調子別》

回答者の現在の心身の調子が「心身ともに不調」では、妊娠中の妊娠・出産・育児について心配や不安なことが「1. よくあった」の割合が最も高く、50.0%となっています。

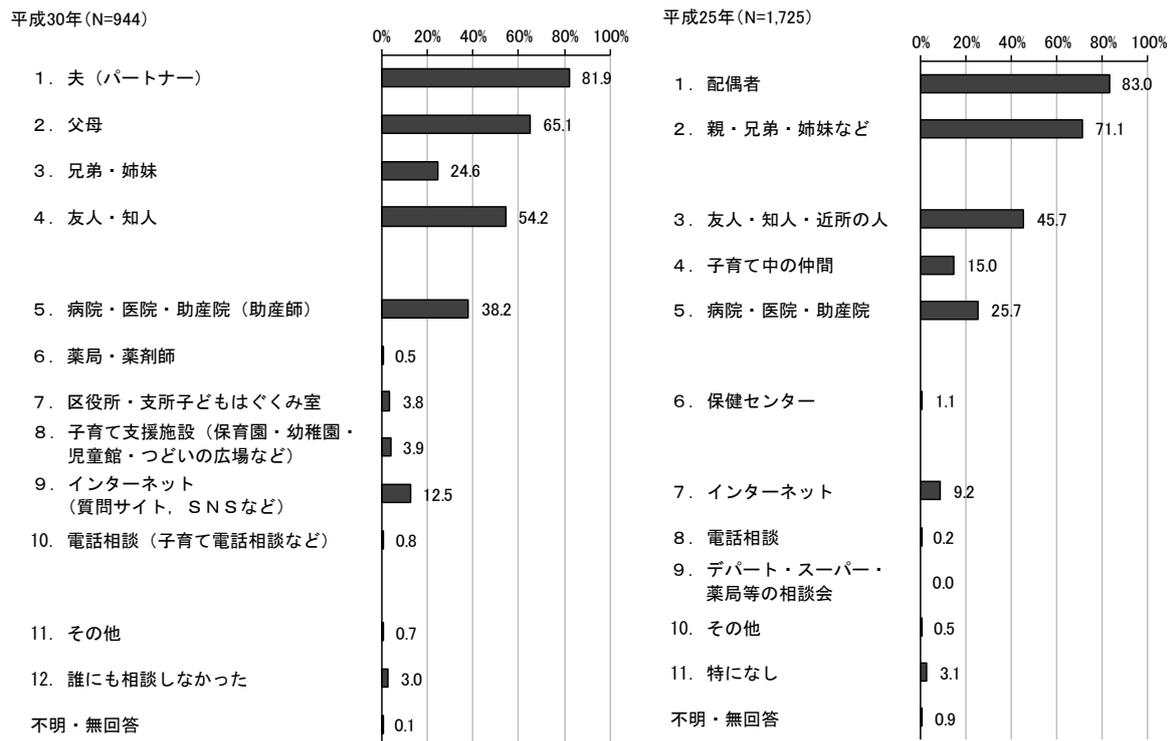


問9(1)で「1」または「2」と答えた方

問9(2) あなたは妊娠中の悩みや不安について、誰かに、またはどこかに相談しましたか。
(〇はいくつでも)

「1. 夫（パートナー）」が81.9%と最も高く、次いで「2. 父母」が65.1%、「4. 友人・知人」が54.2%となっています。

平成25年と比較すると、「5. 病院・医院・助産院（助産師）」（平成25年は「5. 病院・医院・助産院」）が12.5ポイント高くなっています。

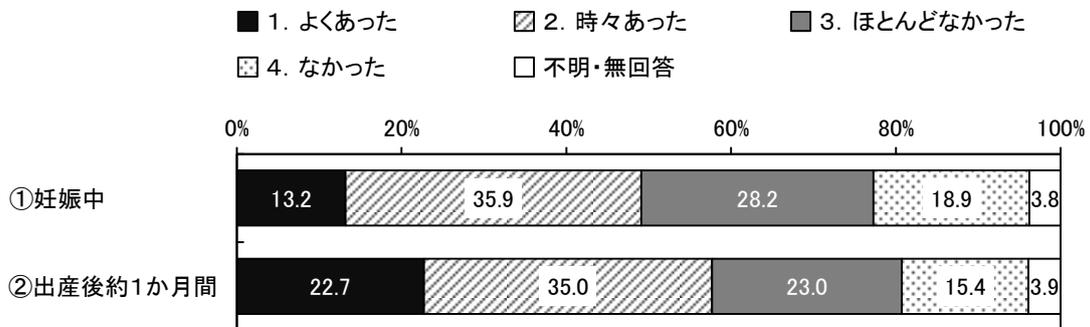


※平成30年は、前段の設問で、ある回答をした方のみを対象とした限定設問のため、サンプル数が異なる

問 10 お子さまを妊娠中や出産後約1か月間に、精神的に落ち込むことやイライラを感じることがありましたか。(〇はそれぞれ1つつ)

①妊娠中、②出産後約1か月間ともに「2. 時々あった」がそれぞれ35.9%、35.0%と最も高く、次いで「3. ほとんどなかった」がそれぞれ28.2%、23.0%となっています。

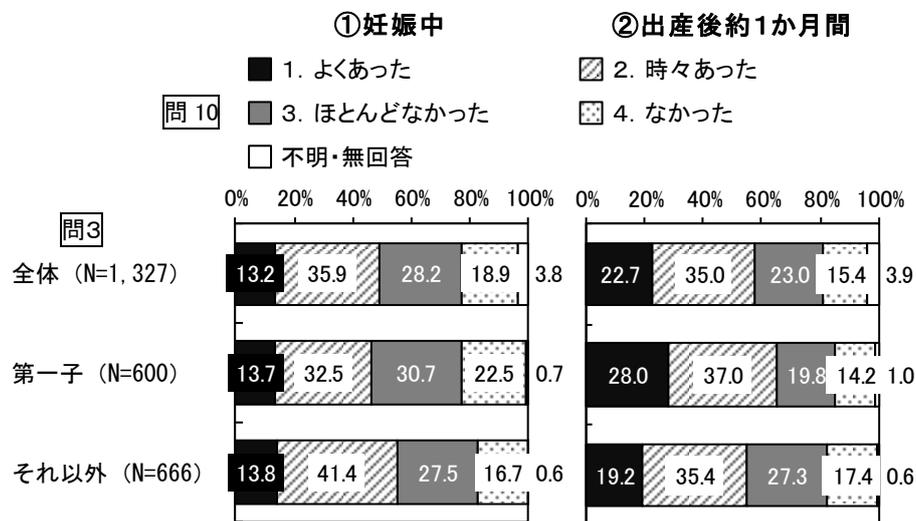
(N=1,327)



《問 10 精神的な落ち込みやイライラを感じたことの有無 × 問 3 健診を受けた子ども別》

妊娠中に精神的な落ち込みやイライラを感じたことの有無について、妊娠中・出産後約1か月間のいずれにおいても、健診を受けた子どもの出生順のすべての区分で「2. 時々あった」の割合が最も高くなっています。

また、「第一子」と「それ以外」を比較すると、②出産後約1か月間では、「第一子」の方が、「よくあった」の割合が8.8ポイント高くなっています。



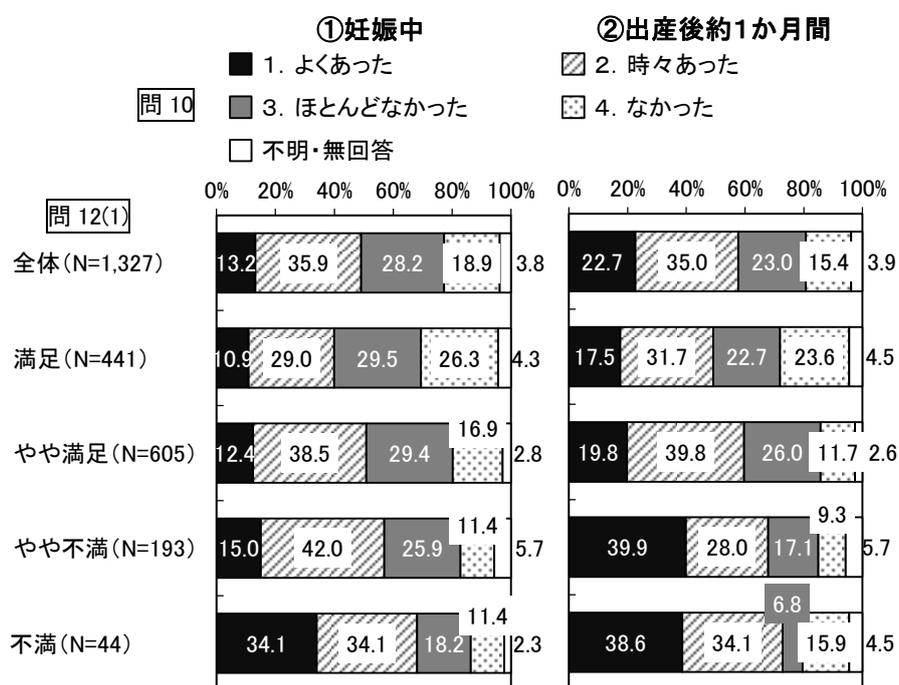
※不明・無回答除く

《問 10 精神的な落ち込みやイライラを感じたことの有無 × 問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

妊娠中に精神的な落ち込みやイライラを感じたことの有無について、家族や公的なサポートへの満足度が「満足」では「3. ほとんどなかった」、「やや満足」「やや不満」では「2. 時々あった」の割合が最も高くなっています。

出産後約1か月間に精神的な落ち込みやイライラを感じたことの有無について、家族や公的なサポートへの満足度が「満足」「やや満足」では「2. 時々あった」、「やや不満」「不満」では「1. よくあった」の割合が最も高くなっています。

また、妊娠中・出産後約1か月間のいずれについても、家族や公的なサポートへの満足度が低くなるほど精神的な落ち込みやイライラが「あった」「1. よくあった」と「2. 時々あった」の合計の割合が高くなる傾向がみられます。



※不明・無回答除く

問 11 妊娠や出産・子育てに関して、妊娠中に知っておくと役に立つと思うことについてお答えください。(〇は3つまで)

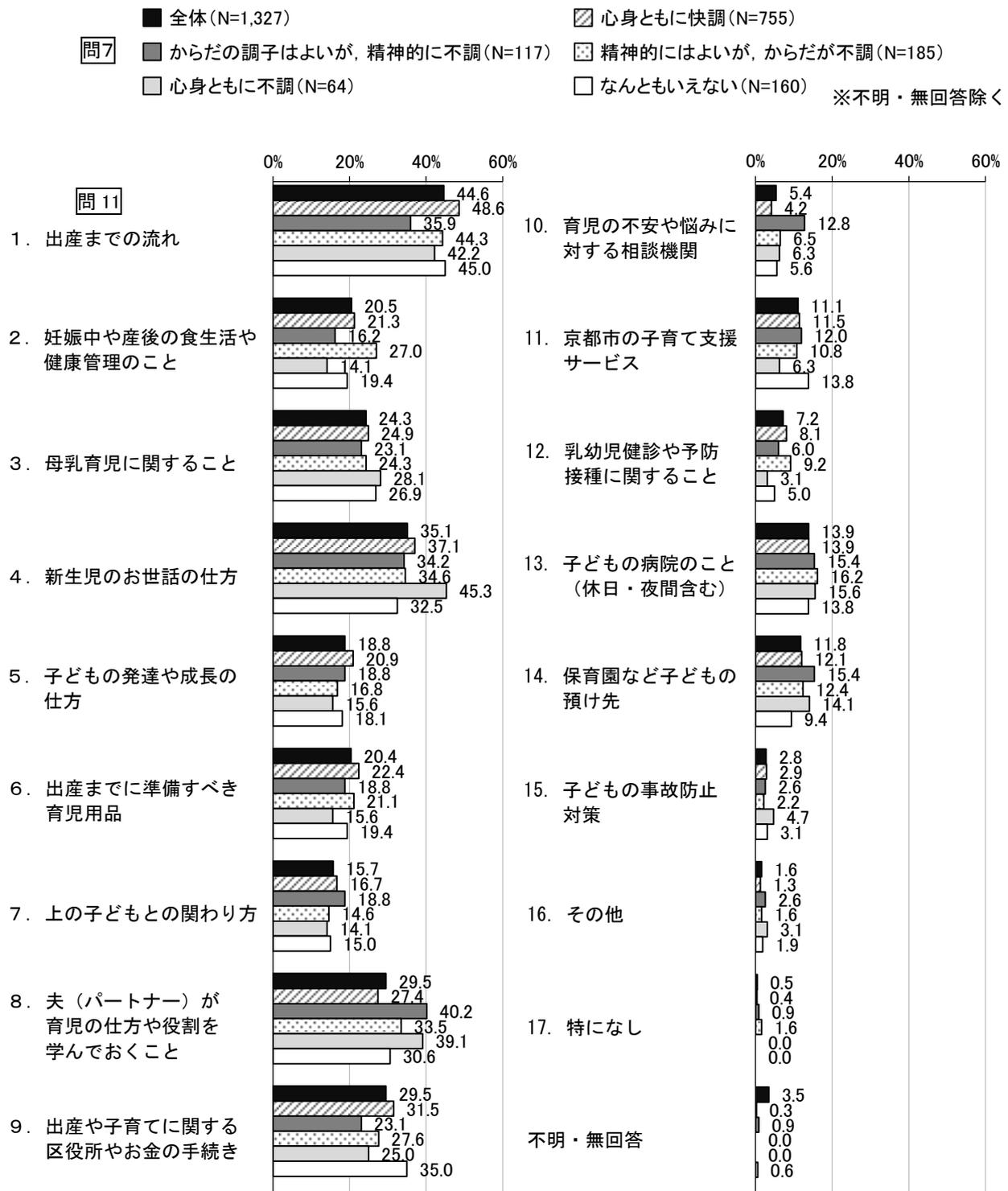
「1. 出産までの流れ」が44.6%と最も高く、次いで「4. 新生児のお世話の仕方」が35.1%、「8. 夫（パートナー）が育児の仕方や役割を学んでおくこと」と「9. 出産や子育てに関する区役所やお金の手続き」がともに29.5%となっています。

(N=1,327)



《問 11 妊娠中の出産・子育てに関して知っていること × 問 7 現在の心身の調子別》

回答者の現在の心身の調子が「からだの調子はよいが、精神的に不調」では、妊娠中の出産・子育てに関して知っていることについて「8. 夫（パートナー）が育児の仕方や役割を学んでおくこと」、「心身ともに不調」では「4. 新生児のお世話の仕方」の割合が最も高くなっています。

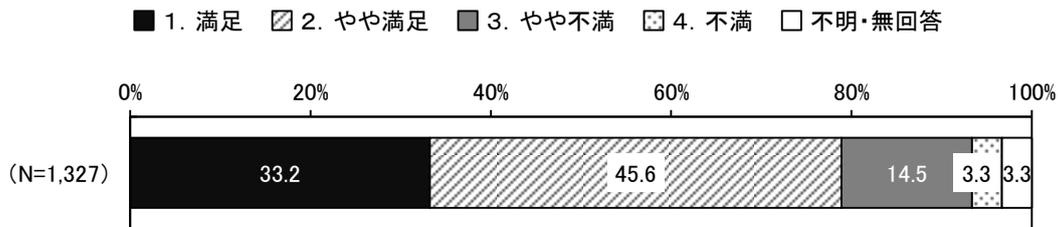


3 子育てについて

問 12(1) これまでの育児期間における家族や公的なサポートについて、満足していますか。

(○は1つ)

「2. やや満足」が45.6%と最も高く、次いで「1. 満足」が33.2%, 「3. やや不満」が14.5%となっています。

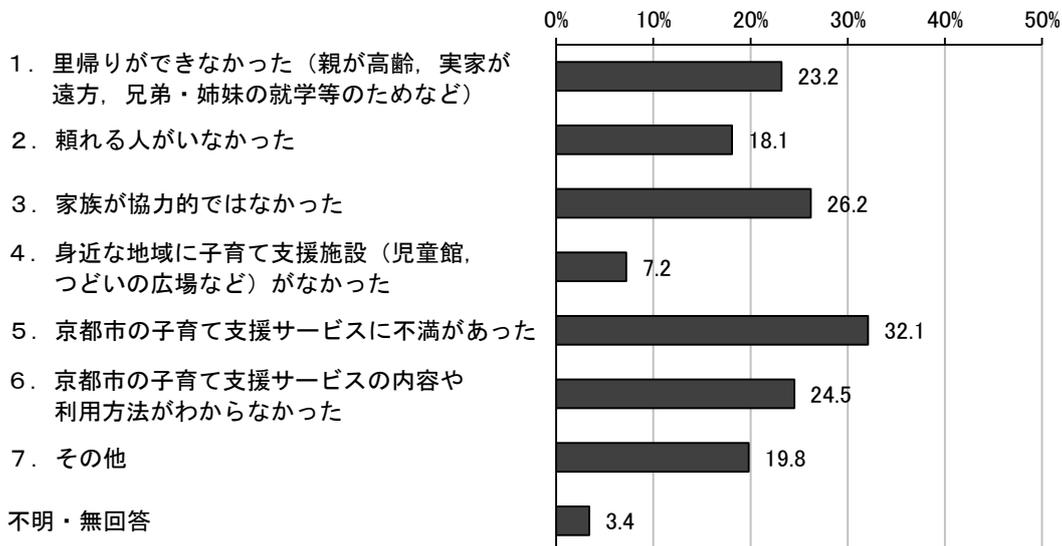


問 12(1)で「3」または「4」と答えた方

問 12(2) その理由についてお答えください。(○はいくつでも)

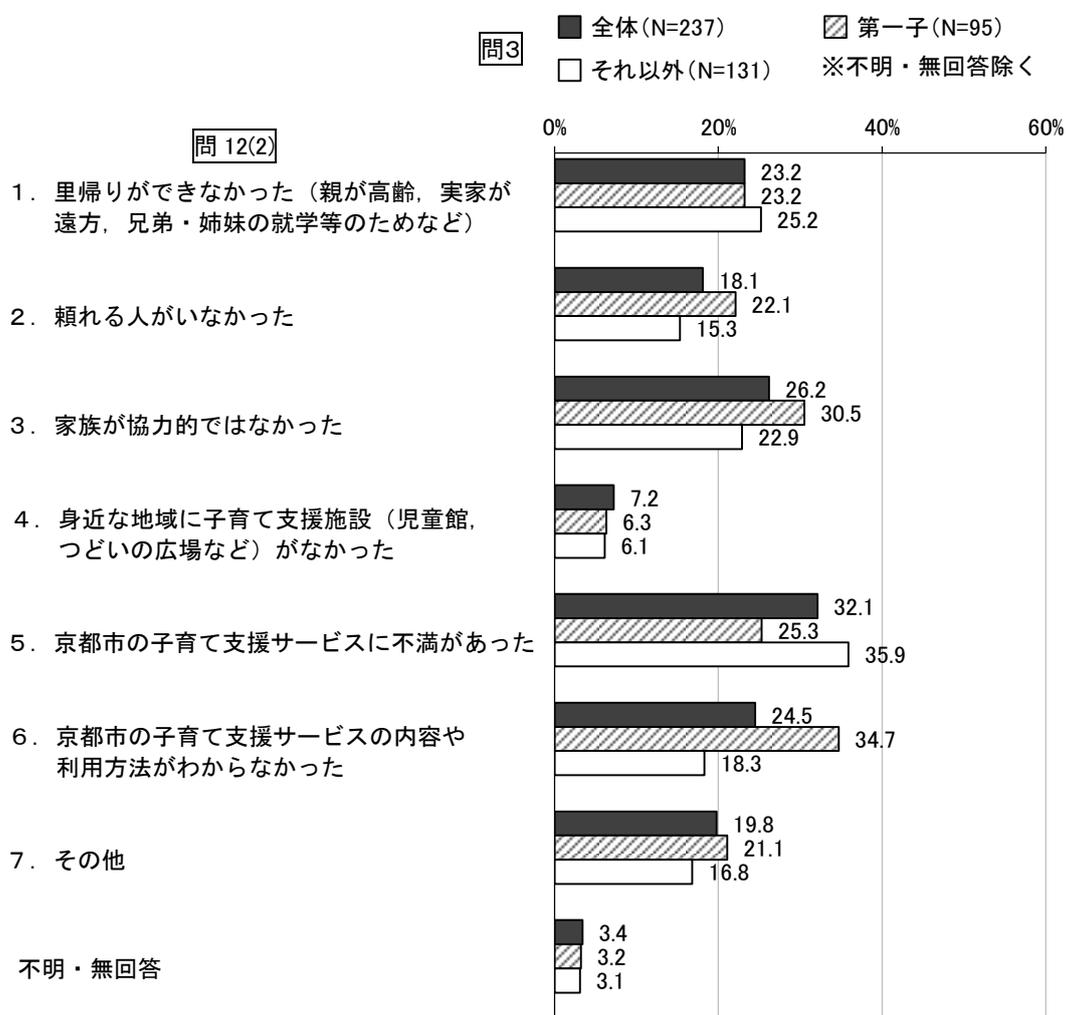
「5. 京都市の子育て支援サービスに不満があった」が32.1%と最も高く、次いで「3. 家族が協力的ではなかった」が26.2%, 「6. 京都市の子育て支援サービスの内容や利用方法がわからなかった」が24.5%となっています。

(N=237)



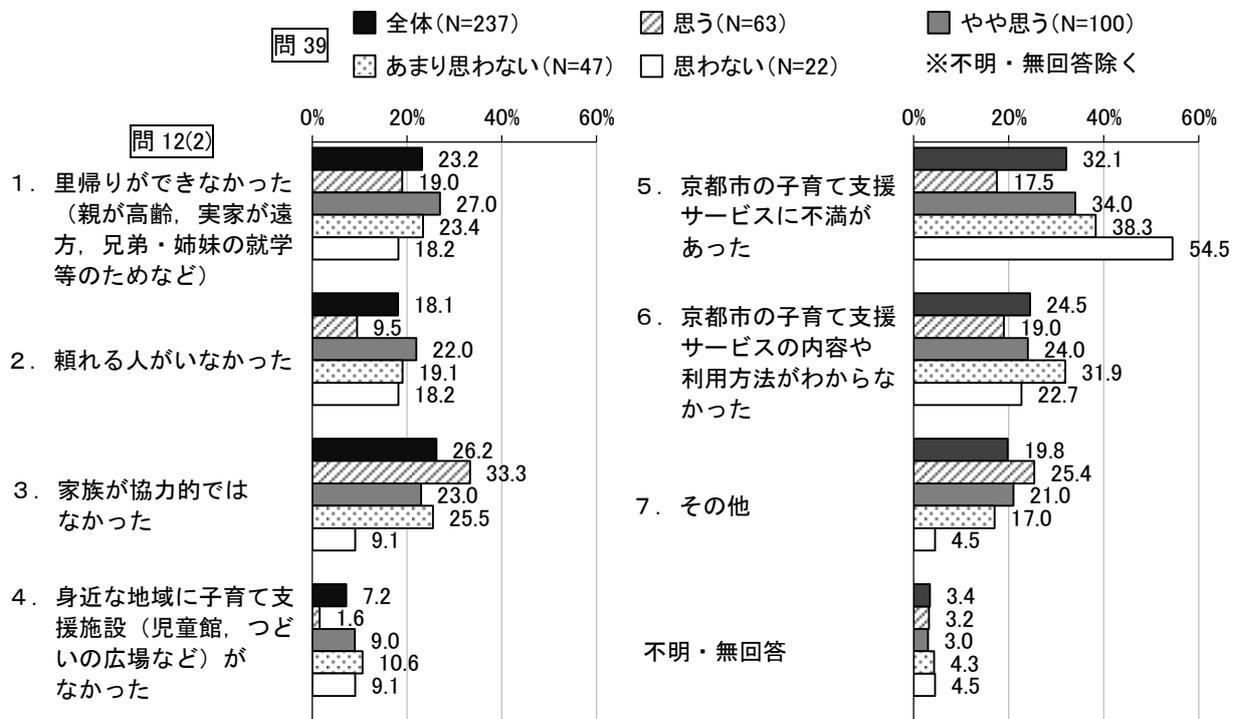
《問 12(2) 育児における家族や公的サポートが不満な理由 × 問 3 健診を受けた子ども別》

健診を受けた子どもの出生順が「第一子」では、育児における家族や公的サポートが不満な理由について、「6. 京都市の子育て支援サービスの内容や利用方法がわからなかった」、「それ以外」では「5. 京都市の子育て支援サービスに不満があった」の割合が最も高くなっています。



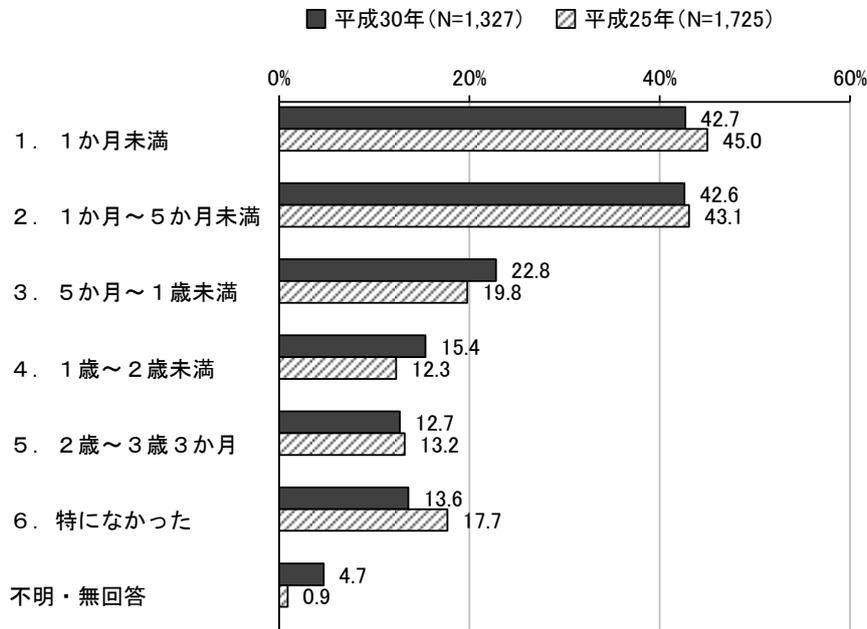
《問 12(2) 育児における家族や公的サポートが不満な理由 × 問 39 定住意向別》

京都市で子育てしたいと「思う」では、育児における家族や公的サポートが不満な理由について、「3. 家族が協力的ではなかった」、それ以外の区分では「5. 京都市の子育て支援サービスに不満があった」の割合が最も高くなっています。また、定住意向が低くなるほど「5. 京都市の子育て支援サービスに不満があった」の割合が高くなる傾向がみられます。



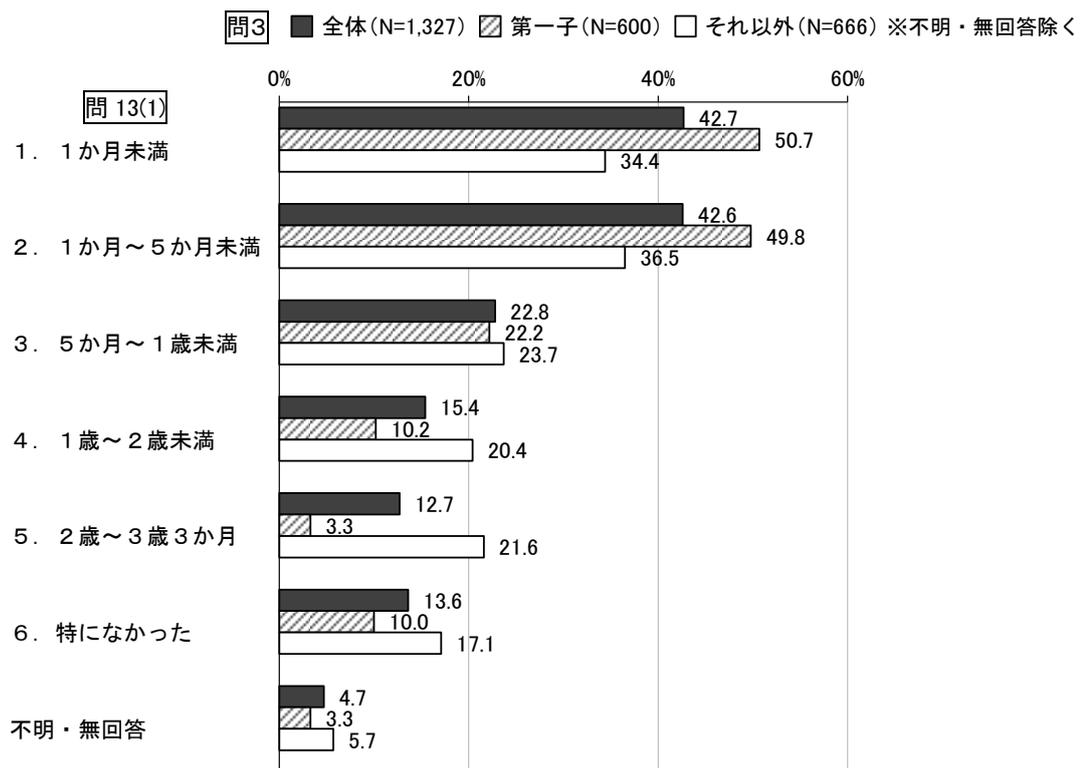
問 13(1) これまでの育児期間の中で、特に悩みや不安が大きかった時期はいつですか。
(〇は3つまで)

「1. 1か月未満」が42.7%と最も高く、次いで「2. 1か月～5か月未満」が42.6%、「3. 5か月～1歳未満」が22.8%となっています。



《問 13(1) 育児期間の中で、特に悩みや不安が大きかった時期 × 問3 健診を受けた子ども別》

健診を受けた子どもの出生順が「第一子」では、育児期間の中で特に悩みや不安が大きかった時期は「1. 1か月未満」、「それ以外」では「2. 1か月～5か月未満」の割合が最も高くなっています。

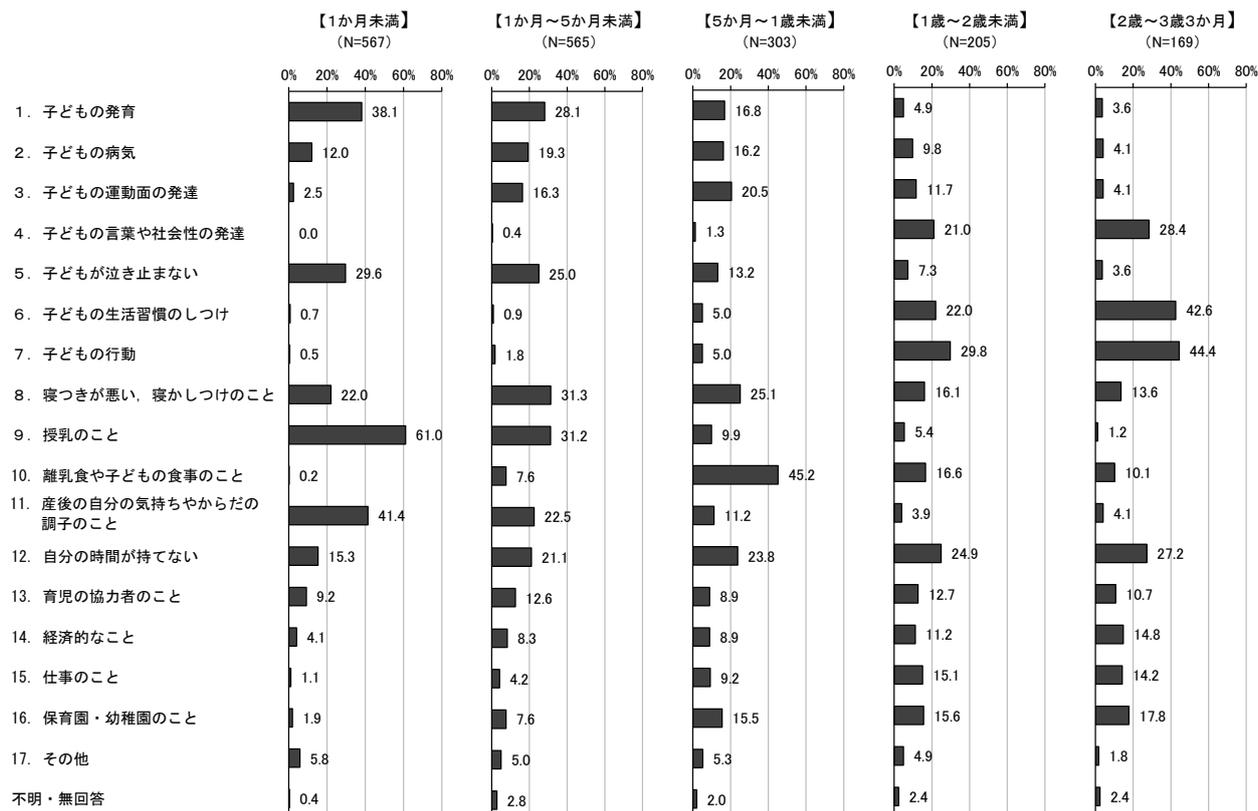


問 13(1)で「1～5」と答えた方

問 13(2) それぞれの時期の悩みや不安はどんなことでしたか。

(それぞれ主な選択肢番号を3つまで記入)

[1か月未満] では「9. 授乳のこと」が61.0%, [1か月～5か月未満] では「8. 寝つきが悪い, 寝かしつけのこと」が31.3%, [5か月～1歳未満] では「10. 離乳食や子どもの食事のこと」が45.2%, [1歳～2歳未満][2歳～3歳3か月]では「7. 子どもの行動」がそれぞれ29.8%, 44.4%と最も高くなっています。

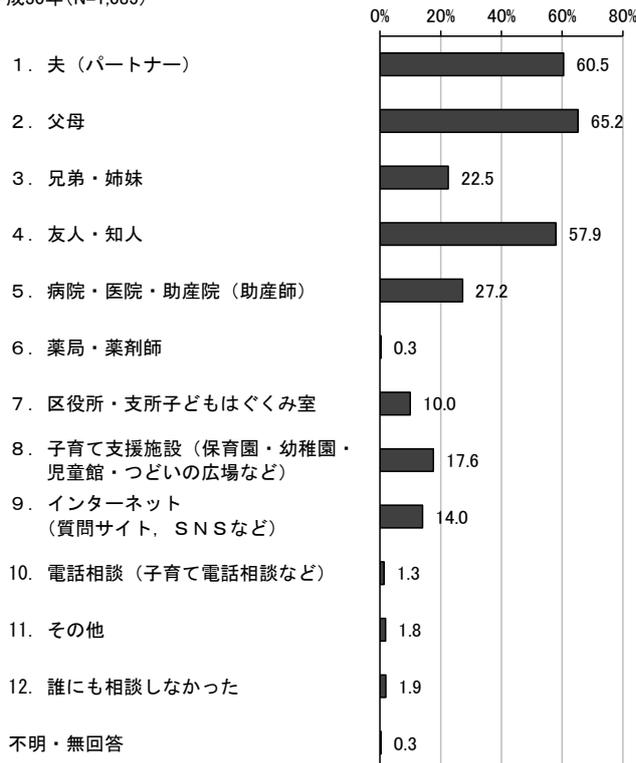


問 13(3) あなたは育児の悩みや不安について、誰にまたはどこに相談したことが役に立ちましたか。(〇はいくつでも)

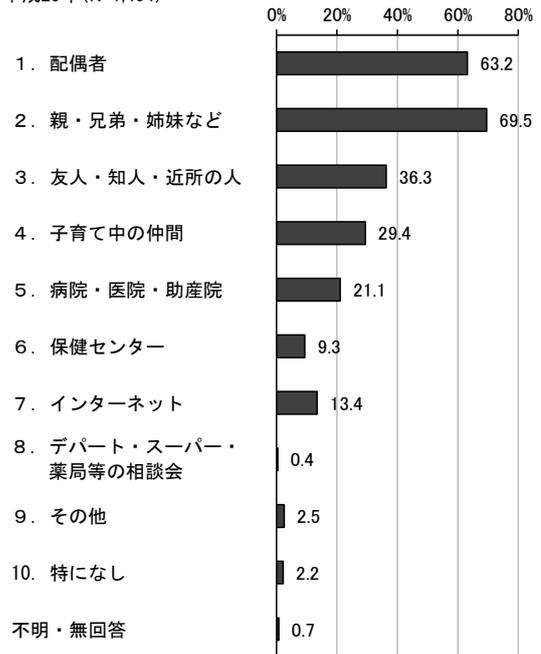
「2. 父母」が65.2%と最も高く、次いで「1. 夫 (パートナー)」が60.5%、「4. 友人・知人」が57.9%となっています。

平成25年と比較すると、「4. 友人・知人」(平成25年では「3. 友人・知人・近所の人」)が21.6ポイント、「5. 病院・医院・助産院 (助産師)」(平成25年では「5. 病院・医院・助産院」)が6.1ポイント高くなっています。

平成30年(N=1,085)



平成25年(N=1,404)



《問 13(3) 育児の悩みや不安についての相談先 × 問 1 年齢別》

「35～39 歳」では、育児の悩みや不安についての相談先として「夫（パートナー）」、「45 歳以上」では「友人・知人」、それ以外の区分では「父母」の割合が最も高くなっています。

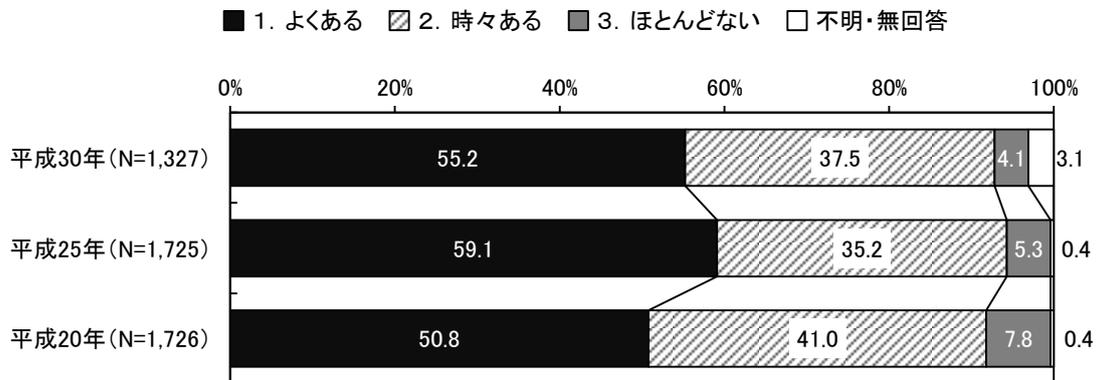
上段:件数 下段:%	合計	夫（パート ナー）	父母	兄弟・姉妹	友人・知人	病院・医院・ 助産院（助産 師）	薬局・薬剤師	区役所・支所 子どもはぐく み室	
全 体	1,085 100.0	656 60.5	707 65.2	244 22.5	628 57.9	295 27.2	3 0.3	108 10.0	
年 齢 別	19歳以下	5 100.0	4 80.0	5 100.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0
	20～24歳	31 100.0	17 54.8	19 61.3	4 12.9	15 48.4	5 16.1	0 0.0	5 16.1
	25～29歳	155 100.0	89 57.4	121 78.1	32 20.6	79 51.0	44 28.4	0 0.0	15 9.7
	30～34歳	386 100.0	239 61.9	257 66.6	101 26.2	222 57.5	96 24.9	2 0.5	30 7.8
	35～39歳	322 100.0	199 61.8	195 60.6	71 22.0	197 61.2	95 29.5	1 0.3	33 10.2
	40～44歳	133 100.0	78 58.6	79 59.4	27 20.3	78 58.6	34 25.6	0 0.0	16 12.0
	45歳以上	17 100.0	9 52.9	9 52.9	1 5.9	12 70.6	8 47.1	0 0.0	2 11.8

上段:件数 下段:%	合計	子育て支援施設（保育園・幼稚園・児童館・つどいの広場など）	インターネット（質問サイト、SNSなど）	電話相談（子育て電話相談など）	その他	誰にも相談しなかった	不明・無回答	
全 体	1,085 100.0	191 17.6	152 14.0	14 1.3	19 1.8	21 1.9	3 0.3	
年 齢 別	19歳以下	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	20～24歳	31 100.0	5 16.1	5 16.1	0 0.0	0 0.0	1 3.2	0 0.0
	25～29歳	155 100.0	10 6.5	25 16.1	1 0.6	1 0.6	2 1.3	2 1.3
	30～34歳	386 100.0	59 15.3	58 15.0	7 1.8	9 2.3	7 1.8	1 0.3
	35～39歳	322 100.0	74 23.0	39 12.1	5 1.6	7 2.2	7 2.2	0 0.0
	40～44歳	133 100.0	29 21.8	16 12.0	0 0.0	0 0.0	3 2.3	0 0.0
	45歳以上	17 100.0	5 29.4	3 17.6	1 5.9	1 5.9	1 5.9	0 0.0

※不明・無回答除く

問 14 あなたは、ゆったりとした気分でお子さまと過ごせる時間がありますか。(〇は1つ)

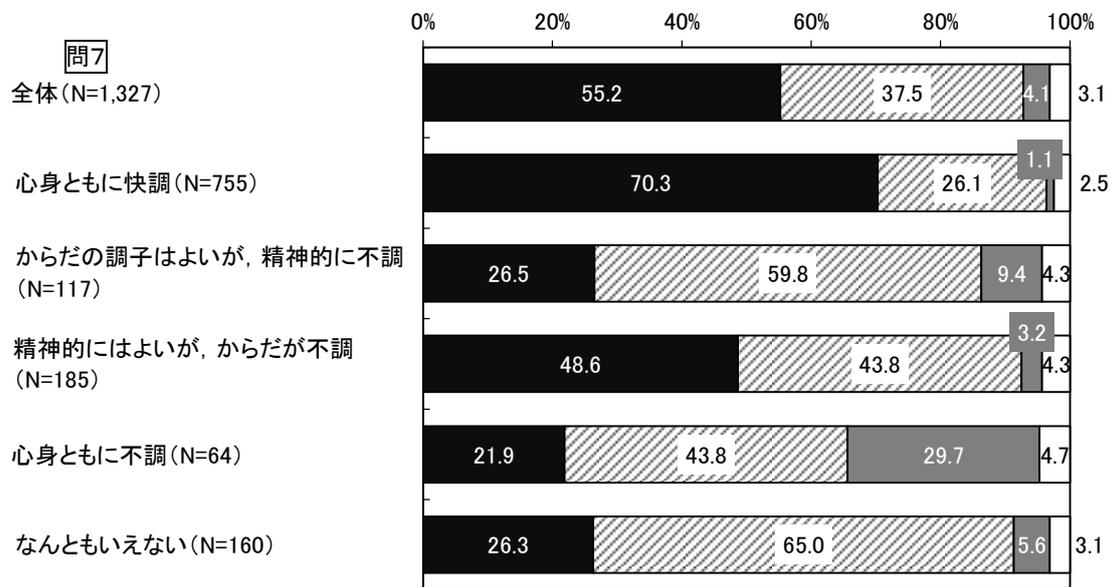
「1. よくある」が55.2%と最も高く、次いで「2. 時々ある」が37.5%となっています。



《問 14 ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間があるか × 問 7 現在の心身の調子別》

回答者の現在の心身の調子が「心身ともに快調」「精神的にはよいが、からだが不調」では、ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間が「1. よくある」、それ以外の区分では「2. 時々ある」の割合が最も高くなっています。また、「心身ともに不調」では、ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間が「3. ほとんどない」の割合が、他の区分に比べて高くなっています。

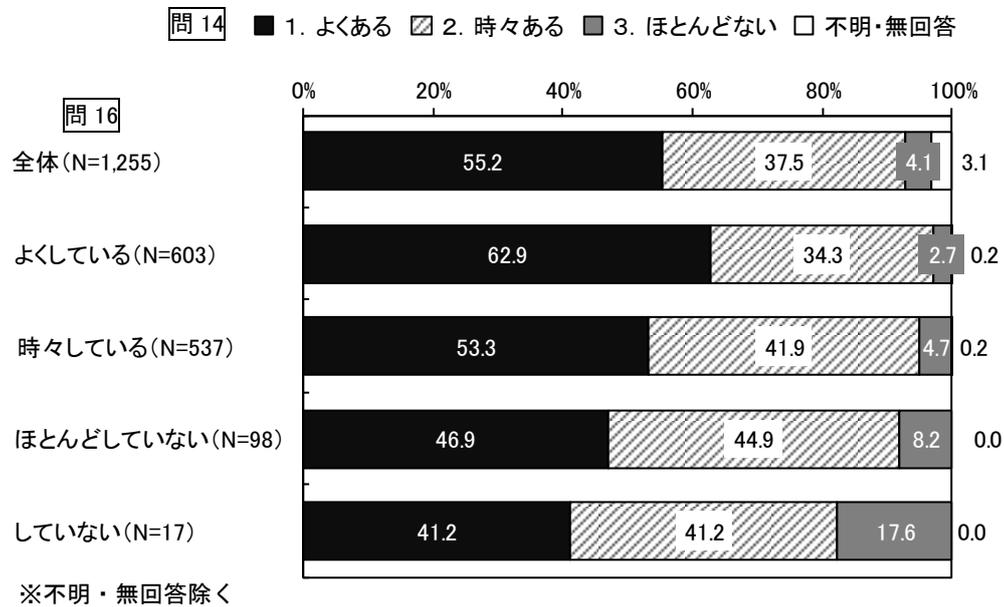
問 14 ■ 1. よくある □ 2. 時々ある ■ 3. ほとんどない □ 不明・無回答



※不明・無回答除く

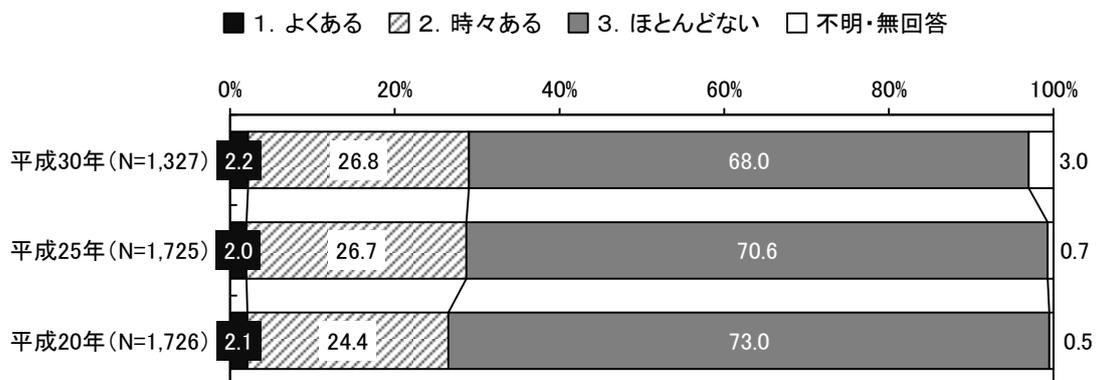
《問 14 ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間があるか × 問 16 夫（パートナー）の育児状況別》

夫（パートナー）が育児をしているほど、ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間が「1. よくある」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 15 現在、お子さまを育てにくいと感じることがありますか。（〇は1つ）

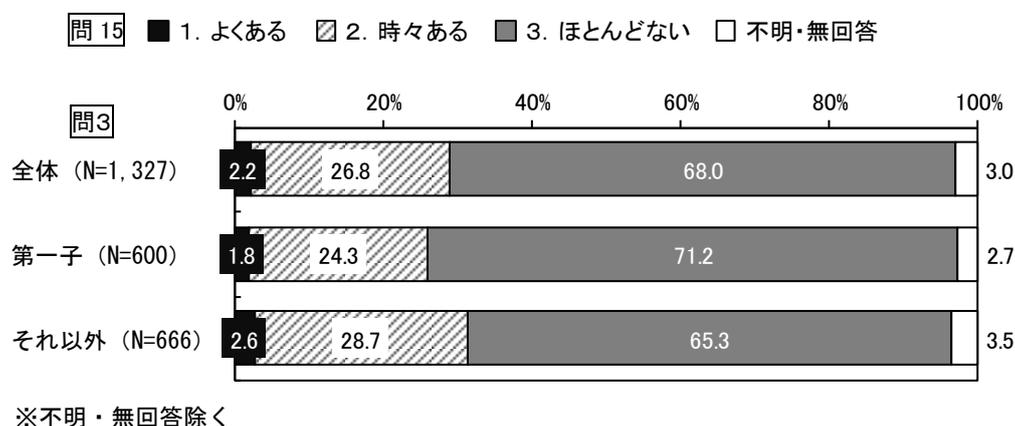
「3. ほとんどない」が68.0%と最も高く、次いで「2. 時々ある」が26.8%となっています。平成20年と比較すると、「3. ほとんどない」が5.0ポイント低くなっています。



《問15 子育てしにくいと感じるか × 問3 健診を受けた子ども別》

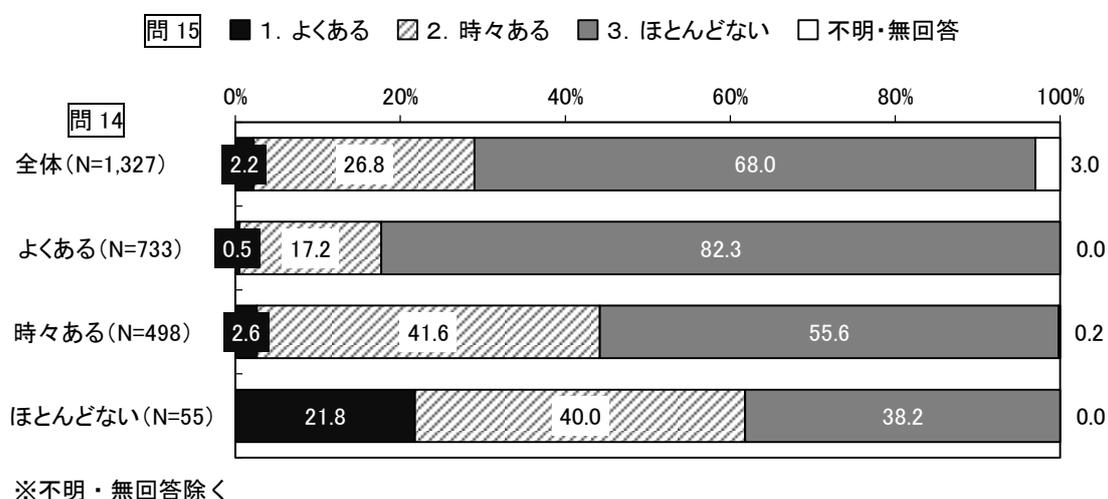
健診を受けた子どもの出生順のすべての区分で「3. ほとんどない」の割合が最も高くなっています。

また、「第一子」と「それ以外」を比較すると、「それ以外」の方が、子育てしにくいと感じることが「ある（「よくある」と「時々ある」の合計）」の割合が5.2ポイント高くなっています。



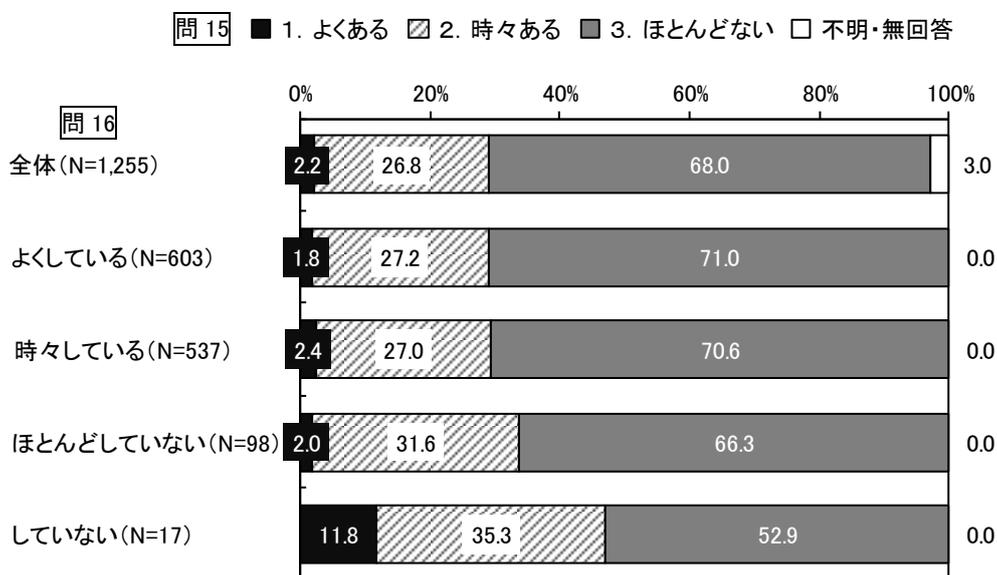
《問15 子育てしにくいと感じるか × 問14 ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間別》

ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間が「よくある」「時々ある」では、子育てしにくいと感じることが「3. ほとんどない」の割合が最も高くなっています。



《問 15 子育てしにくいと感じるか × 問 16 夫（パートナー）の育児状況別》

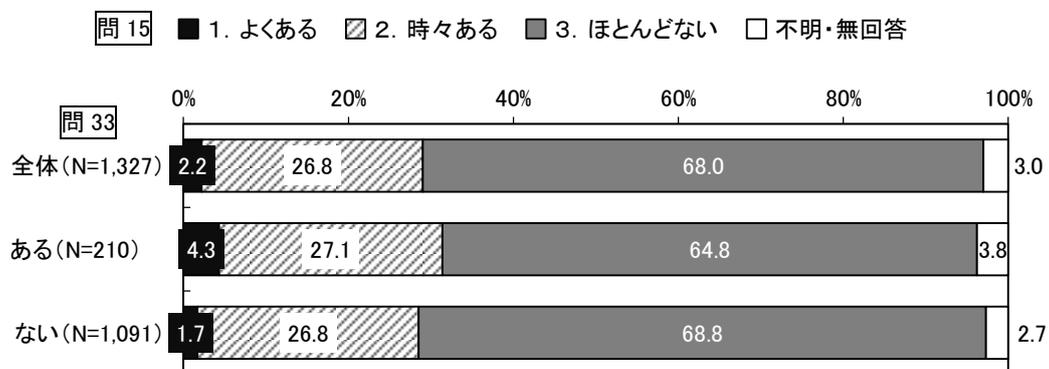
夫（パートナー）が育児をしていないほど、子育てしにくいと感じることが「ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）」の割合が高くなる傾向がみられます。



※不明・無回答除く

《問 15 子育てしにくいと感じるか × 問 33 子どもの食物アレルギーの有無別》

すべての区分で、子育てしにくいと感じることが「3. ほとんどない」の割合が最も高くなっています。



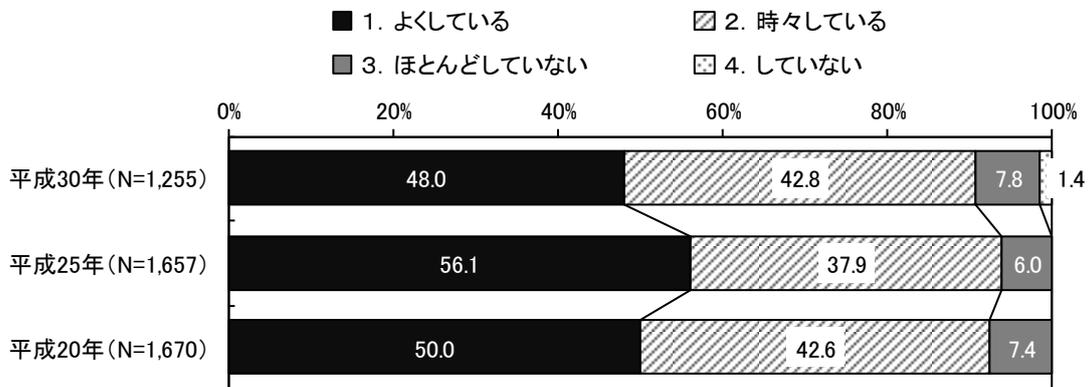
※不明・無回答除く

問 16 から問 19 までは、夫（パートナー）がいらっしゃる方

問 16 夫（パートナー）は育児をされますか。（〇は1つ）

「1. よくしている」が 48.0%と最も高く、次いで「2. 時々している」が 42.8%、「3. ほとんどしていない」が 7.8%となっています。

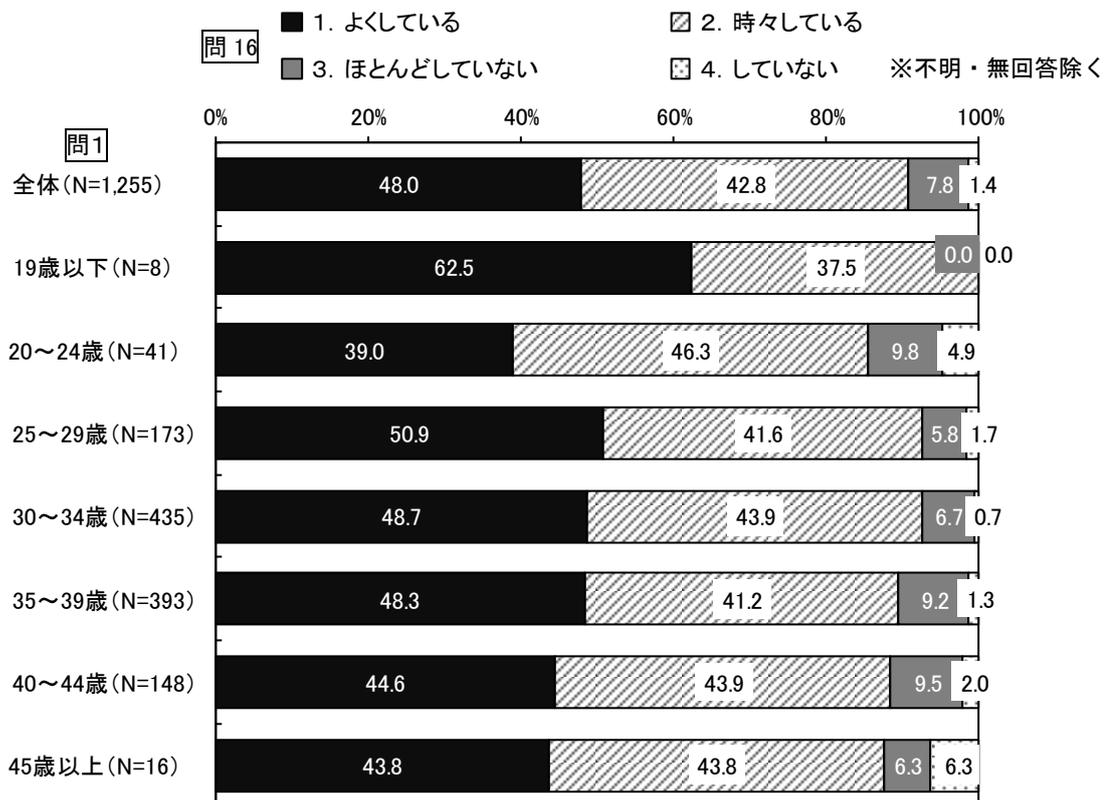
平成 25 年と比較すると、「1. よくしている」が 8.1 ポイント低くなっています。



※「4. していない」は平成 30 年のみの選択肢

《問 16 夫（パートナー）の育児状況 × 問 1 年齢別》

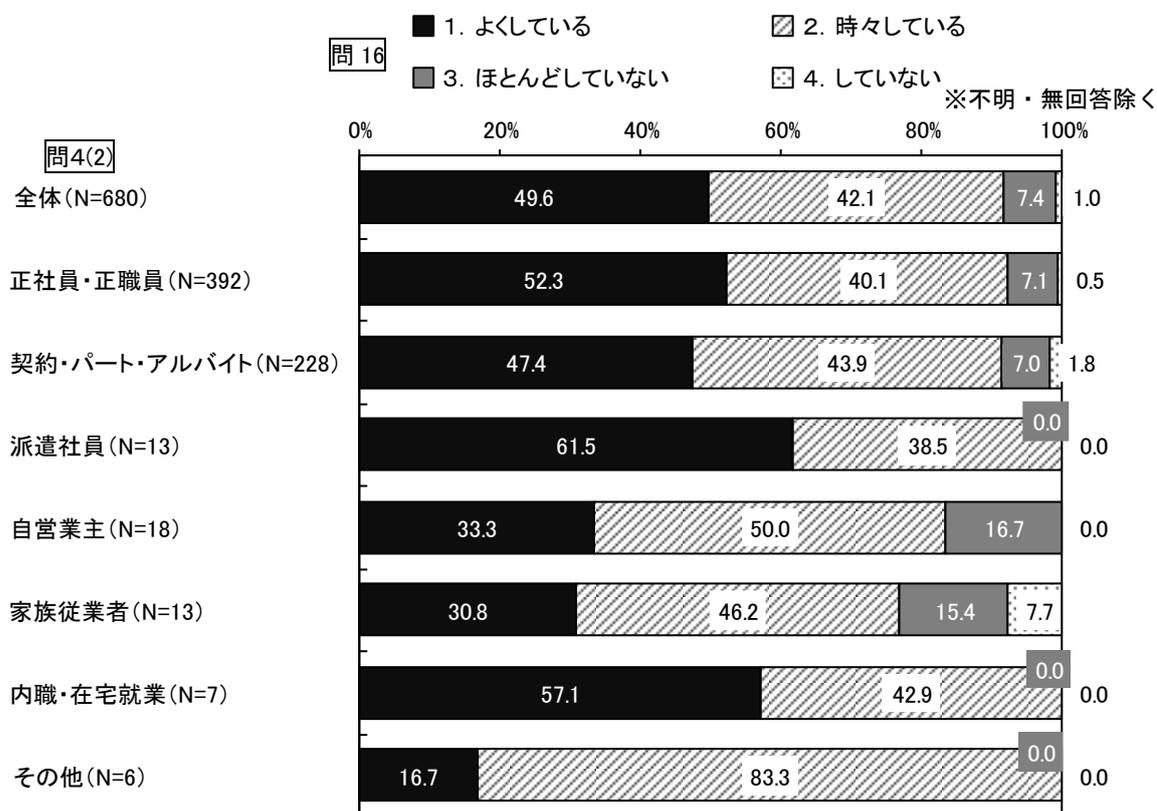
回答者の年齢が「20～24 歳」「45 歳以上」を除くすべての区分で、夫（パートナー）が育児を「1. よくしている」の割合が最も高くなっています。また、「30～34 歳」を境に、年代が上がるほど「している（「1. よくしている」と「2. 時々している」の合計）」の割合が低くなる傾向がみられます。



※不明・無回答除く

《問 16 夫（パートナー）の育児状況 × 問 4(2) 就労形態別》

回答者の就労形態が「自営業主」「家族従業者」「その他」では夫（パートナー）が育児を「2. 時々している」、それ以外の区分では「1. よくしている」の割合が最も高くなっています。また、「自営業主」「家族従業者」では「3. ほとんどしていない」の割合が、他の区分に比べてやや高くなっています。



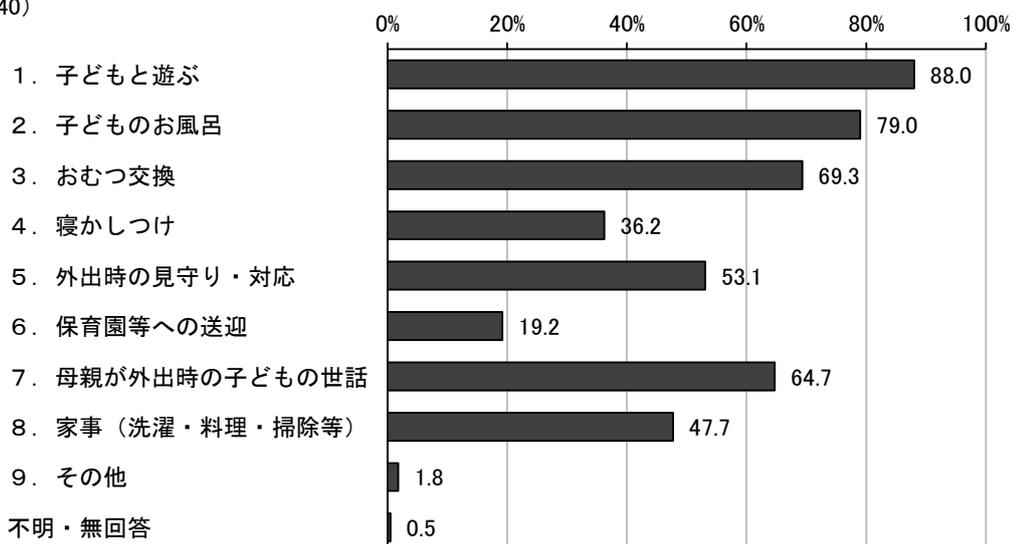
※不明・無回答除く

問 16 で「1」または「2」と答えた方

問 17 普段、夫（パートナー）がしている育児についてお答えください。（〇はいくつでも）

「1. 子どもと遊ぶ」が 88.0%と最も高く、次いで「2. 子どものお風呂」が 79.0%、「3. おむつ交換」が 69.3%となっています。

(N=1,140)

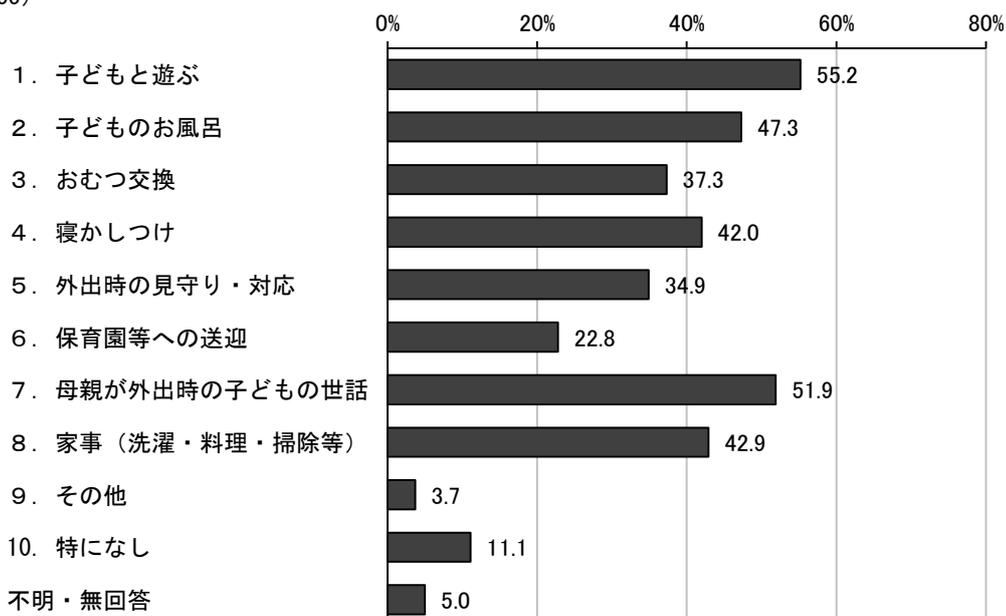


問 16 で「1～4」と答えた方

問 18 夫（パートナー）にしてもらいたい育児についてお答えください。（〇はいくつでも）

「1. 子どもと遊ぶ」が 55.2%と最も高く、次いで「7. 母親が外出時の子どもの世話」が 51.9%、「2. 子どものお風呂」が 47.3%となっています。

(N=1,255)



《問18 夫（パートナー）にしてもらいたい育児 × 問17 夫（パートナー）がしている育児別》

すべての区分で回答者が夫（パートナー）にしてもらいたい育児として「子どもと遊ぶ」の割合が最も高く、次いで夫（パートナー）がしている育児が「保育園等への送迎」「その他」以外の区分では、回答者が夫（パートナー）にしてもらいたい育児として「母親が外出時の子どもの世話」の割合が高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	子どもと遊ぶ	子どものお風呂	おむつ交換	寝かしつけ	外出時の見守り・対応	保育園等への送迎	
全 体	1,140 100.0	610 53.5	538 47.2	429 37.6	478 41.9	391 34.3	260 22.8	
普 段 夫 （ パ ー ト ナ ー ） が し て い る 育 児 別	子どもと遊ぶ	1,003 100.0	517 51.5	473 47.2	390 38.9	433 43.2	360 35.9	232 23.1
	子どものお風呂	901 100.0	491 54.5	416 46.2	358 39.7	391 43.4	322 35.7	215 23.9
	おむつ交換	790 100.0	422 53.4	369 46.7	322 40.8	355 44.9	278 35.2	187 23.7
	寝かしつけ	413 100.0	222 53.8	189 45.8	160 38.7	164 39.7	147 35.6	110 26.6
	外出時の見守り・対応	605 100.0	319 52.7	285 47.1	244 40.3	270 44.6	265 43.8	153 25.3
	保育園等への送迎	219 100.0	118 53.9	108 49.3	84 38.4	98 44.7	85 38.8	92 42.0
	母親が外出時の子どもの世話	738 100.0	411 55.7	363 49.2	287 38.9	317 43.0	281 38.1	185 25.1
	家事（洗濯・料理・掃除等）	544 100.0	296 54.4	263 48.3	213 39.2	240 44.1	205 37.7	148 27.2
	その他	20 100.0	13 65.0	12 60.0	10 50.0	10 50.0	10 50.0	6 30.0

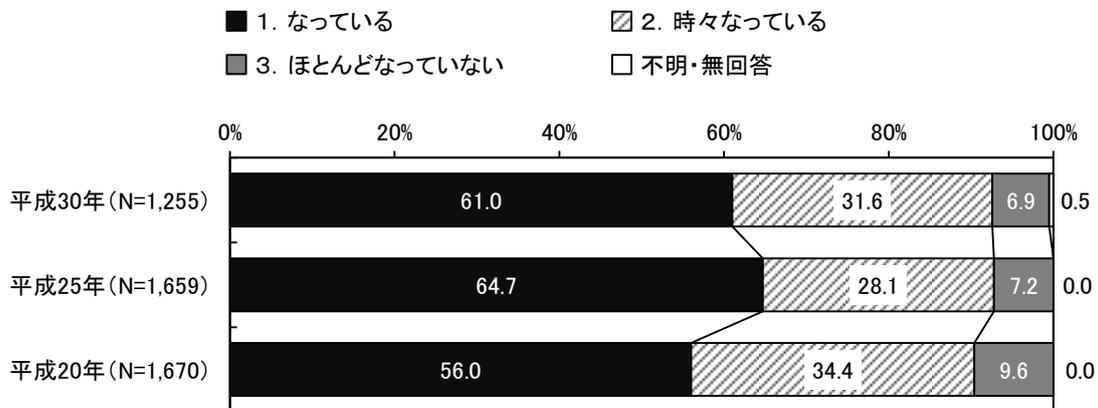
上段:件数 下段:%	合計	母親が外出時の子どもの世話	家事（洗濯・料理・掃除等）	その他	特になし	不明・無回答	
全 体	1,140 100.0	582 51.1	496 43.5	43 3.8	129 11.3	63 5.5	
普 段 夫 （ パ ー ト ナ ー ） が し て い る 育 児 別	子どもと遊ぶ	1,003 100.0	509 50.7	446 44.5	37 3.7	58 5.8	
	子どものお風呂	901 100.0	466 51.7	407 45.2	37 4.1	51 5.7	
	おむつ交換	790 100.0	399 50.5	364 46.1	33 4.2	46 5.8	
	寝かしつけ	413 100.0	201 48.7	171 41.4	17 4.1	31 7.5	
	外出時の見守り・対応	605 100.0	307 50.7	264 43.6	28 4.6	37 6.1	
	保育園等への送迎	219 100.0	107 48.9	102 46.6	7 3.2	14 6.4	
	母親が外出時の子どもの世話	738 100.0	373 50.5	333 45.1	30 4.1	45 6.1	
	家事（洗濯・料理・掃除等）	544 100.0	284 52.2	244 44.9	22 4.0	32 5.9	
	その他	20 100.0	12 60.0	9 45.0	7 35.0	4 20.0	1 5.0

※不明・無回答除く

問 19 夫（パートナー）はあなたの精神的な支えになっていますか。（〇は1つ）

「1. なっている」が61.0%と最も高く、次いで「2. 時々なっている」が31.6%となっています。

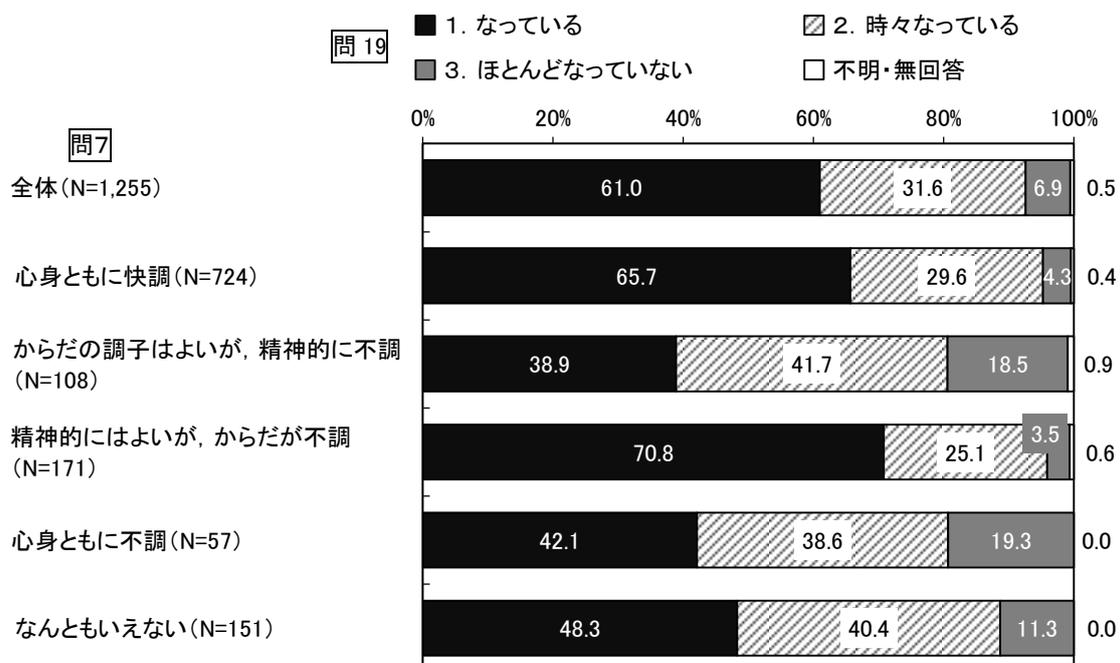
平成20年と比較すると、「1. なっている」が5.0ポイント高くなっています。



※平成30年は、問16「1」～「4」の回答者のみ

《問 19 夫（パートナー）は精神的な支えか × 問 7 現在の心身の調子別》

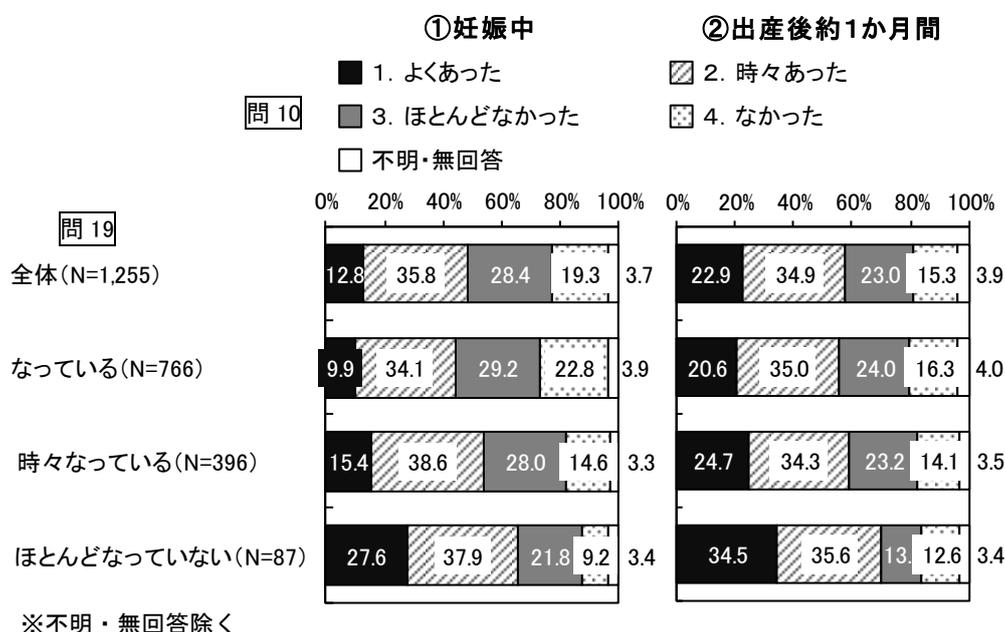
回答者の現在の心身の調子が「からだの調子はよいが、精神的に不調」では、夫（パートナー）は精神的な支えに「2. 時々なっている」の割合が最も高くなっています。それ以外の区分では、夫（パートナー）は精神的な支えに「1. なっている」の割合が最も高く、特に「心身ともに快調」「精神的にはよいが、からだの不調」では6～7割となっています。



※不明・無回答除く

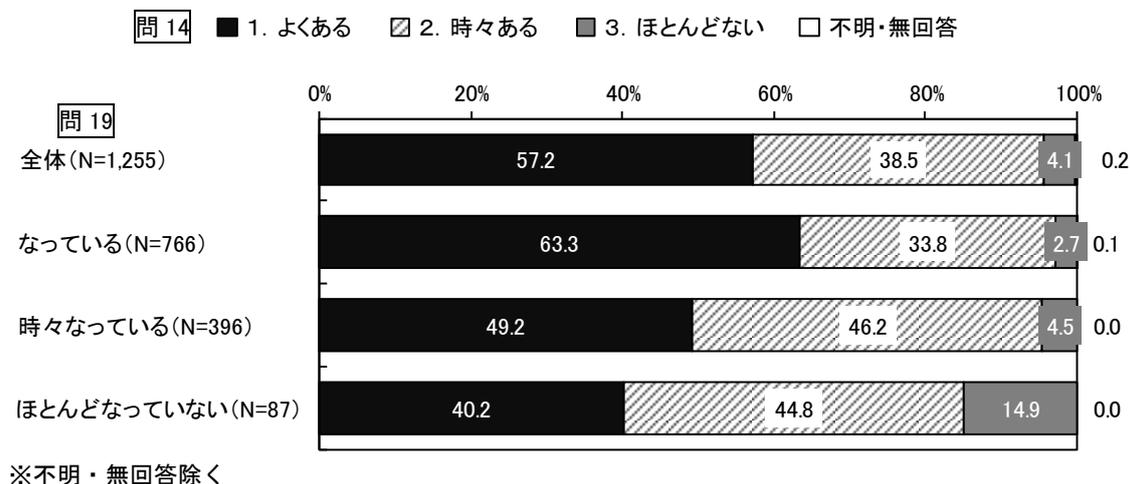
《問 10 精神的な落ち込みやイライラ感の頻度 × 問 19 夫（パートナー）の精神的な支え別》

①妊娠中，②出産後約1か月間ともに，夫（パートナー）が精神的な支えに「なっている」ほど，精神的な落ち込みやイライラ感が「なかった」の割合が高くなる傾向がみられます。



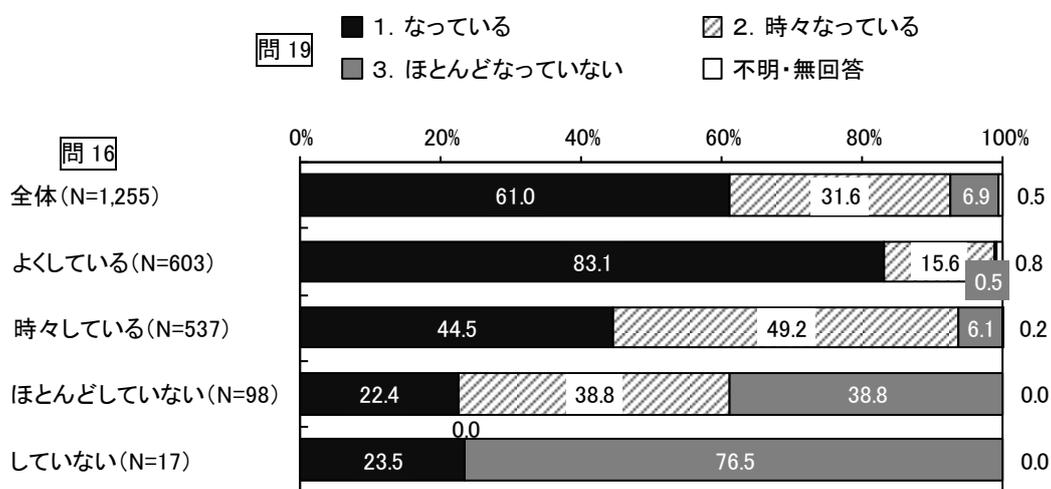
《問 14 ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間 × 問 19 夫（パートナー）の精神的な支え別》

夫（パートナー）が精神的な支えに「なっている」ほど，ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間が「ある」の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 19 夫（パートナー）は精神的な支えか × 問 16 夫（パートナー）の育児状況別》

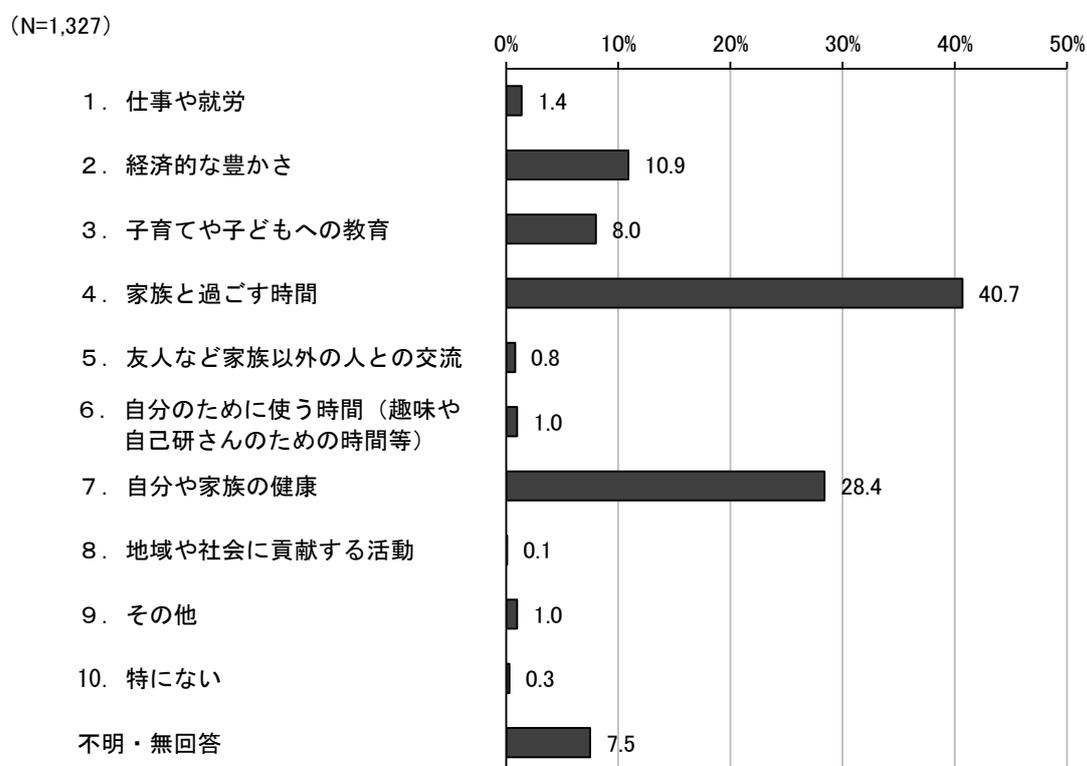
夫（パートナー）が育児をしているほど、夫（パートナー）が精神的な支えに「なっている（「1. なっている」と「2. 時々なっている」の合計）」の割合が高くなる傾向がみられます。



※不明・無回答除く

問 20 あなたが生活で、最も重要だと考えていること（価値観）は何ですか。（○は1つ）

「4. 家族と過ごす時間」が 40.7%と最も高く、次いで「7. 自分や家族の健康」が 28.4%、「2. 経済的な豊かさ」が 10.9%となっています。



《問 20 生活で最も重要だと考えていること（価値観）× 問 5 世帯の昨年 1 年間の可処分所得別》

世帯の昨年の 1 年間の可処分所得が「0～100 万円」では、生活で最も重要だと考えていること（価値観）として「自分や家族の健康」の割合が最も高くなっています。また、「101 万～200 万円」では、「経済的な豊かさ」の割合が他の区分と比べてやや高くなっています。

上段件数 下段:%	合計	仕事や就労	経済的な豊かさ	子育てや子どもへの教育	家族と過ごす時間	友人など家族以外の 人との交流	自分のために使う 時間(趣味や自己 研さんのための時間等)	
全 体	1,327 100.0	19 1.4	145 10.9	106 8.0	540 40.7	10 0.8	13 1.0	
世帯の 可処分所得別	0～100万円	79 100.0	2 2.5	9 11.4	8 10.1	23 29.1	0 0.0	1 1.3
	101万～200万円	75 100.0	0 0.0	15 20.0	9 12.0	27 36.0	3 4.0	0 0.0
	201万～300万円	146 100.0	2 1.4	20 13.7	7 4.8	66 45.2	0 0.0	1 0.7
	301万～400万円	240 100.0	4 1.7	19 7.9	17 7.1	96 40.0	3 1.3	5 2.1
	401万～500万円	254 100.0	2 0.8	35 13.8	21 8.3	104 40.9	1 0.4	2 0.8
	501万～600万円	186 100.0	6 3.2	23 12.4	18 9.7	75 40.3	2 1.1	3 1.6
	601万～800万円	157 100.0	0 0.0	11 7.0	11 7.0	65 41.4	0 0.0	0 0.0
	801万～1,000万円	61 100.0	1 1.6	4 6.6	3 4.9	29 47.5	0 0.0	0 0.0
	1,001万円以上	43 100.0	1 2.3	0 0.0	7 16.3	17 39.5	0 0.0	1 2.3

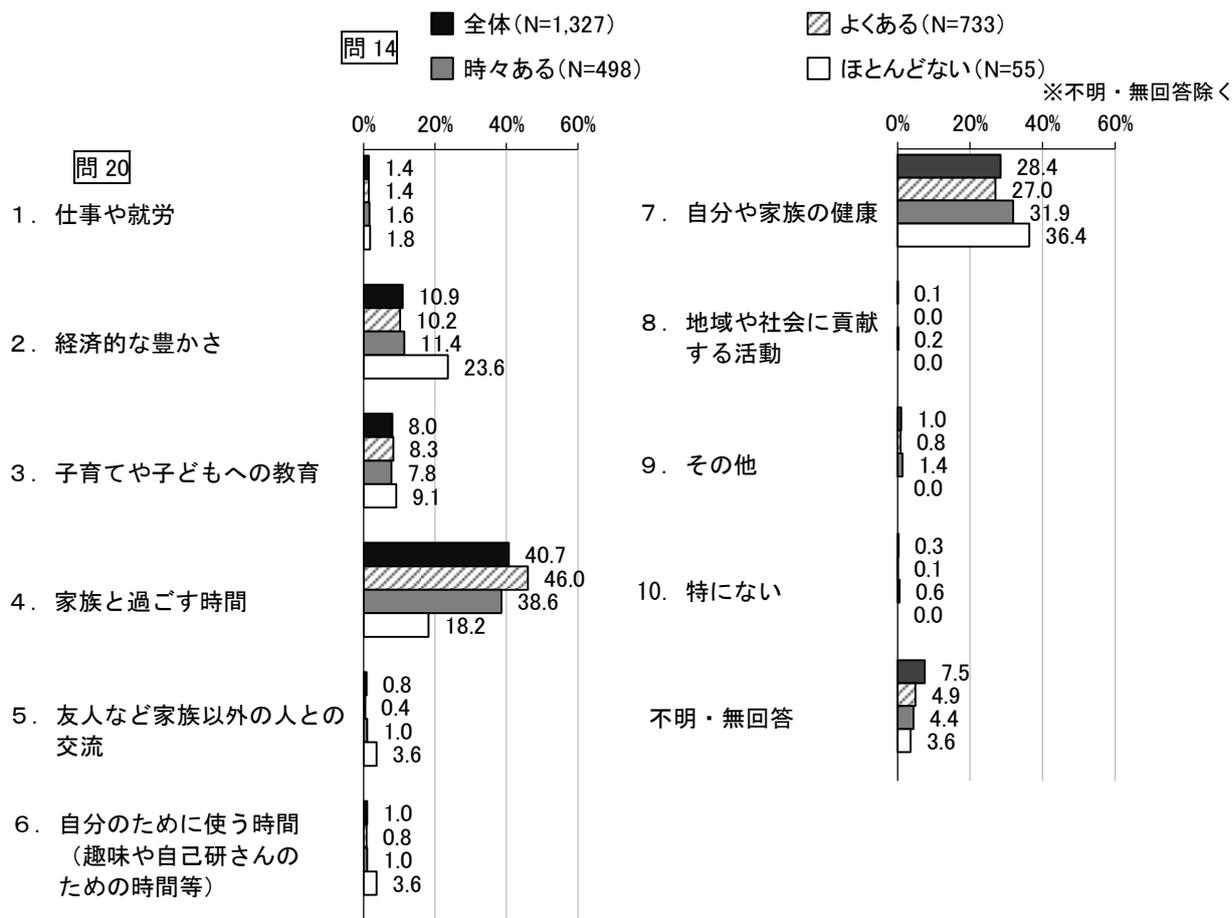
上段件数 下段:%	合計	自分や家族の健康	地域や社会に貢献 する活動	その他	特にない	不明・無回答	
全 体	1,327 100.0	377 28.4	1 0.1	13 1.0	4 0.3	99 7.5	
世帯の 可処分所得別	0～100万円	79 100.0	24 30.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 15.2
	101万～200万円	75 100.0	14 18.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 9.3
	201万～300万円	146 100.0	36 24.7	1 0.7	2 1.4	0 0.0	11 7.5
	301万～400万円	240 100.0	72 30.0	0 0.0	6 2.5	1 0.4	17 7.1
	401万～500万円	254 100.0	70 27.6	0 0.0	2 0.8	2 0.8	15 5.9
	501万～600万円	186 100.0	49 26.3	0 0.0	2 1.1	0 0.0	8 4.3
	601万～800万円	157 100.0	58 36.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 7.6
	801万～1,000万円	61 100.0	19 31.1	0 0.0	1 1.6	1 1.6	3 4.9
	1,001万円以上	43 100.0	12 27.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 11.6

※不明・無回答除く

《問 20 生活で最も重要だと考えていること（価値観）×

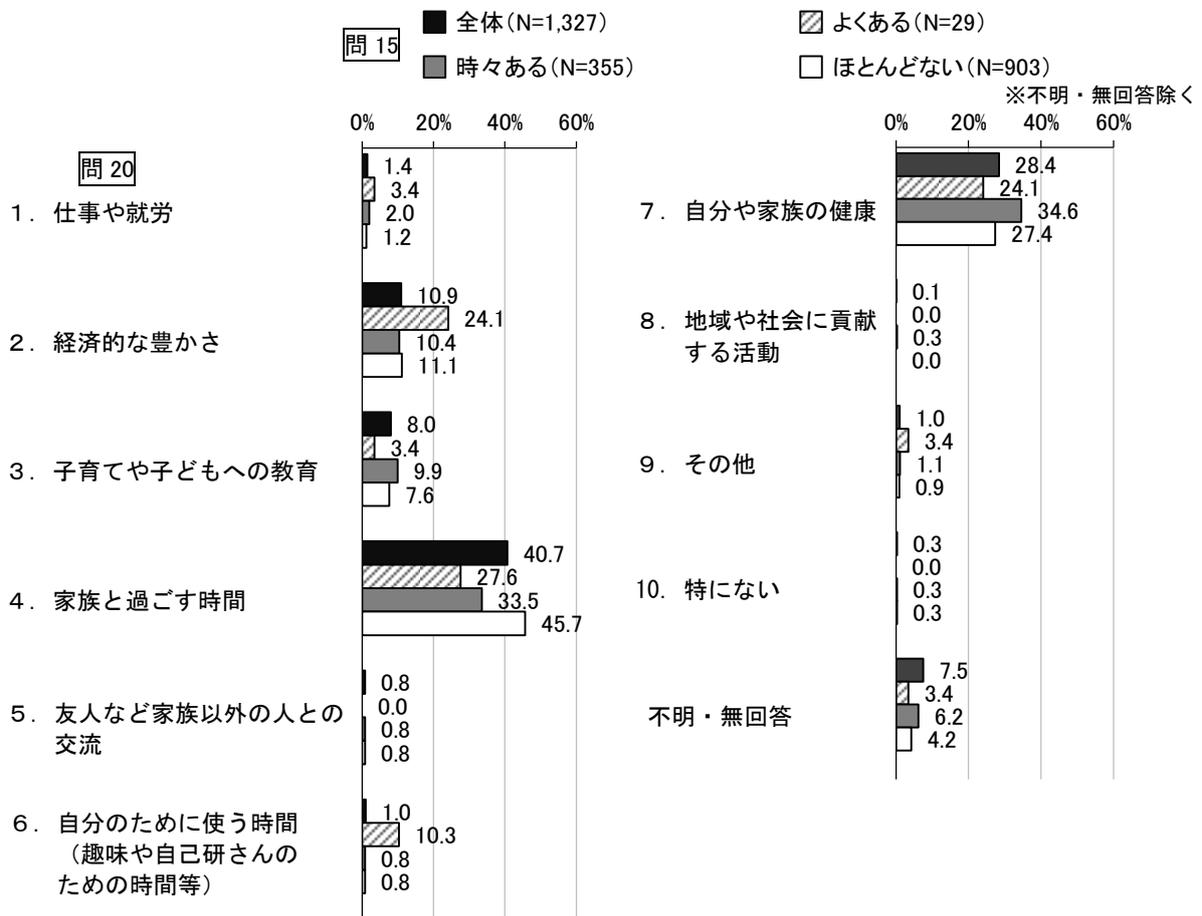
問 14 ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間別》

ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間が「ほとんどない」では、生活で最も重要だと考えていること（価値観）として「7. 自分や家族の健康」、それ以外の区分では「4. 家族と過ごす時間」の割合が最も高くなっています。また、ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間が「ほとんどない」では「2. 経済的な豊かさ」の割合が、他の区分と比べてやや高くなっています。



《問 20 生活で最も重要だと考えていること（価値観）× 問 15 子育てしにくいと感じるか別》

子育てしにくいと感じることが「時々ある」では、生活で最も重要だと考えていること（価値観）として「7. 自分や家族の健康」、それ以外の区分では「4. 家族と過ごす時間」の割合が最も高くなっています。また、子育てしにくいと感じることが「よくある」では、「2. 経済的な豊かさ」の割合が他の区分と比べてやや高くなっています。

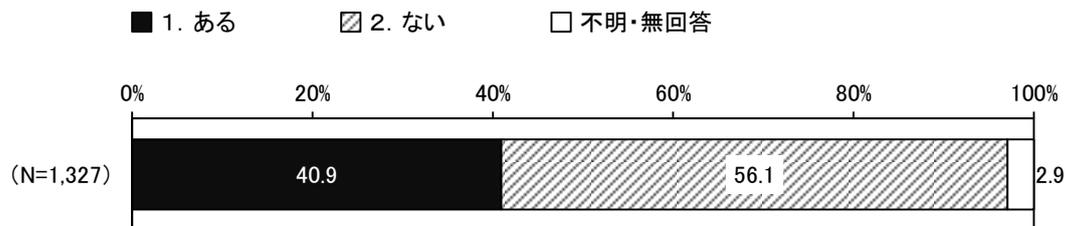


4 子どもの事故予防について

問 21(1) 今までにお子さまが家庭内での事故にあったことがありますか。(○は1つ)

※家庭内での事故とは、転落、衝突、やけど、誤飲、溺（おぼ）れる、挟（はさ）む、切る・刺すなどの事故を指します。

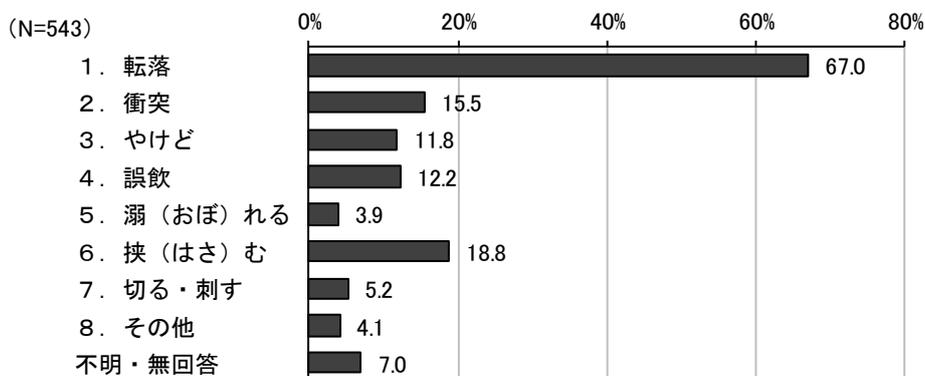
「1. ある」が40.9%、「2. ない」が56.1%となっています。



問 21(1)で「1. ある」と答えた方

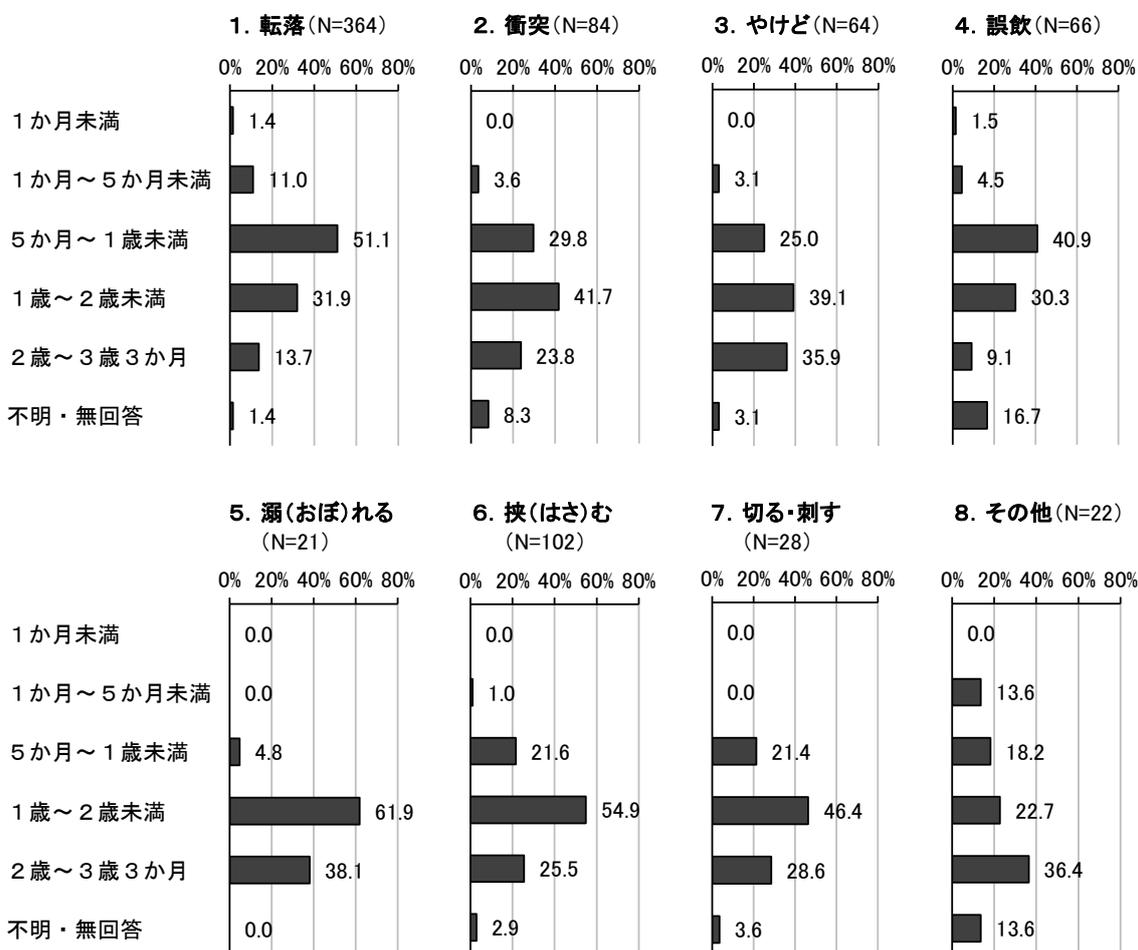
問 21(2) 事故の内容の番号を選択いただき、事故にあった年齢を（ ）に記入してください。
 (〇はいくつでも)

「1. 転落」が67.0%と最も高く、次いで「6. 挟(はさ)む」が18.8%、「2. 衝突」が15.5%となっています。



◆事故にあった年齢

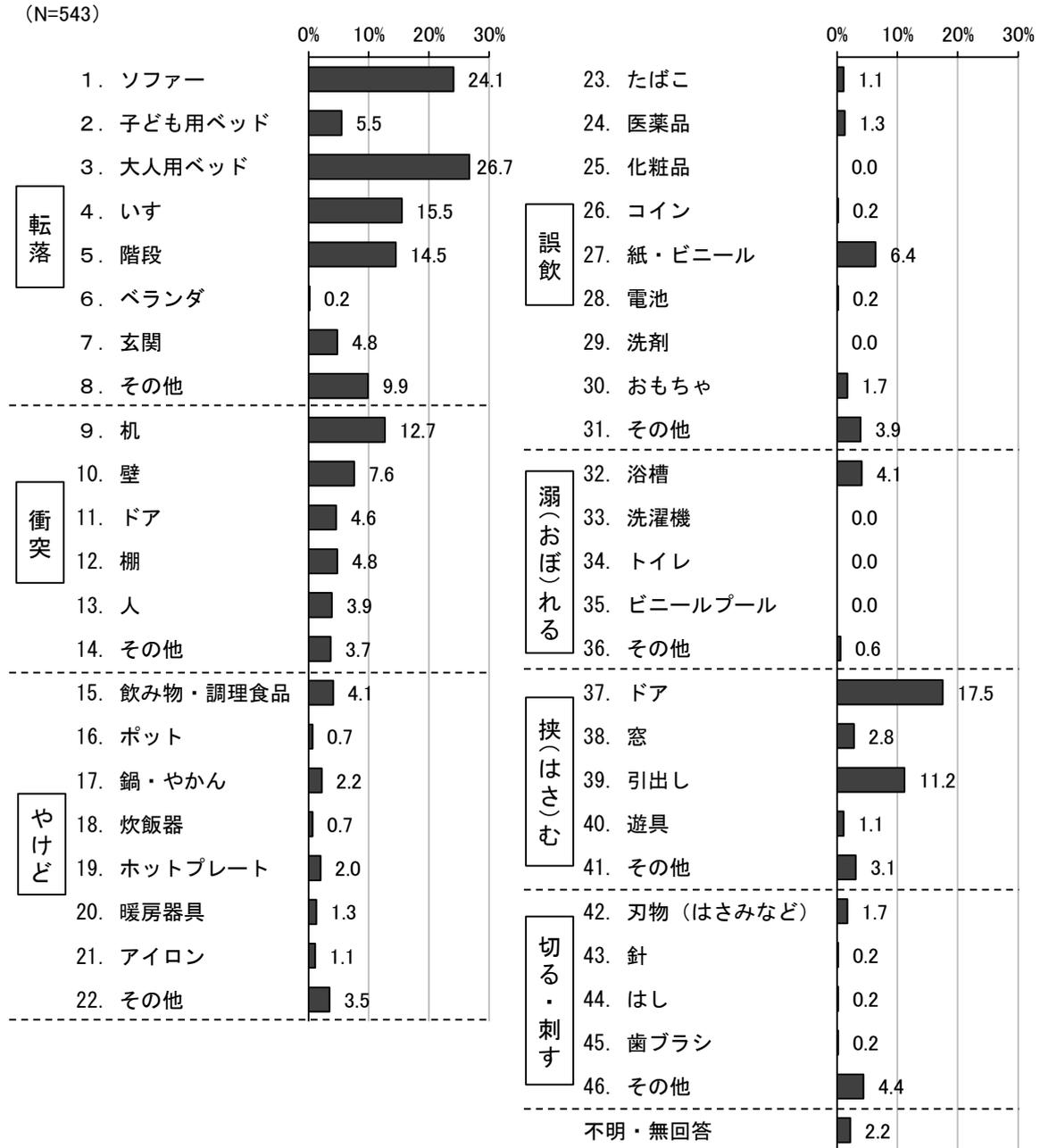
事故にあった年齢では、[1. 転落]、[4. 誤飲]では「5か月～1歳未満」がそれぞれ51.1%、40.9%と最も高く、[2. 衝突][3. やけど][5. 溺(おぼ)れる][6. 挟(はさ)む][7. 切る・刺す]では「1歳～2歳未満」がそれぞれ41.7%、39.1%、61.9%、54.9%、46.4%と最も高くなっています。



問 21(1)で「1. ある」と答えた方

問 21(3) 事故が起こった場所や原因と思われるものは何ですか。(〇はいくつでも)

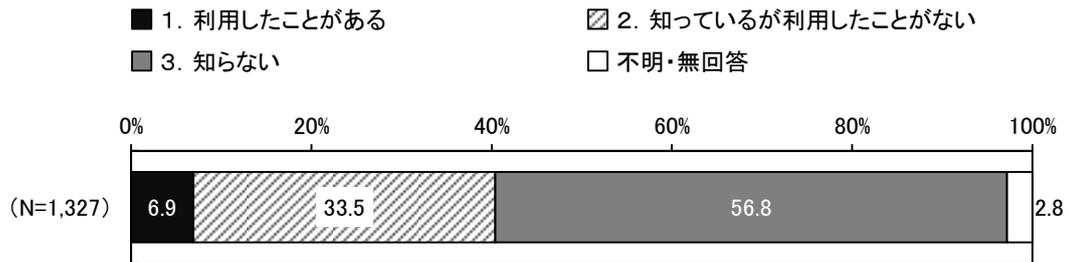
「転落」については、「3. 大人用ベッド」が 26.7%と最も高く、次いで「1. ソファー」が 24.1%、「4. いす」が 15.5%となっています。



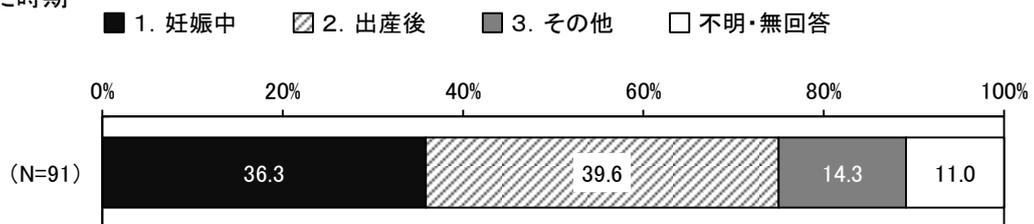
問 22(1) 京（みやこ）あんしん子ども館（京都市子ども保健医療相談・事故防止センター）を知っていますか。また、利用したことがありますか。（○は1つ）
 利用したことがある場合は、その時期を選択してください。

「3. 知らない」が56.8%と最も高く、次いで「2. 知っているが利用したことがない」が33.5%となっています。

利用した時期では、「2. 出産後」が39.6%と最も高く、次いで「1. 妊娠中」が36.3%となっています。

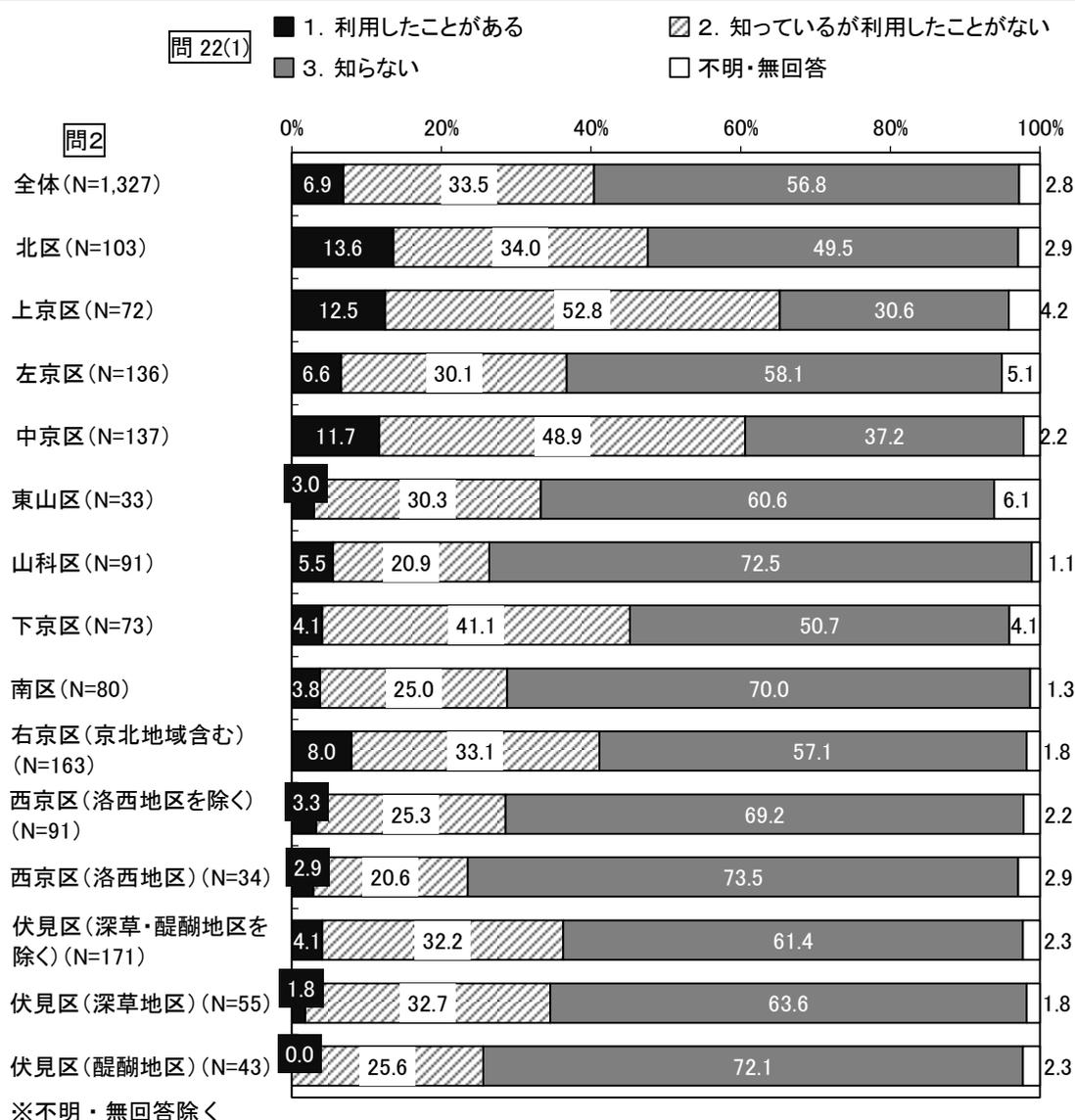


◆利用した時期



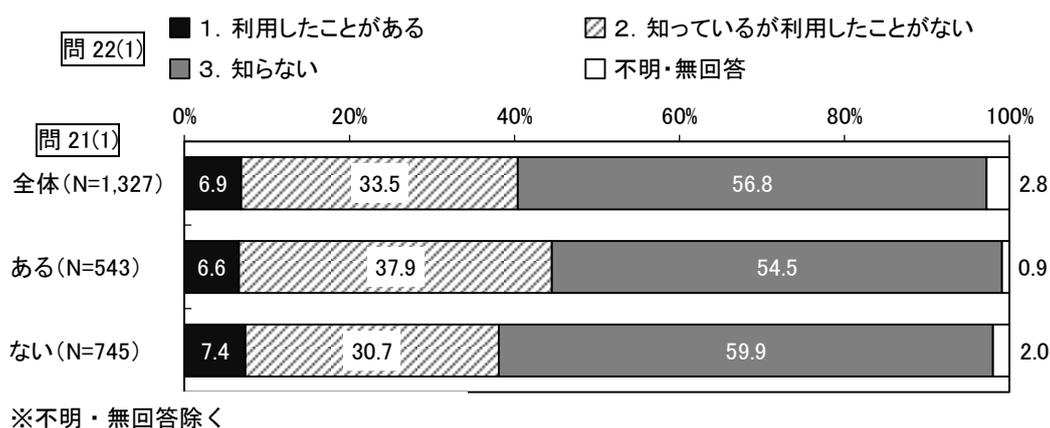
《問 22(1) 京（みやこ）あんしん子ども館の認知度 × 問 2 居住区別》

回答者の居住区が「上京区」「中京区」では、京（みやこ）あんしん子ども館を「2. 知っているが利用したことがない」が利用したことがない、それ以外の区分では「3. 知らない」の割合が最も高くなっています。



《問 22(1) 京（みやこ）あんしん子ども館の認知度 × 問 21(1) 子どもの家庭内での事故の有無別》

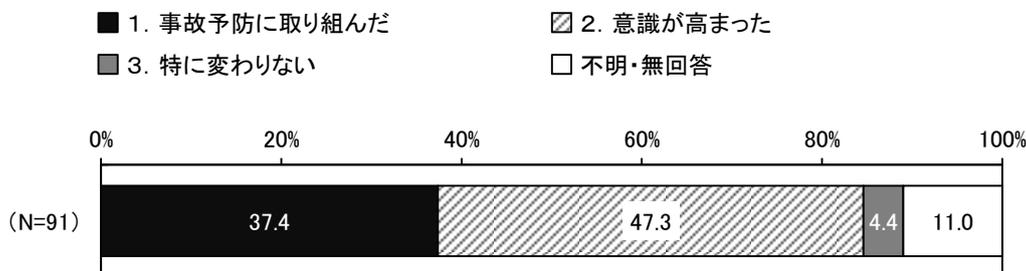
すべての区分で京（みやこ）あんしん子ども館を「3. 知らない」の割合が最も高く、次いで「2. 知っているが利用したことがない」となっています。



問 22(1)で「1. 利用したことがある」と答えた方

問 22(2) 利用してから事故予防に関する意識が変わりましたか。(〇は1つ)

「2. 意識が高まった」が47.3%と最も高く、次いで「1. 事故予防に取り組んだ」が37.4%となっています。

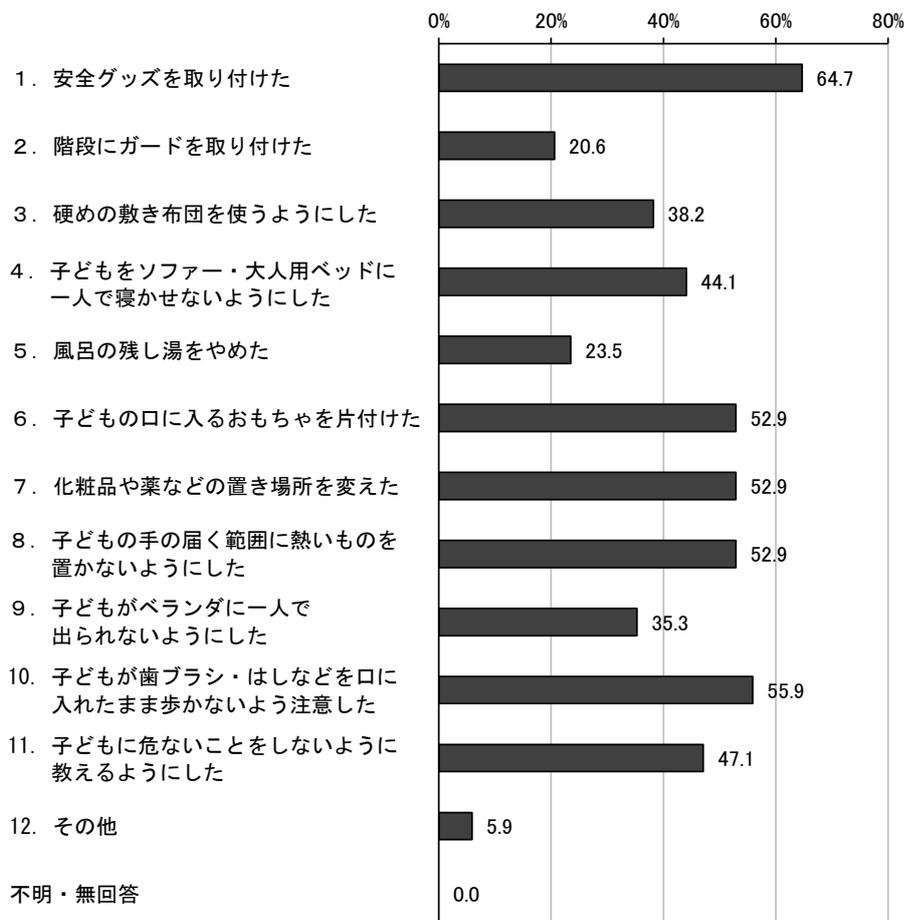


問 22(2)で「1. 事故予防に取り組んだ」と答えた方

問 22(3) 取り組んだ内容についてお答えください。(〇はいくつでも)

「1. 安全グッズを取り付けた」が64.7%と最も高く、次いで「10. 子どもが歯ブラシ・はしなどを口に入れたまま歩かないよう注意した」が55.9%となっています。

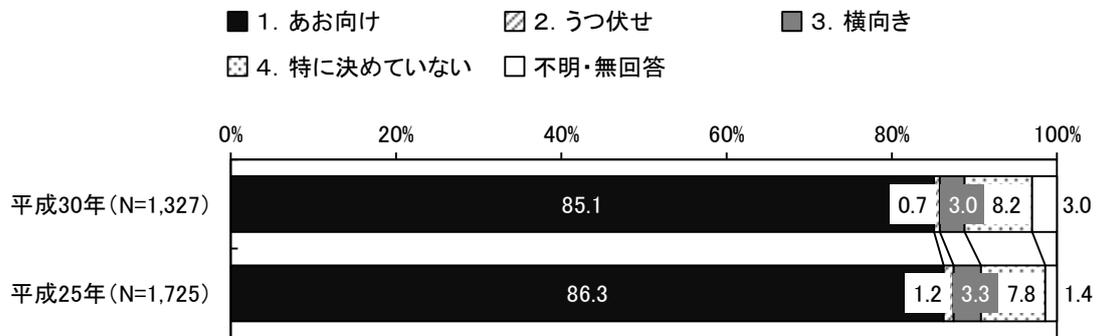
(N=34)



問 23 お子さまが寝返りできるまでは、どのように寝かせていましたか。寝返りがまだの場合はどのように寝かせていますか。(〇は1つ)

「1. あお向け」が85.1%と最も高く、次いで「4. 特に決めていない」が8.2%、「3. 横向き」が3.0%となっています。

平成25年と比較すると、「2. うつ伏せ」が0.5ポイント低くなっています。

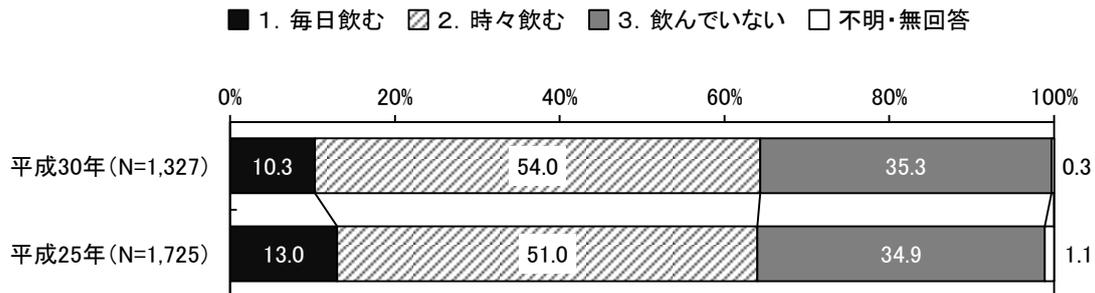


5 飲酒や喫煙について

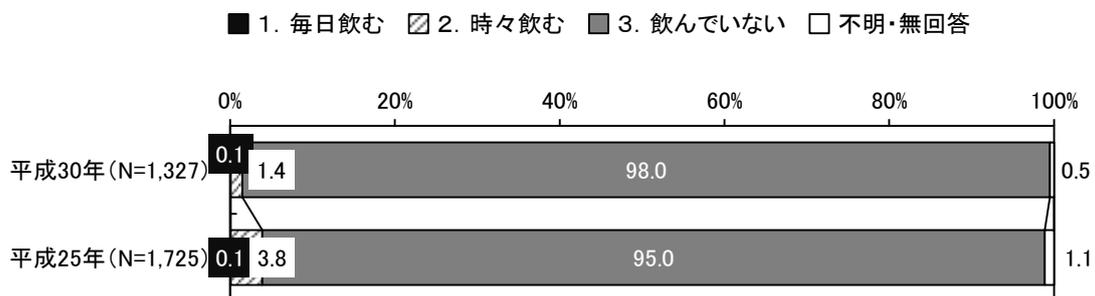
問 24 あなたはお酒を飲みますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

①妊娠前では「2. 時々飲む」が54.0%と最も高く、次いで「3. 飲んでいない」が35.3%となっています。②妊娠中, ③出産後(現在)では, 「3. 飲んでいない」がそれぞれ98.0%, 75.7%と最も高く、次いで「2. 時々飲む」がそれぞれ1.4%, 20.7%となっています。

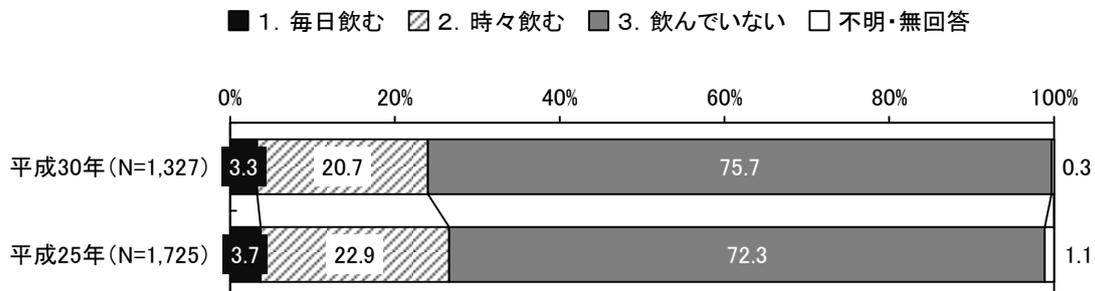
①妊娠前



②妊娠中

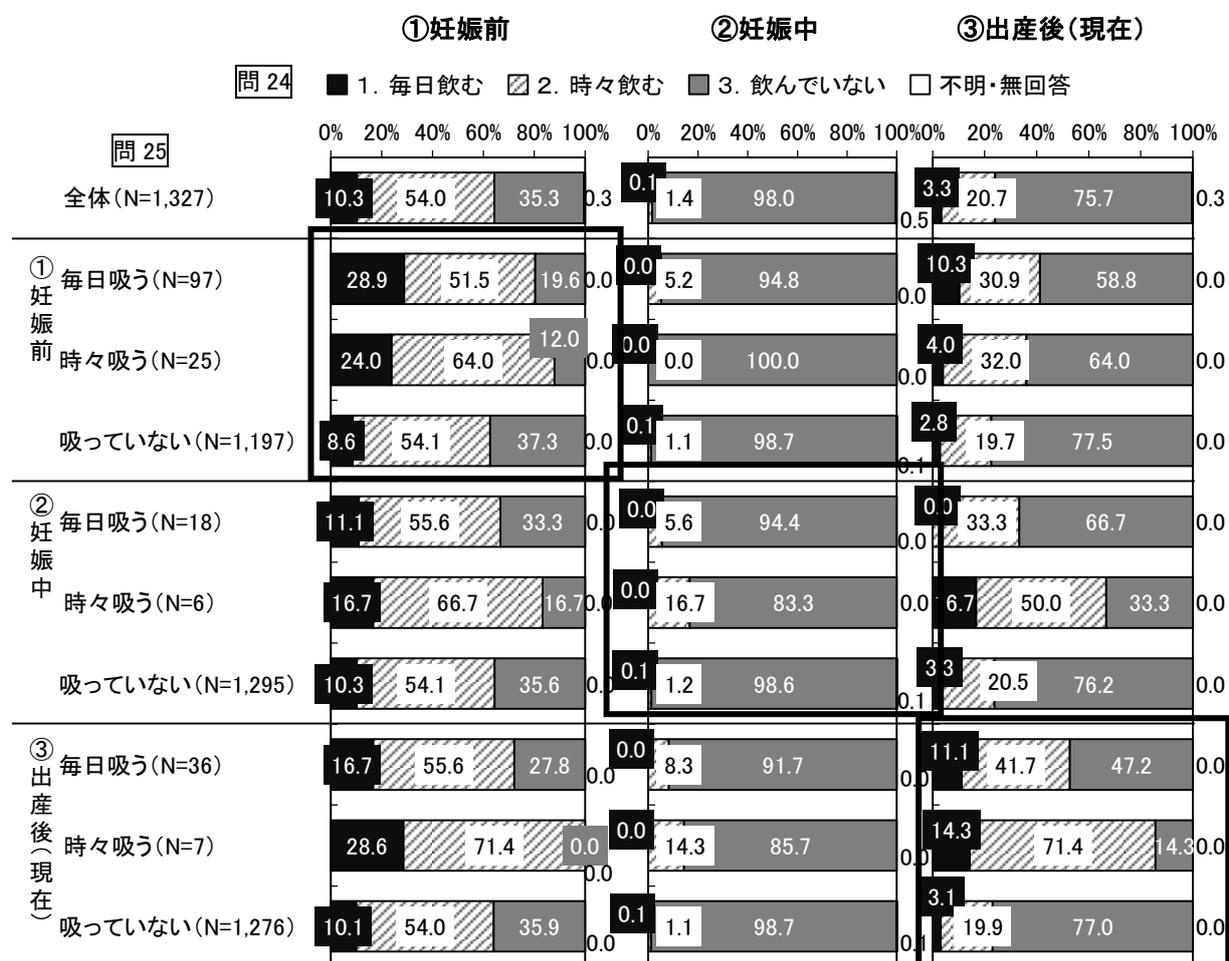


③出産後(現在)



《問 24 飲酒状況 × 問 25 喫煙状況別》

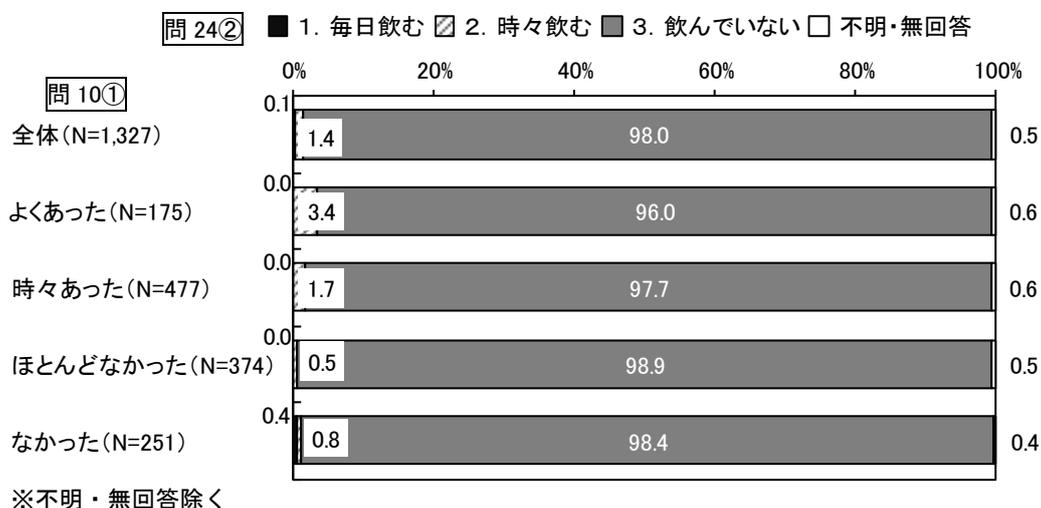
①妊娠前, ③出産後にたばこを「毎日吸う」「時々吸う」では, お酒を「毎日飲む」「時々飲む」の割合が半数を超えています。②妊娠中はお酒を「飲む」の割合が低くなっているものの, たばこを「時々吸う」では, お酒を「飲む」の割合が他の区分に比べてやや高くなっています。



※不明・無回答除く

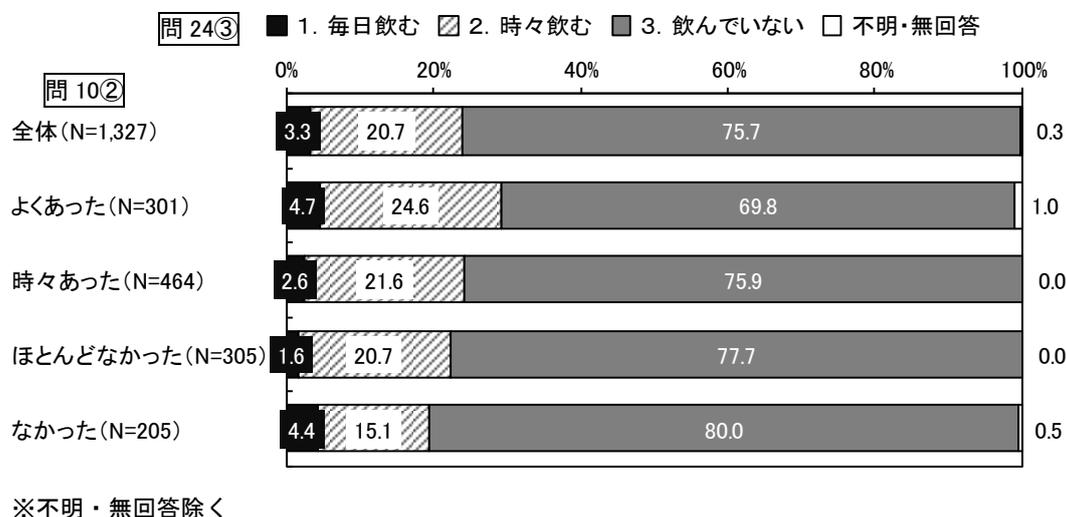
《問 24② 妊娠中の飲酒状況 × 問 10① 妊娠中の落ち込みやイライラ感の頻度別》

妊娠中の落ち込みやイライラ感があったほど、妊娠中にお酒を「飲む（「1. 毎日飲む」と「2. 時々飲む」の合計）」の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 24③ 出産後の飲酒状況 × 問 10② 出産後の落ち込みやイライラ感の頻度別》

出産後の落ち込みやイライラ感があったほど、出産後のお酒を「飲む（「1. 毎日飲む」と「2. 時々飲む」の合計）」の割合が高くなる傾向がみられます。



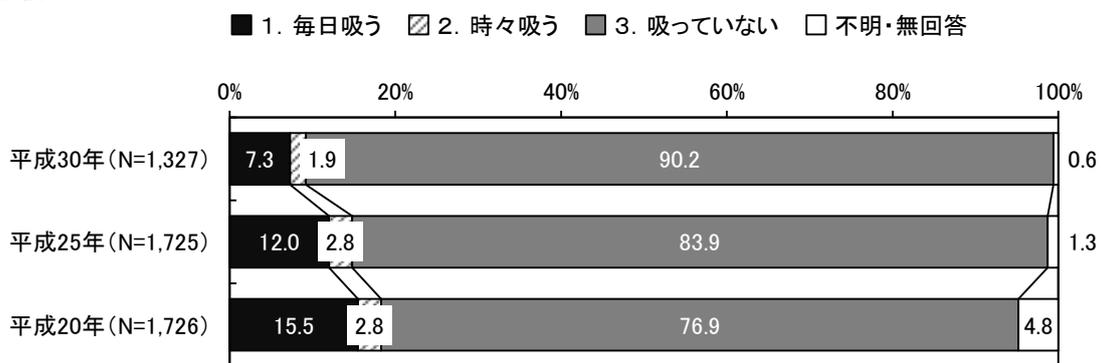
問 25 あなたはたばこを吸いますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

「1. 毎日吸う」場合は、1日に吸う本数を()にご記入ください。

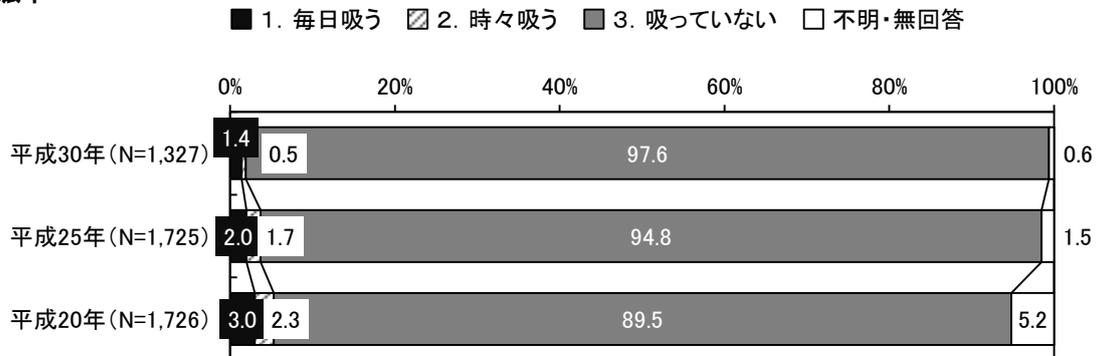
①妊娠前、②妊娠中、③出産後(現在)ともに「3. 吸っていない」が最も高く、それぞれ90.2%、97.6%、96.2%となっています。

平成20年と比較すると、「3. 吸っていない」は①妊娠前では13.3ポイント、②妊娠中は8.1ポイント、③出産後(現在)では9.4ポイント高くなっています。また、①妊娠前では、「1. 毎日吸う」が8.2ポイント低くなっており、妊娠前の喫煙者が少なくなっていることが分かりますが、「1. 毎日吸う」と「2. 時々吸う」を合わせた割合は妊娠中に一旦低下し、出産後に高くなっています。

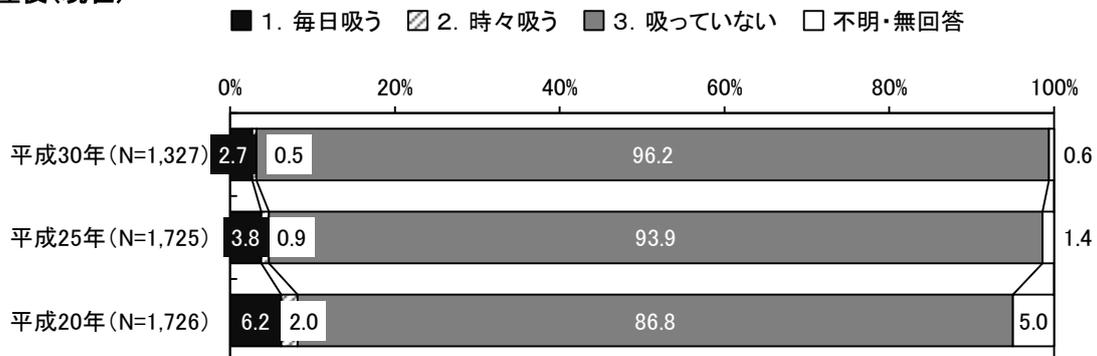
①妊娠前



②妊娠中



③出産後(現在)



◆毎日吸う方の1日に吸う本数

毎日吸う方の1日に吸う本数については、①妊娠前と②妊娠中では「10～14本」がそれぞれ39.2%、33.3%と最も高く、③出産後（現在）では「20本以上」が38.9%と最も高くなっています。

1日に吸う 本数	①妊娠前(N=97)		②妊娠中(N=18)		③出産後(現在)(N=36)	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1～4本	1	1.0	1	5.6	3	8.3
5～9本	10	10.3	3	16.7	4	11.1
10～14本	38	39.2	6	33.3	12	33.3
15～19本	11	11.3	3	16.7	3	8.3
20本以上	36	37.1	4	22.2	14	38.9
不明・無回答	1	1.0	1	5.6	0	0.0

同居の方がいらっしゃる方

問 26 同居の方はたばこを吸いますか。(〇はそれぞれ1つつ)

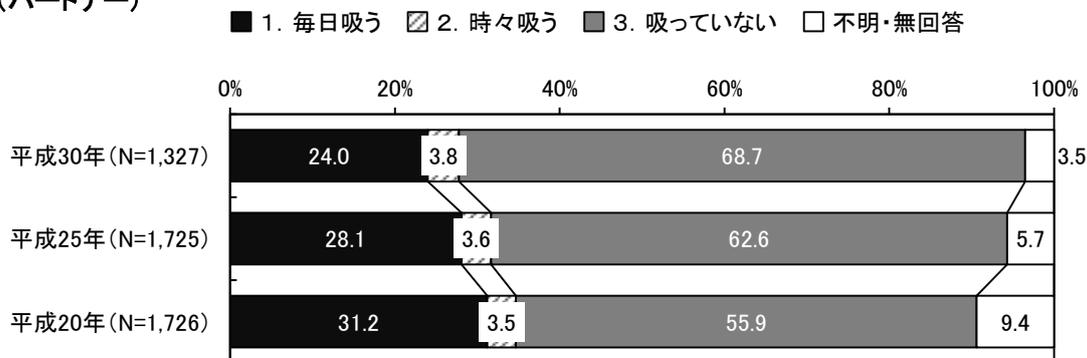
「1. 毎日吸う」場合は、1日に吸う本数を()にご記入ください。

①夫(パートナー)では、「3. 吸っていない」が68.7%と最も高く、次いで「1. 毎日吸う」が24.0%となっています。過去調査と比較すると、①夫(パートナー)では平成20年よりも「1. 毎日吸う」が7.2ポイント低く、「3. 吸っていない」が12.8ポイント高くなっています。

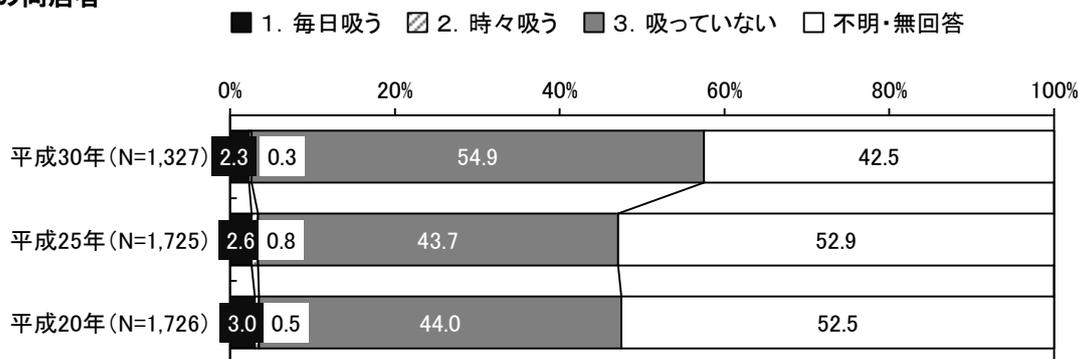
②他の同居者では、「3. 吸っていない」が54.9%と最も高く、次いで「1. 毎日吸う」が2.3%となっています。過去調査と比較すると、「3. 吸っていない」が平成25年よりも11.2ポイント、平成20年よりも10.9ポイント高くなっています。

毎日吸う方の1日に吸う本数については、①夫(パートナー)、②他の同居者ともに「10~14本」がそれぞれ32.0%、30.0%と最も高くなっています。

①夫(パートナー)



②他の同居者

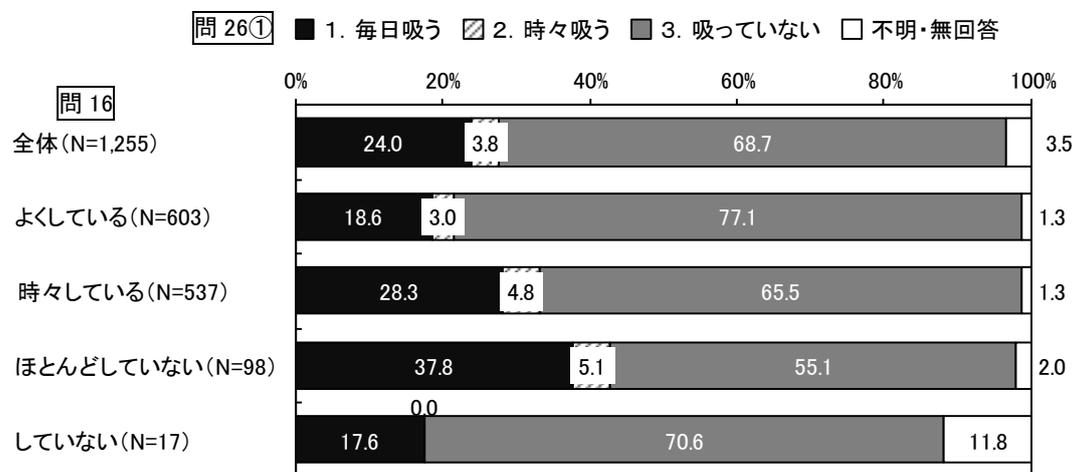


◆毎日吸う方の1日に吸う本数

1日に吸う本数	①夫(パートナー) (N=319)		②他の同居者 (N=30)	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
1~4本	17	5.3	2	6.7
5~9本	46	14.4	6	20.0
10~14本	102	32.0	9	30.0
15~19本	39	12.2	4	13.3
20本以上	97	30.4	7	23.3
不明・無回答	18	5.6	2	6.7

《問 26① 夫（パートナー）の喫煙状況 × 問 16 夫（パートナー）の育児状況別》

夫（パートナー）が育児をしているほど、夫（パートナー）がたばこを「3. 吸っていない」の割合が高くなる傾向がみられます。

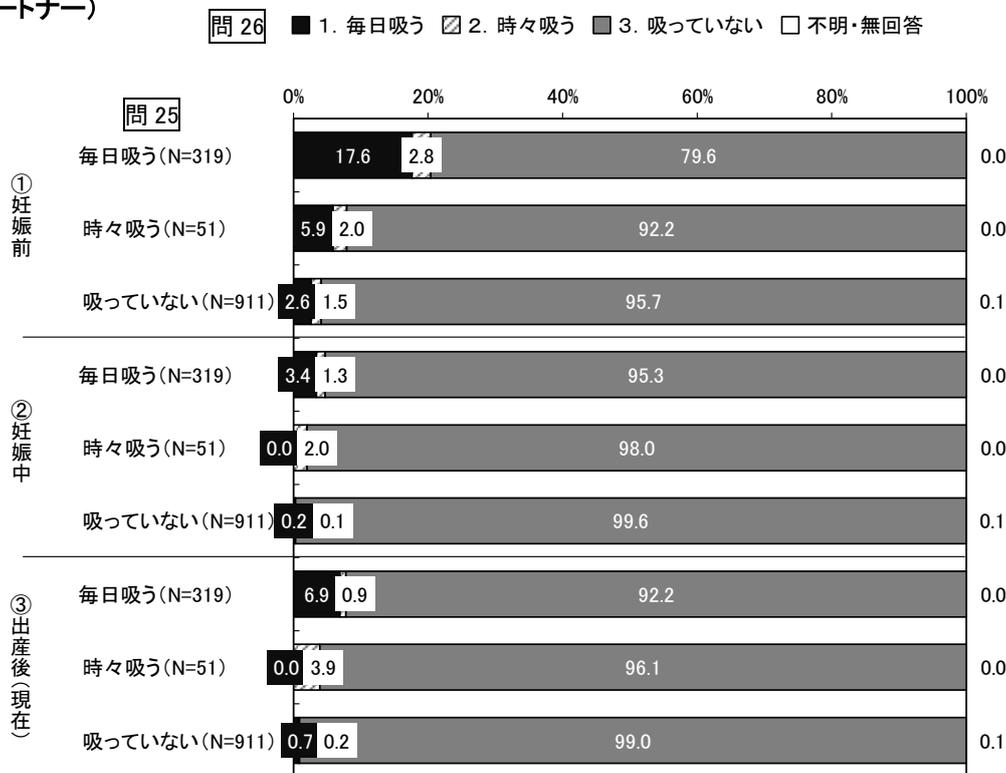


※不明・無回答除く

《問 25 喫煙状況 × 問 26 同居人の喫煙状況別》

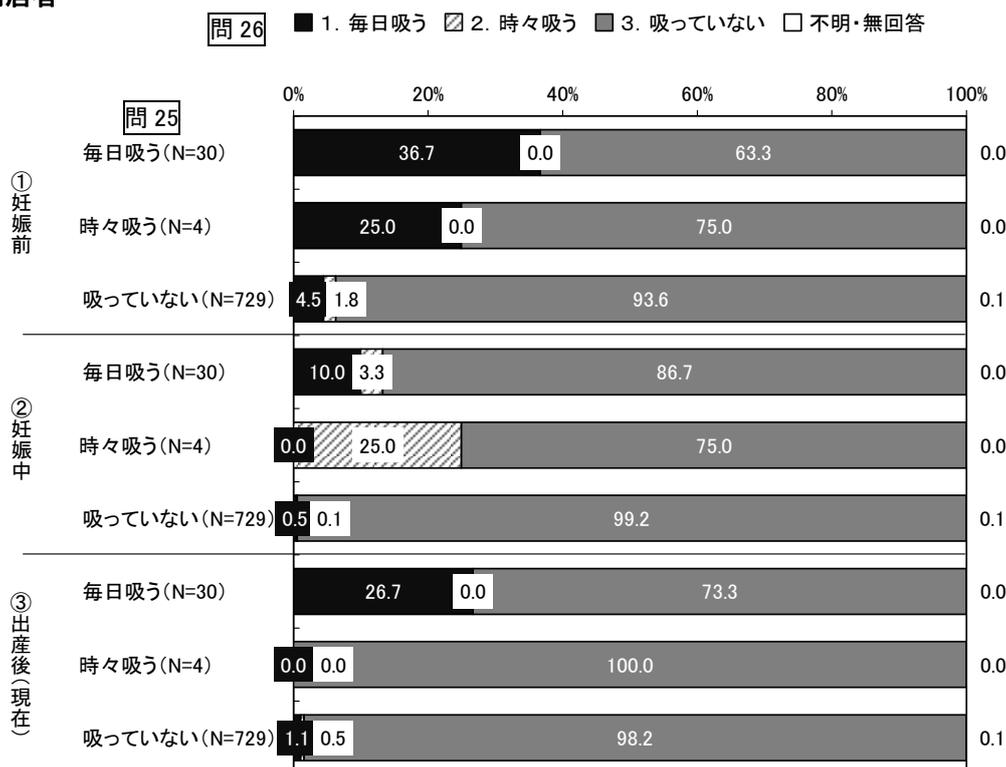
①夫（パートナー）がたばこを「毎日吸う」では、回答者が①妊娠前、②妊娠中、③出産後（現在）にたばこを「1. 毎日吸う」の割合が他の区分に比べて高く、②他の同居者においても同様の傾向がみられます。

①夫（パートナー）



※不明・無回答除く

②他の同居者



※不明・無回答除く

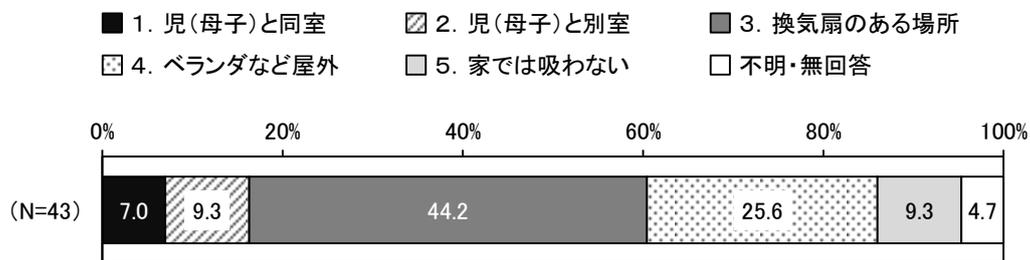
問 25 で③出産後にたばこを「1. 毎日吸う」または「2. 時々吸う」と答えた方、問 26 で同居の方が「1. 毎日吸う」または「2. 時々吸う」と答えた方

問 27 たばこを吸われる時は、どこで吸われますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

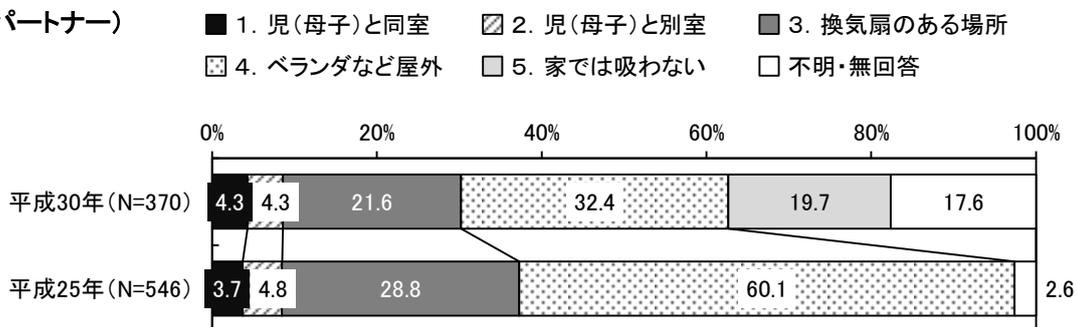
①本人では、「3. 換気扇のある場所」が 44.2%と最も高く、次いで「4. ベランダなど屋外」が 25.6%となっています。②夫（パートナー）では、「4. ベランダなど屋外」が 32.4%と最も高く、次いで「3. 換気扇のある場所」が 21.6%となっています。③他の同居者では、「3. 換気扇のある場所」が 26.5%と最も高く、次いで「2. 児（母子）と別室」と「4. ベランダなど屋外」がそれぞれ 23.5%となっています。

平成 25 年と比較すると、②夫（パートナー）では「4. ベランダなど屋外」が 27.7 ポイント、「3. 換気扇のある場所」が 7.2 ポイント低く、③他の同居者では「1. 児（母子）と同室」が 14.0 ポイント、「4. ベランダなど屋外」が 8.1 ポイント低くなっています。

①本人(出産後)

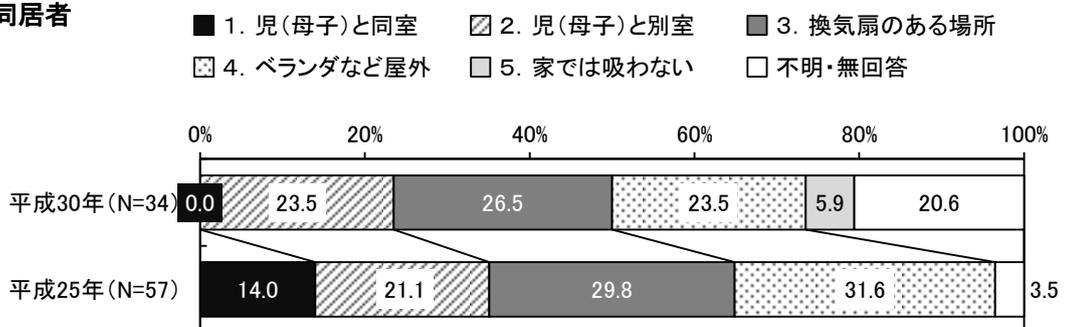


②夫(パートナー)



※「5. 家では吸わない」は平成 30 年のみの選択肢

③他の同居者

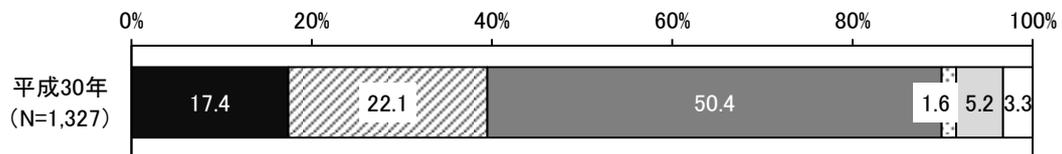


※「5. 家では吸わない」は平成 30 年のみの選択肢

問 28 お子さまを同伴して飲食店や宿泊施設などを利用する際、気を付けていることはありますか。(〇は1つ)

「3. 確認はしないが、禁煙席(室)が設けられている場合は禁煙席(室)を利用するようにしている」が50.4%と最も高く、次いで「2. 禁煙席(室)が設けられている施設であることを確認してから利用するようにしている」が22.1%, 「1. 屋内禁煙の施設であることを確認してから利用するようにしている」が17.4%となっています。

- 1. 屋内禁煙の施設であることを確認してから利用するようにしている
- ☑ 2. 禁煙席(室)が設けられている施設であることを確認してから利用するようにしている
- 3. 確認はしないが、禁煙席(室)が設けられている場合は禁煙席(室)を利用するようにしている
- ☑ 4. 喫煙席(室)がある施設であることを確認してから利用するようにしている
- 5. 気を付けていることはない
- 不明・無回答

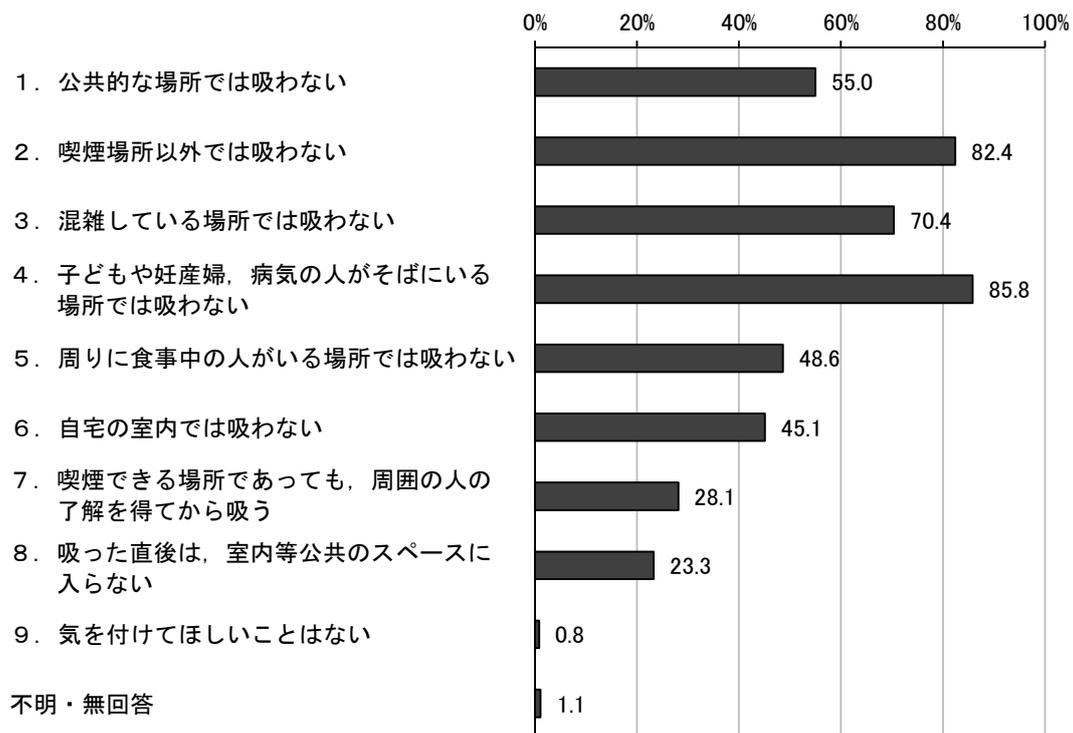


問 29 あなたは、周囲の人がたばこを吸う時に気を付けてほしいことはありますか。

(〇はいくつでも)

「4. 子どもや妊産婦、病気の人がそばにいる場所では吸わない」が85.8%と最も高く、次いで「2. 喫煙場所以外では吸わない」が82.4%、「3. 混雑している場所では吸わない」が70.4%となっています。

(N=1,327)

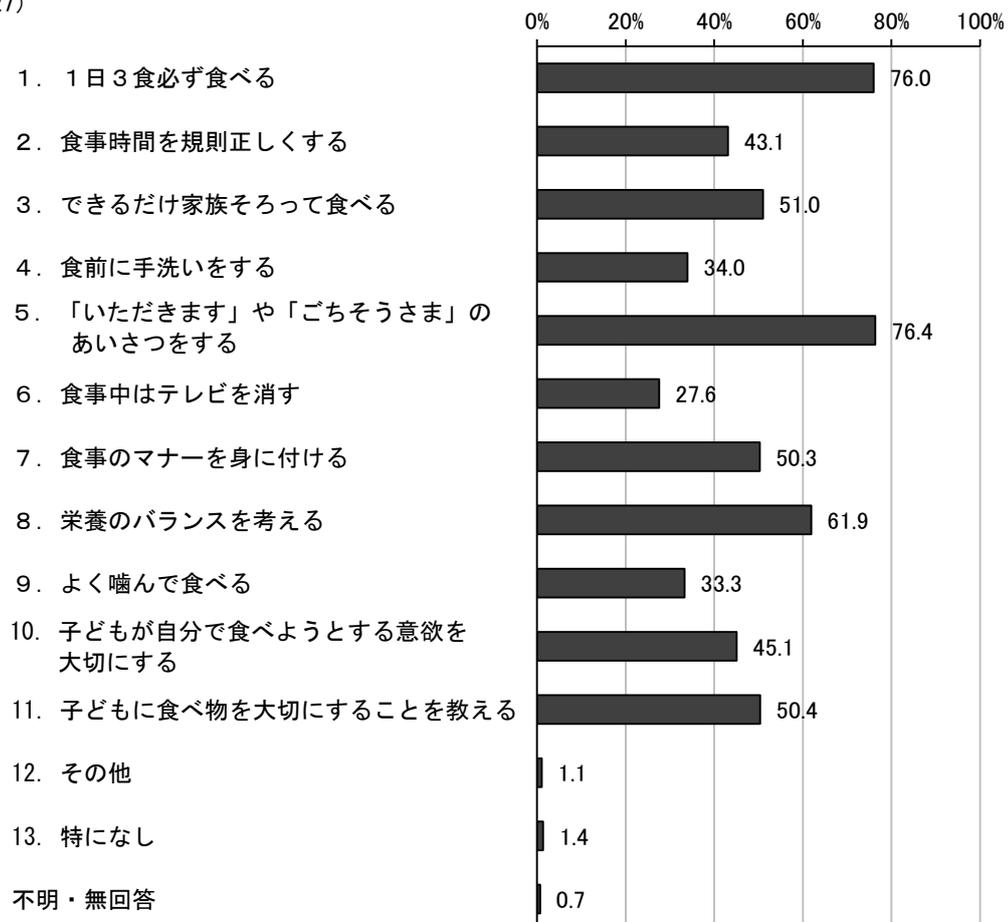


6 食生活やお口の健康について

問 30 あなたや家族の食生活で実践していることについてお答えください。(〇はいくつでも)

「5. 「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつをする」が 76.4%と最も高く、次いで「1. 1日3食必ず食べる」が 76.0%、「8. 栄養のバランスを考える」が 61.9%となっています。

(N=1,327)



《問 30 家族の食生活で実践していること × 問 1 年齢別》

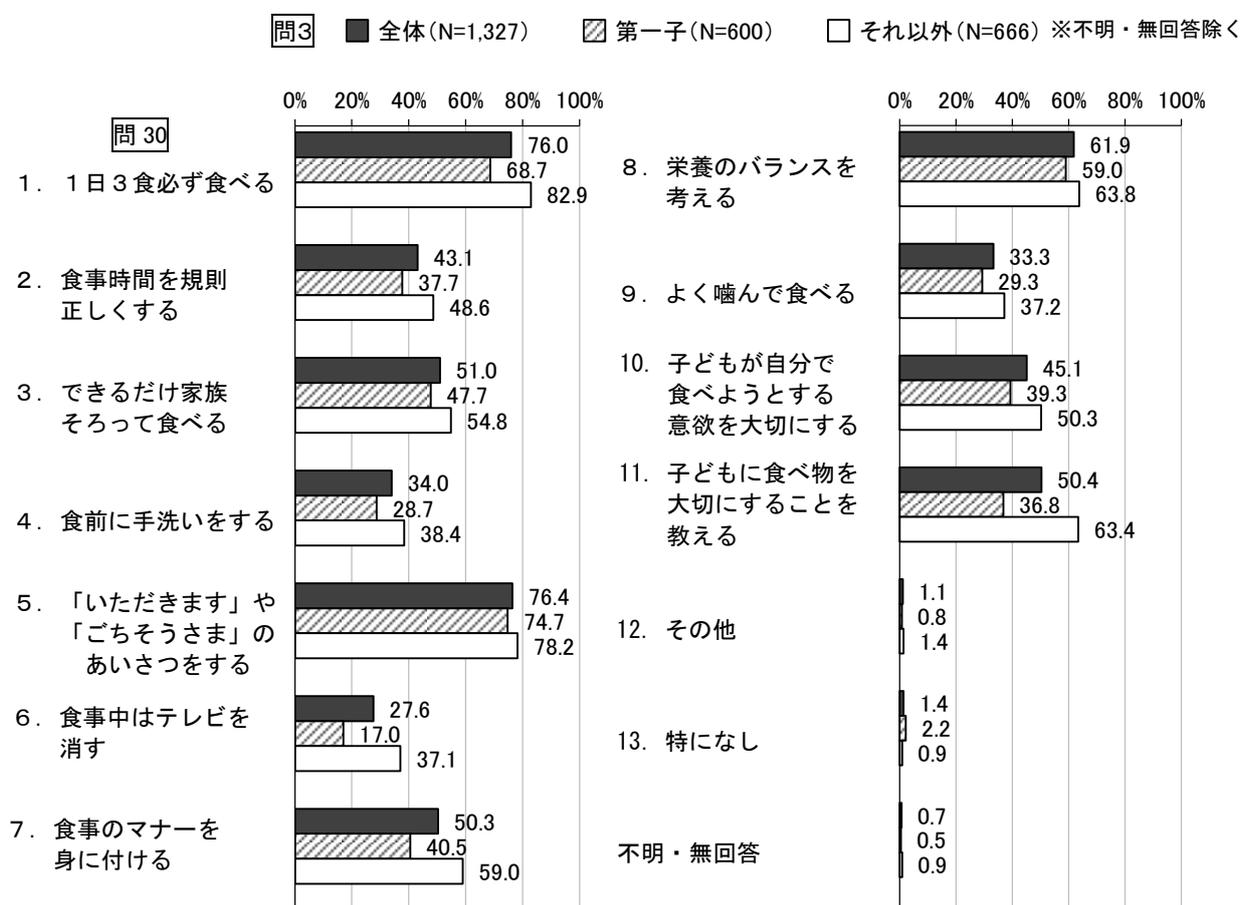
34歳以下では、家族の食生活で実践していることとして、「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつをする、35歳以上では「1日3食必ず食べる」の割合が最も高くなっています。また、20歳以上では、年代が上がるほど「食前に手洗いをする」「栄養のバランスを考える」の割合が高くなる傾向がみられます。

上段:件数 下段:%		合計	1日3食必ず 食べる	食事時間を規 則正しくする	できるだけ家 族そろって食 べる	食前に手洗 いをする	「いた だきま す」や 「ごち そうさ ま」の あいさ つをす る	食事中はテ レビを消 す	食事のマ ナーを身 に付け る
全 体		1,327 100.0	1,008 76.0	572 43.1	677 51.0	451 34.0	1,014 76.4	366 27.6	668 50.3
年 齢 別	19歳以下	8 100.0	5 62.5	2 25.0	4 50.0	3 37.5	8 100.0	2 25.0	3 37.5
	20～24歳	47 100.0	23 48.9	9 19.1	25 53.2	7 14.9	35 74.5	3 6.4	20 42.6
	25～29歳	186 100.0	121 65.1	60 32.3	95 51.1	39 21.0	146 78.5	31 16.7	81 43.5
	30～34歳	455 100.0	344 75.6	205 45.1	230 50.5	156 34.3	352 77.4	130 28.6	237 52.1
	35～39歳	409 100.0	335 81.9	194 47.4	216 52.8	151 36.9	313 76.5	134 32.8	214 52.3
	40～44歳	159 100.0	128 80.5	76 47.8	76 47.8	66 41.5	115 72.3	44 27.7	80 50.3
	45歳以上	20 100.0	18 90.0	9 45.0	11 55.0	12 60.0	15 75.0	7 35.0	10 50.0
上段:件数 下段:%		合計	栄養のバラン スを考える	よく噛んで食 べる	子どもが自分 で食べようと する意欲を大 切にする	子どもに食べ 物を大切にす ることを教え る	その他	特になし	不明・無回答
全 体		1,327 100.0	821 61.9	442 33.3	599 45.1	669 50.4	14 1.1	19 1.4	9 0.7
年 齢 別	19歳以下	8 100.0	5 62.5	2 25.0	3 37.5	4 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～24歳	47 100.0	17 36.2	15 31.9	22 46.8	18 38.3	1 2.1	4 8.5	0 0.0
	25～29歳	186 100.0	101 54.3	58 31.2	77 41.4	79 42.5	2 1.1	3 1.6	2 1.1
	30～34歳	455 100.0	280 61.5	160 35.2	215 47.3	215 47.3	4 0.9	4 0.9	3 0.7
	35～39歳	409 100.0	267 65.3	134 32.8	181 44.3	230 56.2	6 1.5	5 1.2	2 0.5
	40～44歳	159 100.0	104 65.4	50 31.4	69 43.4	89 56.0	1 0.6	3 1.9	2 1.3
	45歳以上	20 100.0	16 80.0	10 50.0	9 45.0	12 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※不明・無回答除く

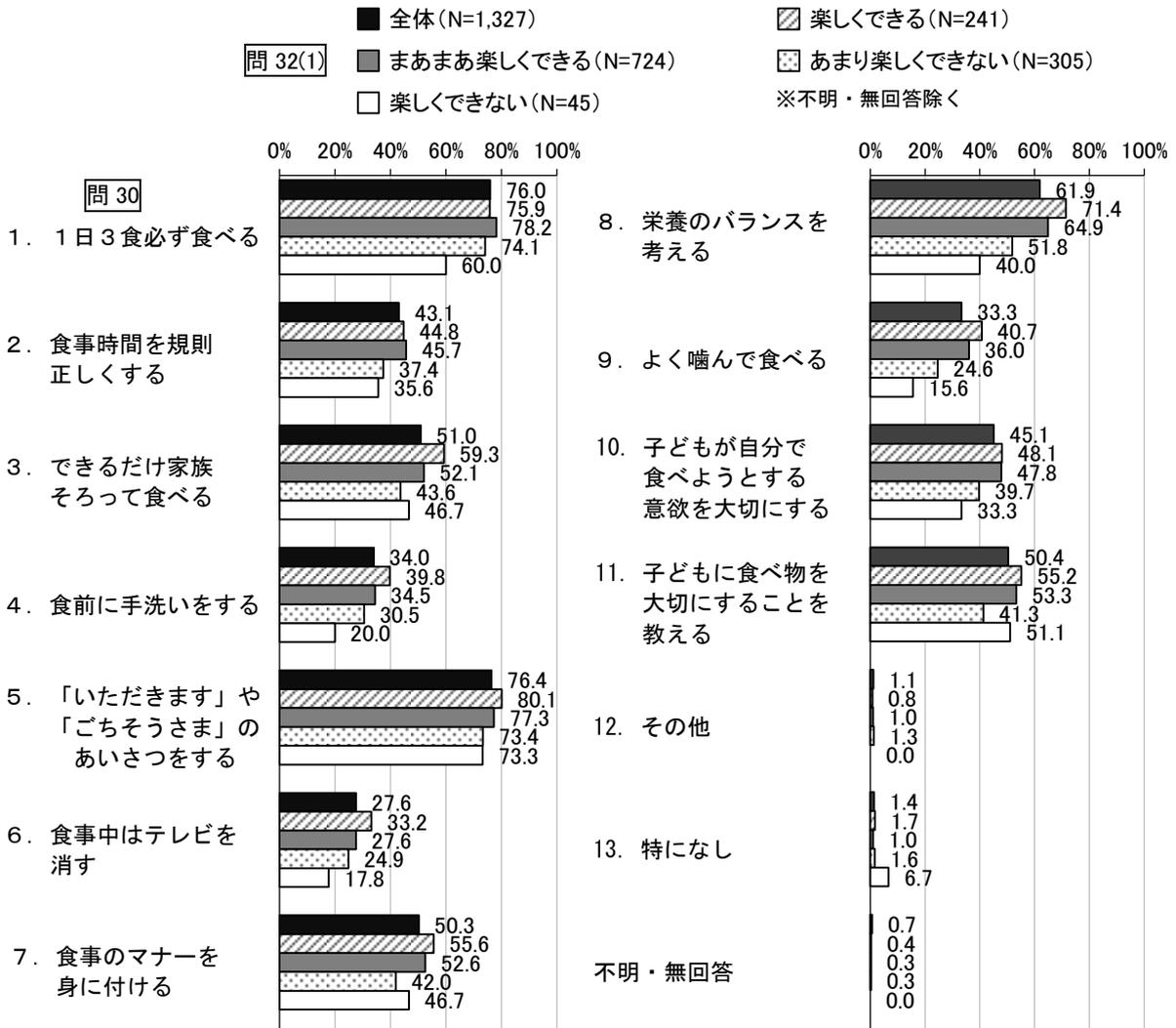
《問30 家族の食生活で実践していること × 問3 健診を受けた子ども別》

健診を受けた子どもの出生順が「第一子」では、家族の食生活で実践していることとして「5. 「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつをする」, 「それ以外」では「1. 1日3食必ず食べる」の割合が最も高くなっています。また、家族の食生活で実践していることが「13. 特になし」を除くすべての項目で、「それ以外」が「第一子」の割合を上回っています。



《問 30 家族の食生活で実践していること × 問 32(1) 食事作りが楽しくできるか別》

食事作りを「楽しくできる」「楽しくできない」では、家族の食生活で実践していることとして、「5. 「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつをする」、「まあまあ楽しくできる」「あまり楽しくできない」では「1. 1日3食必ず食べる」の割合が最も高くなっています。

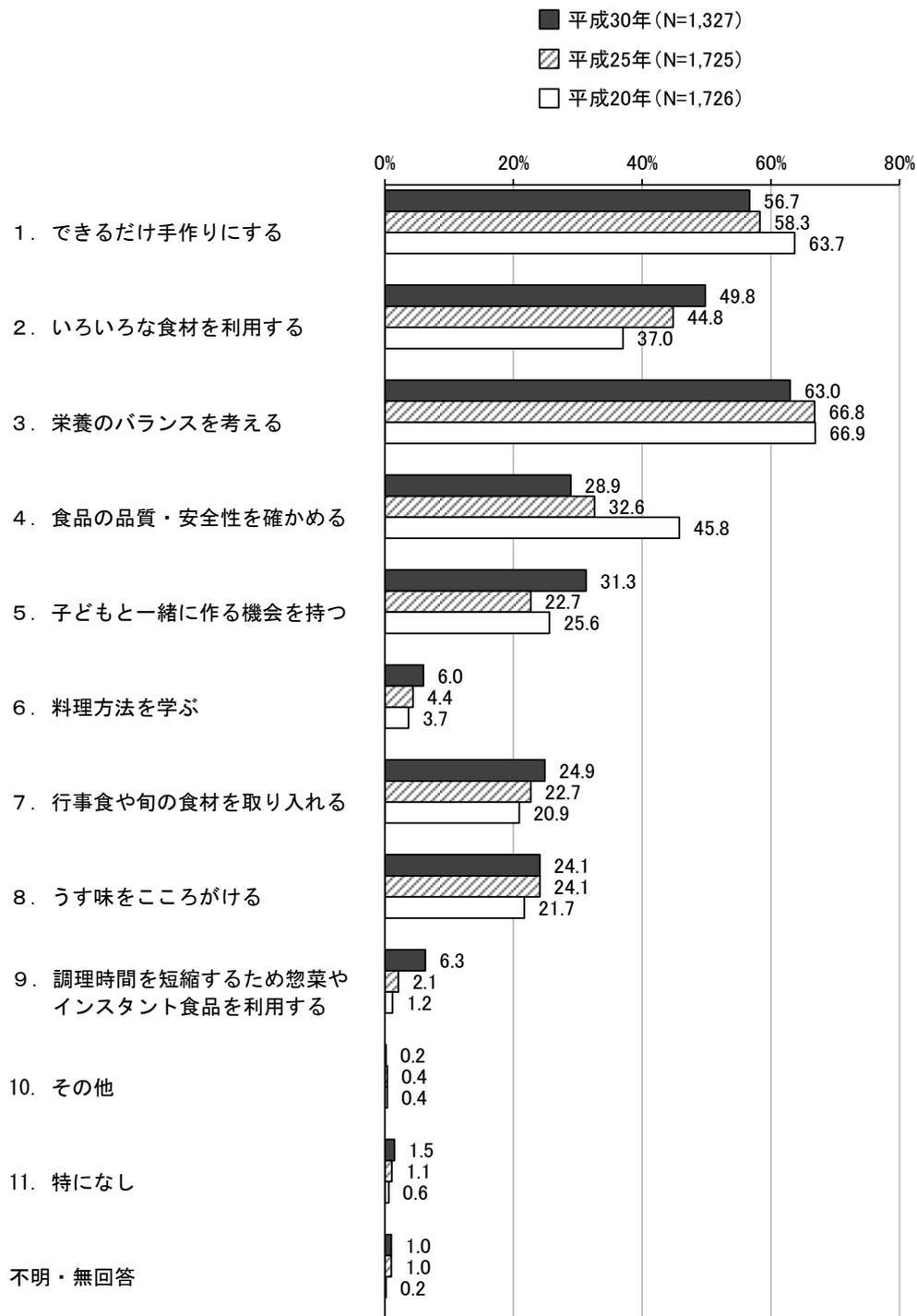


問 31 家族の食事作りで、工夫したり、これからしようと思うことはありますか。

(〇は3つまで)

「3. 栄養のバランスを考える」が63.0%と最も高く、次いで「1. できるだけ手作りにする」が56.7%、「2. いろいろな食材を利用する」が49.8%となっています。

平成20年と比較すると「4. 食品の品質・安全性を確かめる」が16.9ポイント低く、「2. いろいろな食材を利用する」が12.8ポイント高くなっています。



《問 31 家族の食事作りで工夫やこれからしようと思うこと × 問 1 年齢別》

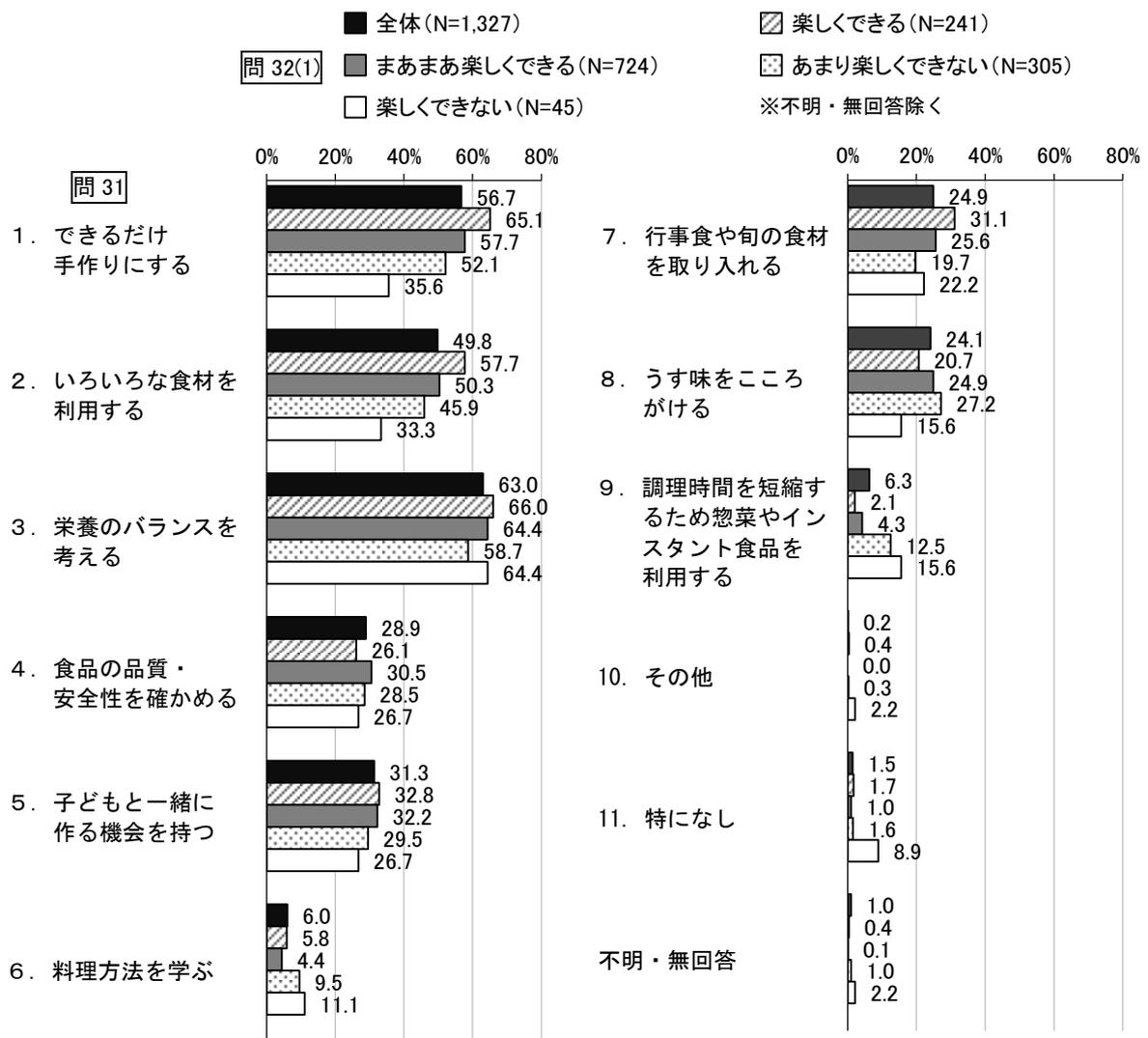
「19歳以下」では、家族の食事作りで工夫やこれからしようと思うこととして「できるだけ手作りにする」と「いろいろな食材を利用する」の割合が同率で最も高く、「20～24歳」「25～29歳」では「できるだけ手作りにする」の割合が最も高くなっています。30歳以上では「栄養のバランスを考える」の割合が最も高く、年代が上がるほど割合が高くなる傾向がみられます。

上段:件数 下段:%		合計	できるだけ手 作りにする	いろいろな食 材を利用する	栄養のバラ ンスを考える	食品の品質・ 安全性を確か める	子どもと一緒 に作る機会を 持つ	料理方法を学 ぶ
全 体		1,327 100.0	752 56.7	661 49.8	836 63.0	384 28.9	415 31.3	80 6.0
年 齢 別	19歳以下	8 100.0	5 62.5	5 62.5	3 37.5	4 50.0	3 37.5	1 12.5
	20～24歳	47 100.0	31 66.0	16 34.0	20 42.6	6 12.8	13 27.7	7 14.9
	25～29歳	186 100.0	118 63.4	91 48.9	115 61.8	44 23.7	53 28.5	18 9.7
	30～34歳	455 100.0	253 55.6	252 55.4	292 64.2	127 27.9	127 27.9	26 5.7
	35～39歳	409 100.0	222 54.3	186 45.5	260 63.6	135 33.0	149 36.4	21 5.1
	40～44歳	159 100.0	94 59.1	75 47.2	101 63.5	48 30.2	52 32.7	7 4.4
	45歳以上	20 100.0	11 55.0	12 60.0	16 80.0	8 40.0	5 25.0	0 0.0
上段:件数 下段:%		合計	行事食や旬の 食材を取り入 れる	うす味をこ ころがける	調理時間を短 縮するため惣 菜やインスタ ント食品を利用する	その他	特になし	不明・無回答
全 体		1,327 100.0	331 24.9	320 24.1	83 6.3	3 0.2	20 1.5	13 1.0
年 齢 別	19歳以下	8 100.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～24歳	47 100.0	8 17.0	14 29.8	3 6.4	0 0.0	4 8.5	1 2.1
	25～29歳	186 100.0	50 26.9	35 18.8	11 5.9	0 0.0	3 1.6	5 2.7
	30～34歳	455 100.0	115 25.3	96 21.1	34 7.5	0 0.0	6 1.3	4 0.9
	35～39歳	409 100.0	101 24.7	108 26.4	23 5.6	3 0.7	5 1.2	2 0.5
	40～44歳	159 100.0	41 25.8	52 32.7	7 4.4	0 0.0	2 1.3	1 0.6
	45歳以上	20 100.0	2 10.0	6 30.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※不明・無回答除く

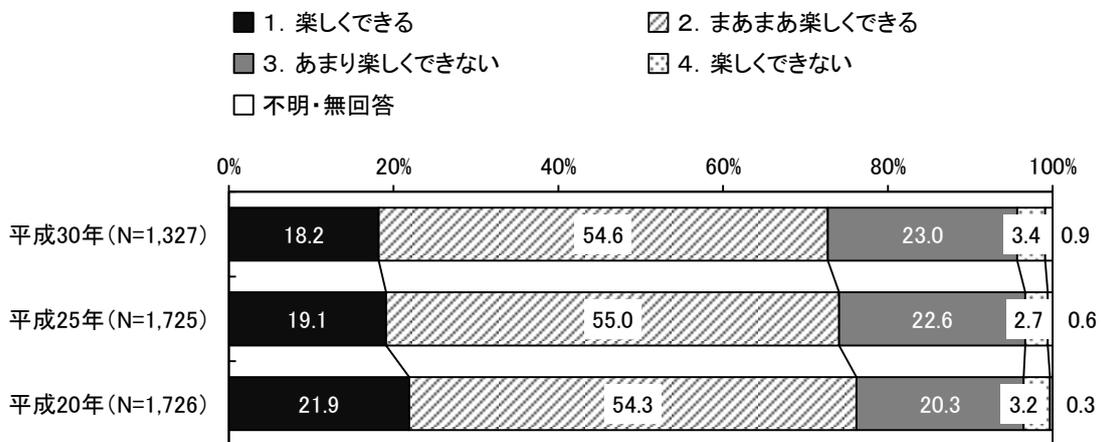
《問 31 家族の食事作りで工夫やこれからしようと思うこと × 問 32(1) 食事作りが楽しくできるか別》

すべての区分で家族の食事作りで工夫やこれからしようと思うこととして、「3. 栄養のバランスを考える」の割合が最も高くなっています。また、食事作りが楽しくできる度合いが下がるほど、「9. 調理時間を短縮するため惣菜やインスタント食品を利用する」の割合が高くなる傾向がみられます。食事作りが楽しくできる度合いが上がるほど、「1. できるだけ手作りにする」と「2. いろいろな食材を利用する」の割合が高くなる傾向が見られます。



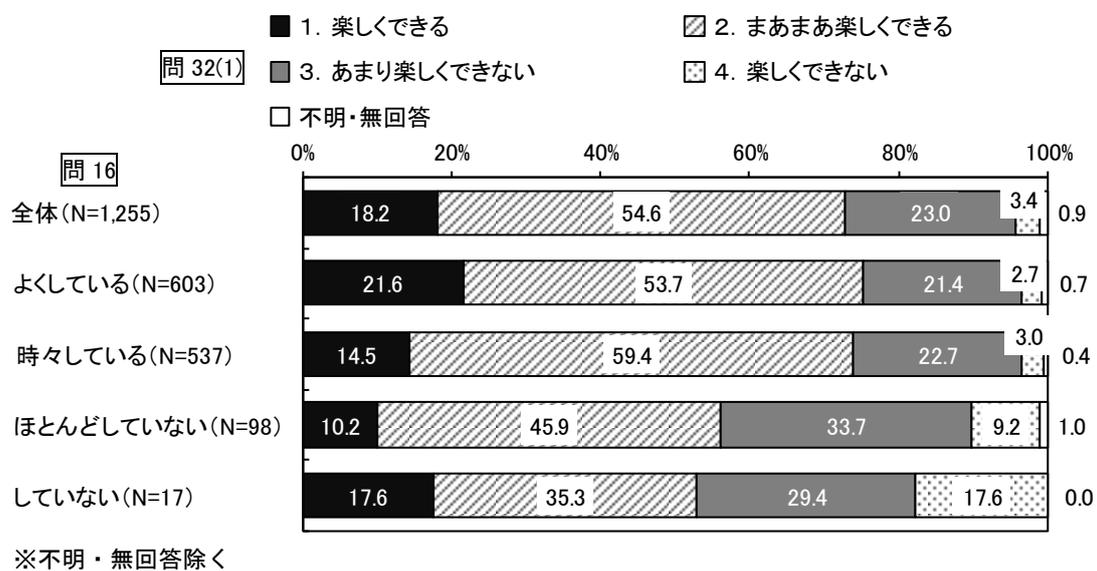
問 32(1) あなたは食事作りが楽しくできますか。(〇は1つ)

「2. まあまあ楽しくできる」が54.6%と最も高く、次いで「3. あまり楽しくできない」が23.0%、「1. 楽しくできる」が18.2%となっています。



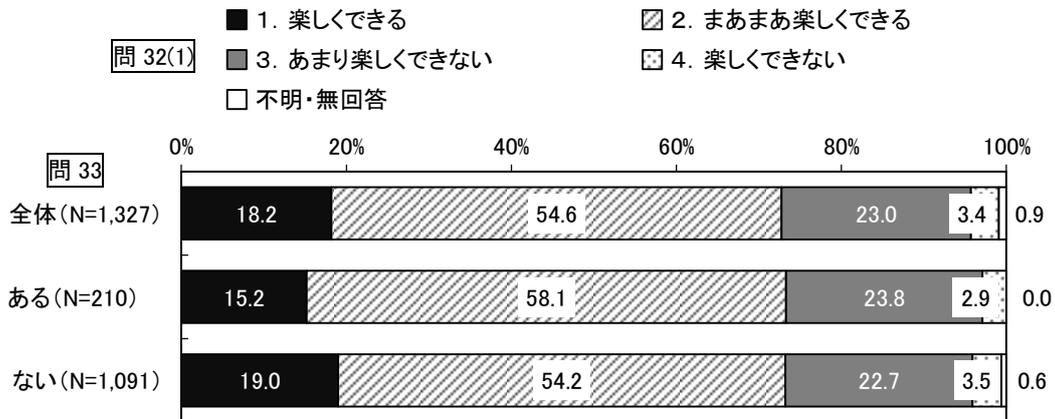
《問 32(1) 食事作りが楽しくできるか × 問 16 夫（パートナー）の育児状況別》

夫（パートナー）が育児をしているほど、食事作りが「楽しくできる（「1. 楽しくできる」と「2. まあまあ楽しくできる」の合計）」の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 32(1) 食事作りが楽しくできるか × 問 33 子どもの食物アレルギーの有無別》

すべての区分で食事作りが「2. まあまあ楽しくできる」の割合が最も高くなっています。



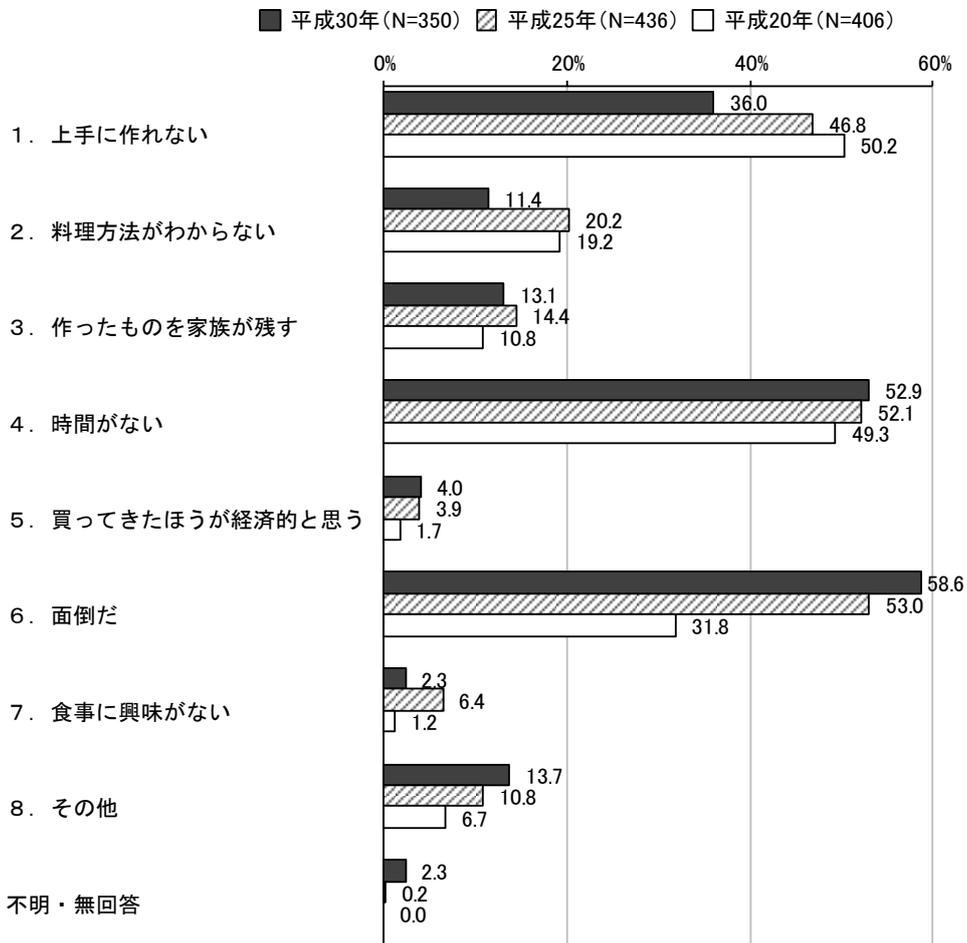
※不明・無回答除く

問 32(1)で「3」または「4」と答えた方

問 32(2) 楽しくできない理由についてお答えください。(〇は3つまで)

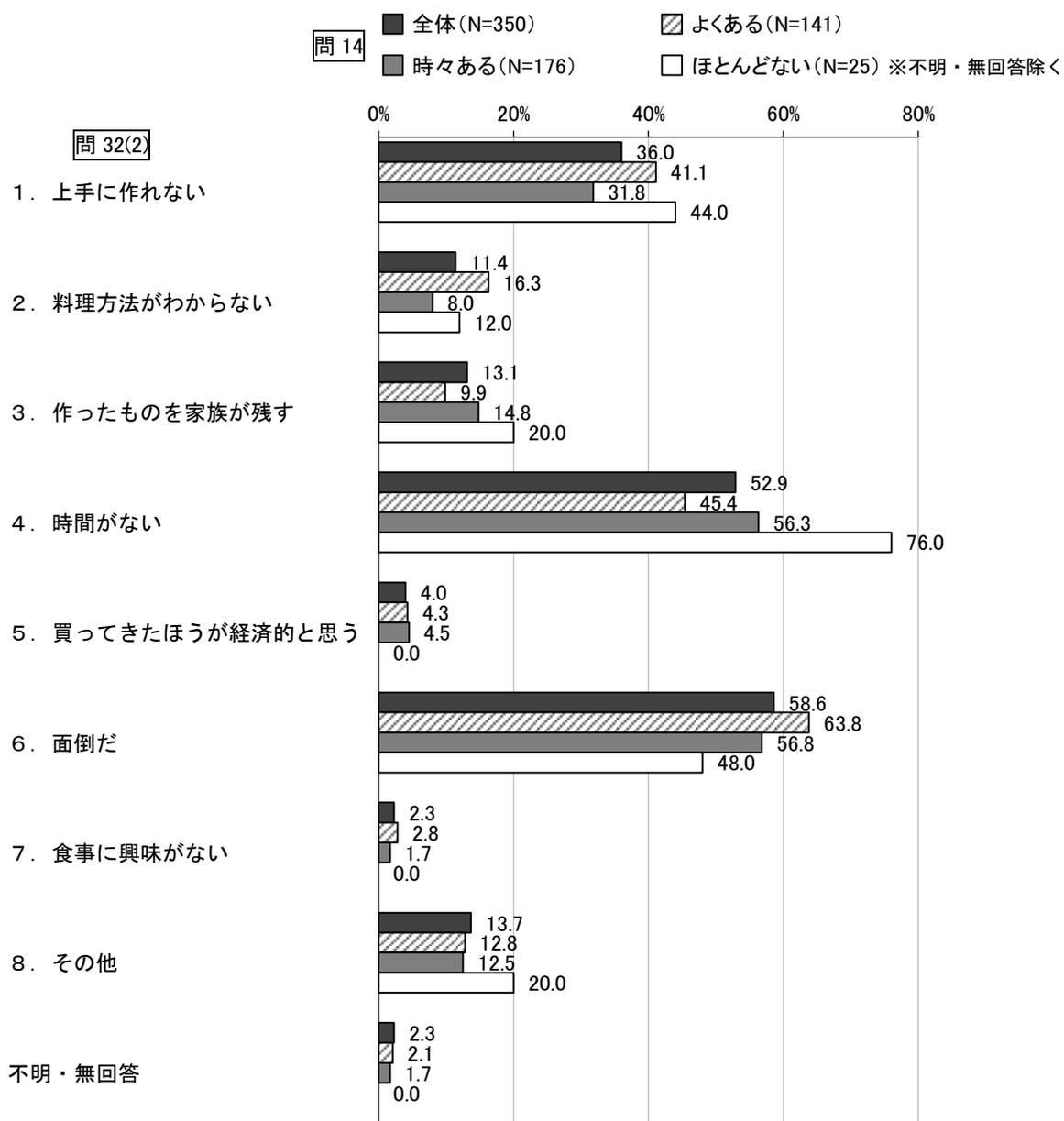
「6. 面倒だ」が 58.6%と最も高く、次いで「4. 時間がない」が 52.9%、「1. 上手に作れない」が 36.0%となっています。

過去調査と比較すると、「1. 上手に作れない」が平成 25 年より 10.8 ポイント、平成 20 年より 14.2 ポイント低く、「6. 面倒だ」が平成 20 年より 26.8 ポイント高くなっています。



《問 32(2) 楽しくできない理由× 問 14 ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間別》

ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間が「よくある」「時々ある」では、食事作りが楽しくできない理由として、「6. 面倒だ」の割合が最も高くなっています。ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間が「ほとんどない」では「4. 時間がない」の割合が最も高く、子どもと過ごせる時間が多くなるほど、割合が低くなる傾向がみられます。



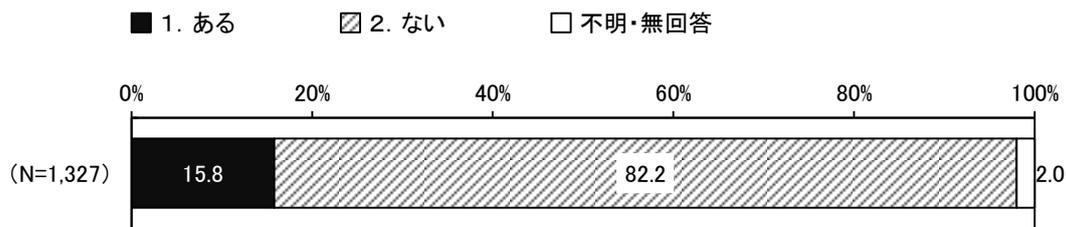
問 33 あなたのお子さまは食べ物に関するアレルギーがあると言われたことがありますか。

(○は1つ)

ある場合は、医師による診断の有無を選択してください。

「1. ある」が15.8%、「2. ない」が82.2%となっています。

アレルギーがある方の医師による診断では「1. 受けた」が71.9%、「2. 受けていない」が22.4%となっています。



◆医師による診断の有無

■ 1. 受けた ▨ 2. 受けていない □ 不明・無回答

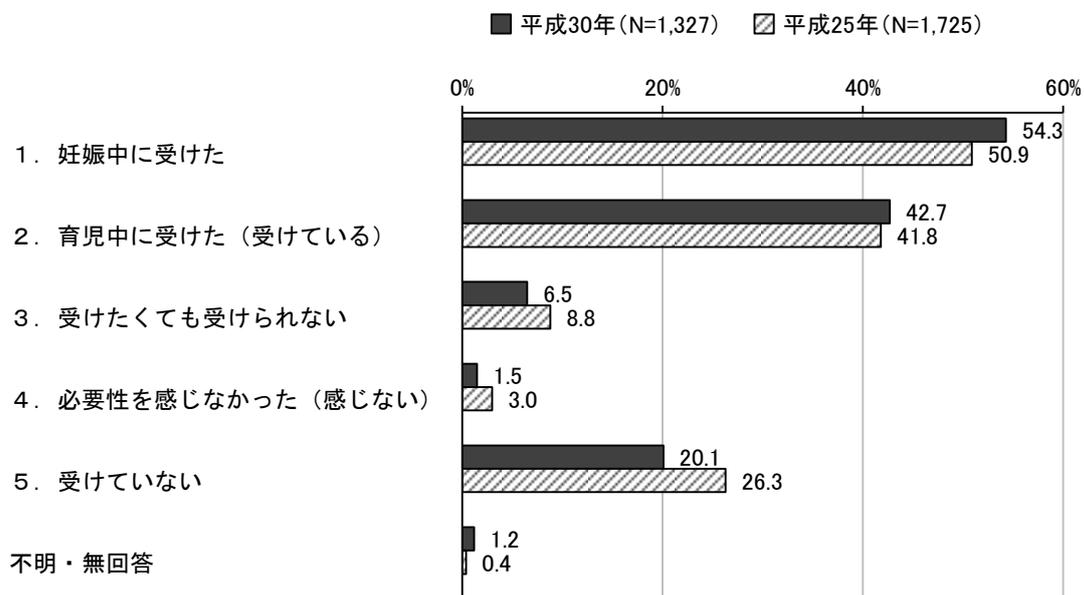


問 34 あなたは妊娠中から現在までに、歯科健診・歯科治療を受けたことがありますか。

(○はいくつでも)

「1. 妊娠中に受けた」が54.3%と最も高く、次いで「2. 育児中に受けた (受けている)」が42.7%、「5. 受けていない」が20.1%となっています。

平成25年と比較すると、「5. 受けていない」が6.2ポイント低くなっています。



《問 34 妊娠中から現在までの歯科健診・歯科治療受診状況 × 問 1 年齢別》

「20～24 歳」では妊娠中から現在までに歯科健診・歯科治療を「受けていない」、25 歳以上では「妊娠中に受けた」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	妊娠中に受けた	育児中に受けた(受けている)	受けたくても受けられない	必要性を感じなかった(感じない)	受けていない	不明・無回答	
全 体	1,327 100.0	721 54.3	567 42.7	86 6.5	20 1.5	267 20.1	16 1.2	
年 齢 別	19歳以下	8 100.0	4 50.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5	0 0.0
	20～24歳	47 100.0	16 34.0	10 21.3	2 4.3	2 4.3	22 46.8	0 0.0
	25～29歳	186 100.0	84 45.2	67 36.0	14 7.5	4 2.2	52 28.0	5 2.7
	30～34歳	455 100.0	249 54.7	191 42.0	36 7.9	3 0.7	89 19.6	4 0.9
	35～39歳	409 100.0	233 57.0	183 44.7	24 5.9	7 1.7	73 17.8	4 1.0
	40～44歳	159 100.0	99 62.3	83 52.2	6 3.8	3 1.9	20 12.6	3 1.9
	45歳以上	20 100.0	13 65.0	11 55.0	2 10.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0

※不明・無回答除く

《問 34 妊娠中から現在までの歯科健診・歯科治療受診状況 × 問 35 歯と口で気になること別》

すべての区分で歯科健診・歯科治療を「妊娠中に受けた」の割合が最も高く、歯と口で気になることが「歯ぎしり」では、「育児中に受けた（受けている）」も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	妊娠中に受けた	育児中に受けた(受けている)	受けたくても受けられない	必要性を感じなかった(感じない)	受けていない	不明・無回答	
全体	1,327 100.0	721 54.3	567 42.7	86 6.5	20 1.5	267 20.1	16 1.2	
歯と口で気になること別	むし歯	627 100.0	357 56.9	277 44.2	51 8.1	3 0.5	116 18.5	1 0.2
	歯周病	389 100.0	219 56.3	189 48.6	29 7.5	1 0.3	59 15.2	1 0.3
	歯並び・かみ合わせ	291 100.0	165 56.7	136 46.7	15 5.2	5 1.7	48 16.5	3 1.0
	舌や口の中の粘膜	30 100.0	15 50.0	9 30.0	3 10.0	1 3.3	9 30.0	0 0.0
	歯が抜けたまま	28 100.0	15 53.6	14 50.0	4 14.3	0 0.0	3 10.7	0 0.0
	口臭	250 100.0	135 54.0	118 47.2	20 8.0	2 0.8	49 19.6	2 0.8
	歯や歯ぐきの色	195 100.0	101 51.8	82 42.1	12 6.2	2 1.0	46 23.6	1 0.5
	歯ぎしり	138 100.0	75 54.3	75 54.3	7 5.1	3 2.2	15 10.9	0 0.0
	顎関節(耳の前の関節の音や痛み)	133 100.0	69 51.9	58 43.6	10 7.5	4 3.0	28 21.1	0 0.0
	歯の手入れ	303 100.0	187 61.7	148 48.8	21 6.9	4 1.3	46 15.2	1 0.3
	妊娠中や授乳中の歯科治療	72 100.0	33 45.8	26 36.1	12 16.7	0 0.0	18 25.0	1 1.4
	その他	45 100.0	24 53.3	18 40.0	4 8.9	0 0.0	6 13.3	1 2.2
	特になし	140 100.0	63 45.0	43 30.7	4 2.9	3 2.1	49 35.0	2 1.4

※不明・無回答除く

《問 34 妊娠中から現在までの歯科健診・歯科治療受診状況 × 問 4(2) 就労形態別》

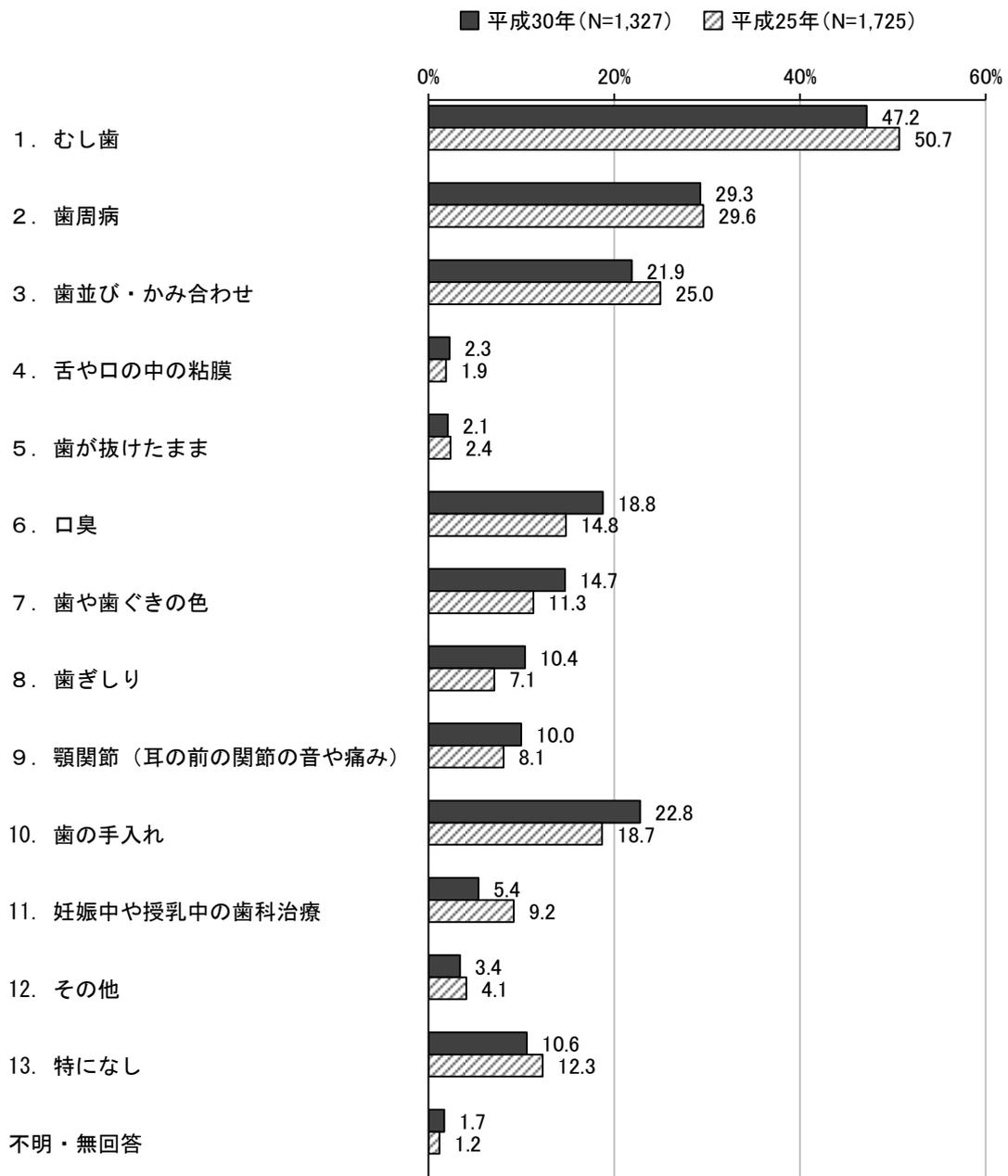
回答者の就労形態が「自営業主」では、歯科健診・歯科治療を「育児中に受けた（受けている）」、「その他」では「受けていない」、それ以外の区分では「妊娠中に受けた」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	妊娠中に受けた	育児中に受けた(受けている)	受けたくても受けられない	必要性を感じなかった(感じない)	受けていない	不明・無回答	
全体	726 100.0	396 54.5	327 45.0	51 7.0	15 2.1	128 17.6	8 1.1	
就労形態別	正社員・正職員	417 100.0	224 53.7	183 43.9	23 5.5	10 2.4	74 17.7	6 1.4
	契約・パート・アルバイト	244 100.0	135 55.3	116 47.5	25 10.2	5 2.0	40 16.4	0 0.0
	派遣社員	15 100.0	10 66.7	8 53.3	0 0.0	0 0.0	3 20.0	0 0.0
	自営業主	19 100.0	8 42.1	10 52.6	0 0.0	0 0.0	3 15.8	1 5.3
	家族従業者	14 100.0	10 71.4	3 21.4	3 21.4	0 0.0	3 21.4	0 0.0
	内職・在宅就業	8 100.0	6 75.0	5 62.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
	その他	6 100.0	2 33.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0	3 50.0	0 0.0

※不明・無回答除く

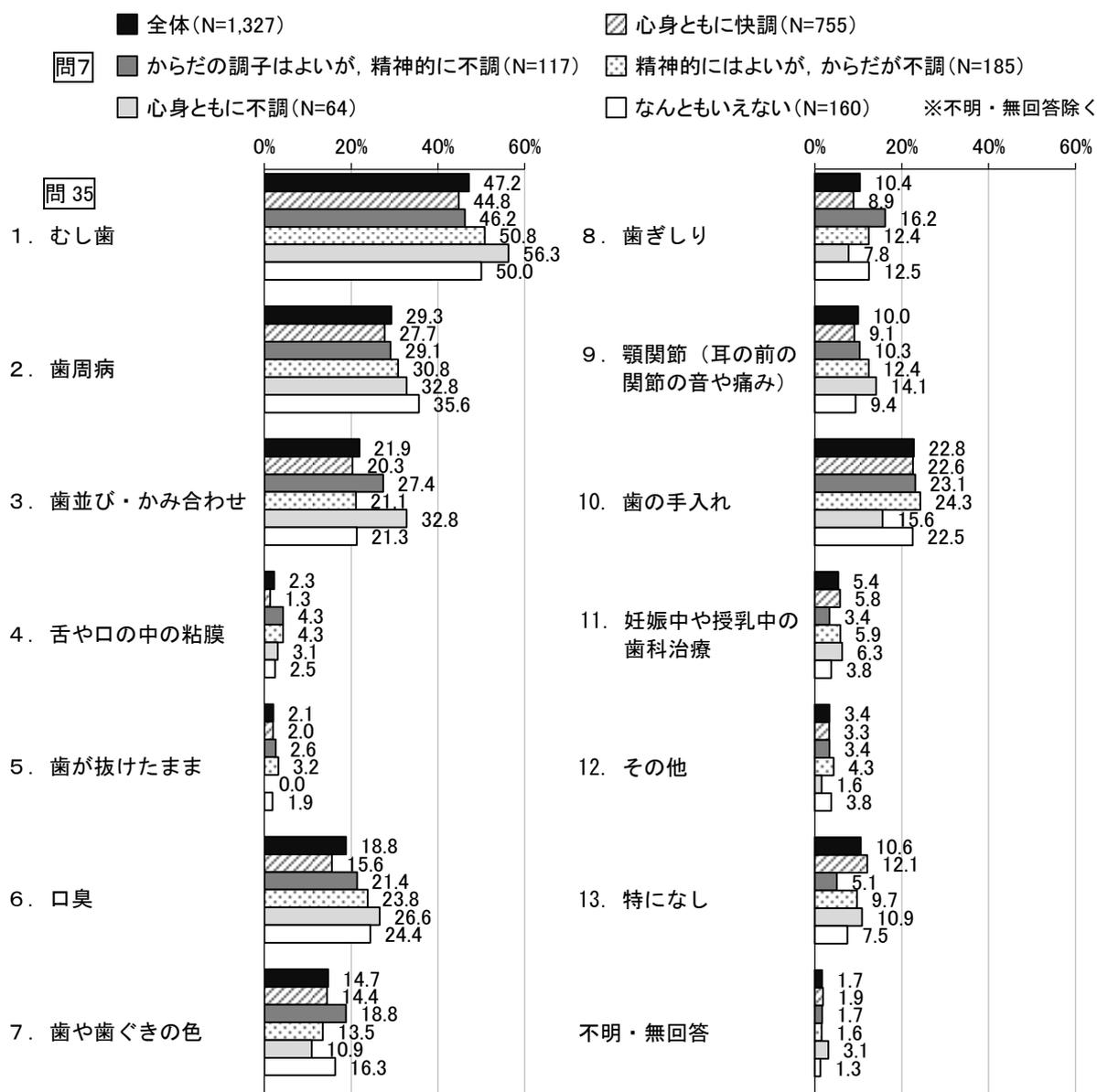
問 35 あなたの歯と口で気になることはありますか。(〇は3つまで)

「1. むし歯」が47.2%と最も高く、次いで「2. 歯周病」が29.3%、「10. 歯の手入れ」が22.8%となっています。



《問 35 回答者の歯と口で気になること × 問 7 現在の心身の調子別》

すべての区分で、回答者の歯と口で気になることとして「1. むし歯」の割合が最も高くなっています。また、「心身ともに不調」では「1. むし歯」「3. 歯並び・かみ合わせ」「6. 口臭」「9. 顎関節（耳の前の関節の音や痛み）」「11. 妊娠中や授乳中の歯科治療」の割合が、他の区分に比べ最も高くなっています。



《問 35 回答者の歯と口で気になること × 問 1 年齢別》

「19歳以下」では回答者の歯と口で気になることは「特になし」,「45歳以上」では「歯周病」,それ以外の区分では「むし歯」の割合が最も高くなっています。

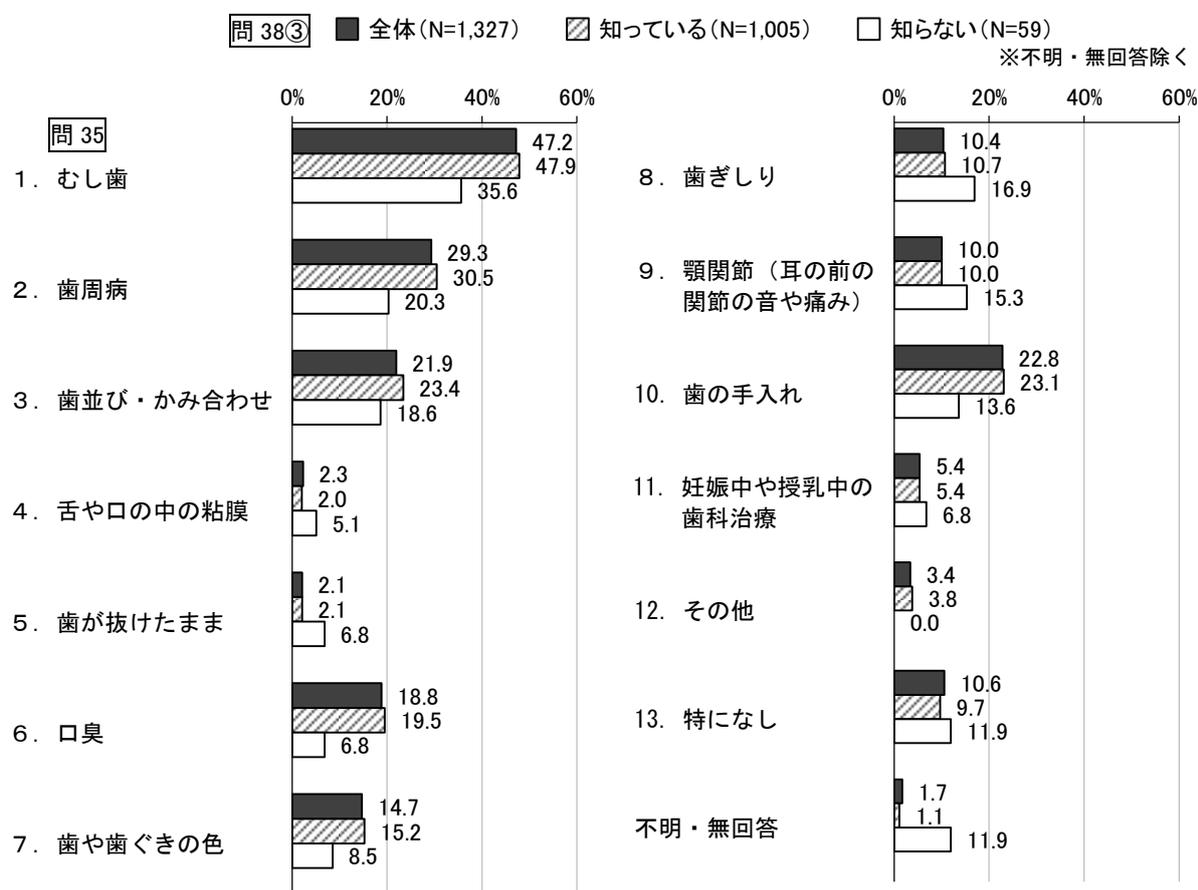
上段:件数 下段:%	合計	むし歯	歯周病	歯並び・かみ 合わせ	舌や口の中の 粘膜	歯が抜けたま ま	口臭	歯や歯ぐきの 色	
全 体	1,327 100.0	627 47.2	389 29.3	291 21.9	30 2.3	28 2.1	250 18.8	195 14.7	
年 齢 別	19歳以下	8 100.0	2 25.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0
	20～24歳	47 100.0	19 40.4	9 19.1	12 25.5	2 4.3	2 4.3	10 21.3	5 10.6
	25～29歳	186 100.0	80 43.0	46 24.7	50 26.9	5 2.7	4 2.2	38 20.4	24 12.9
	30～34歳	455 100.0	221 48.6	137 30.1	97 21.3	10 2.2	7 1.5	82 18.0	76 16.7
	35～39歳	409 100.0	199 48.7	117 28.6	80 19.6	6 1.5	8 2.0	79 19.3	58 14.2
	40～44歳	159 100.0	75 47.2	62 39.0	35 22.0	6 3.8	5 3.1	32 20.1	25 15.7
	45歳以上	20 100.0	6 30.0	7 35.0	6 30.0	0 0.0	1 5.0	2 10.0	1 5.0

上段:件数 下段:%	合計	歯ぎしり	顎関節（耳の 前の関節の音 や痛み）	歯の手入れ	妊娠中や授乳 中の歯科治療	その他	特になし	不明・無回答	
全 体	1,327 100.0	138 10.4	133 10.0	303 22.8	72 5.4	45 3.4	140 10.6	23 1.7	
年 齢 別	19歳以下	8 100.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	4 50.0	0 0.0	
	20～24歳	47 100.0	5 10.6	6 12.8	8 17.0	6 12.8	1 2.1	6 12.8	3 6.4
	25～29歳	186 100.0	14 7.5	14 7.5	41 22.0	15 8.1	12 6.5	22 11.8	4 2.2
	30～34歳	455 100.0	49 10.8	48 10.5	93 20.4	18 4.0	18 4.0	54 11.9	5 1.1
	35～39歳	409 100.0	40 9.8	40 9.8	104 25.4	20 4.9	13 3.2	38 9.3	6 1.5
	40～44歳	159 100.0	22 13.8	15 9.4	40 25.2	10 6.3	0 0.0	8 5.0	4 2.5
	45歳以上	20 100.0	4 20.0	4 20.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0	1 5.0

※不明・無回答除く

《問 35 回答者の歯と口で気になること × 問 38 ③成人・妊婦歯科相談の認知度別》

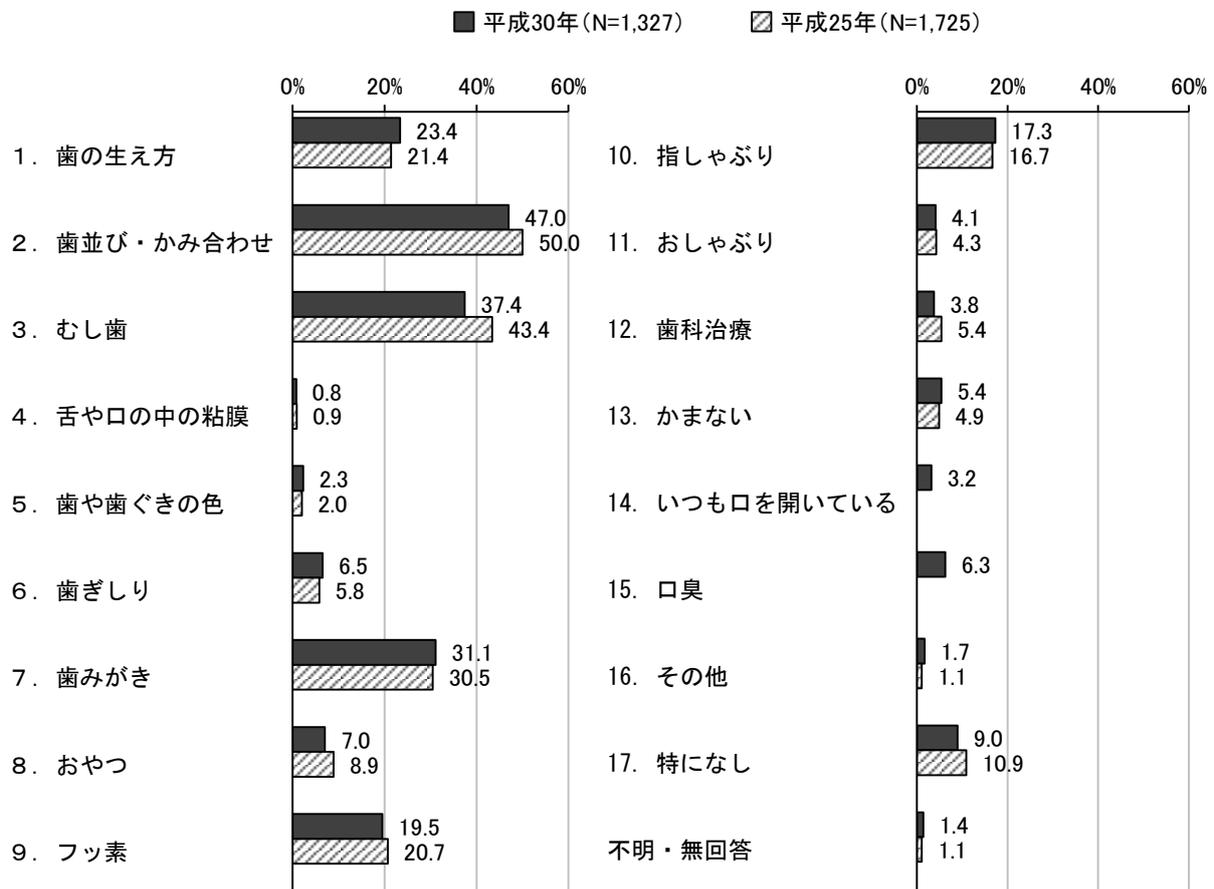
すべての区分で、回答者の歯と口で気になることとして、「1. むし歯」の割合が最も高くなっています。また、(成人・妊婦歯科相談を)「知っている」では、「1. むし歯」「2. 歯周病」「6. 口臭」「10. 歯の手入れ」の割合が、(成人・妊婦歯科相談を)「知らない」よりも9.0ポイント以上高くなっています。



問 36 お子さまの歯と口で知りたいことや心配なことはありますか。(〇は3つまで)

「2. 歯並び・かみ合わせ」が47.0%と最も高く、次いで「3. むし歯」が37.4%、「7. 歯みがき」が31.1%となっています。

平成25年と比較すると、「3. むし歯」が6.0ポイント低くなっています。



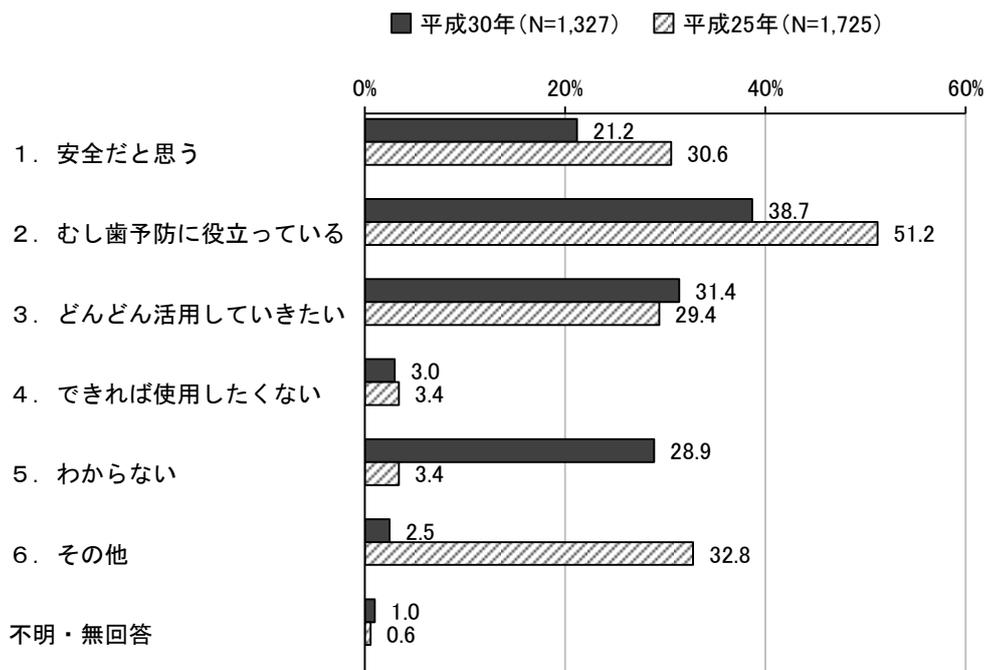
※「14. いつも口を開いている」「15. 口臭」は平成30年のみの選択肢

問 37 乳幼児むし歯予防対策（フッ化物歯面塗布）についてどう思いますか。（〇はいくつでも）

※フッ素は，学校等でのフッ素洗口（うがい），歯科医院等でのフッ素塗布，家庭でのフッ素添加歯みがき剤の使用等の方法で，むし歯予防のために用いられています。

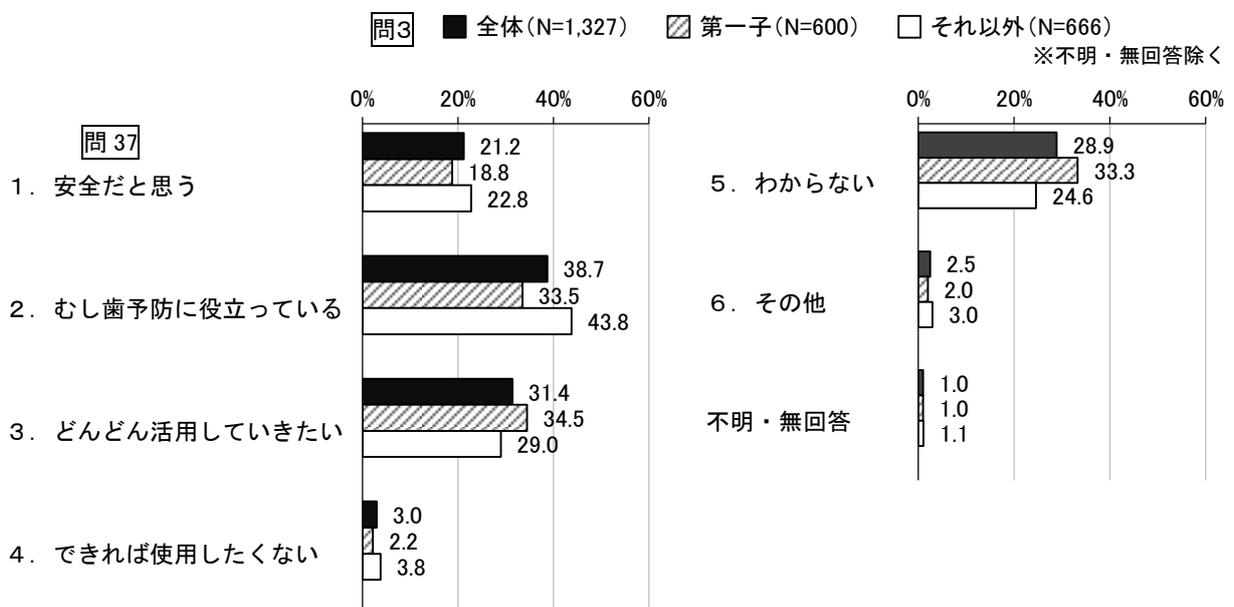
「2. むし歯予防に役立っている」が38.7%と最も高く，次いで「3. どんどん活用していきたい」が31.4%，「5. わからない」が28.9%となっています。

平成25年と比較すると，「5. わからない」が25.5ポイント高く，「2. むし歯予防に役立っている」が12.5ポイント，「1. 安全だと思う」が9.4ポイント低くなっています。



《問 37 乳幼児むし歯予防対策（フッ化物歯面塗布）について × 問 3 健診を受けた子ども別》

健診を受けた子どもの出生順が「第一子」では，乳幼児むし歯予防対策（フッ化物歯面塗布）を「3. どんどん活用していきたい」，「それ以外」では「2. むし歯予防に役立っている」の割合が最も高くなっています。



7 母子保健に関連するサービス等の利用状況について

問 38 京都市の各サービスについて、「Ⅰ 知らない」「Ⅱ 利用したことがある」「Ⅲ 知っているが利用したことがない」についてお答えください。

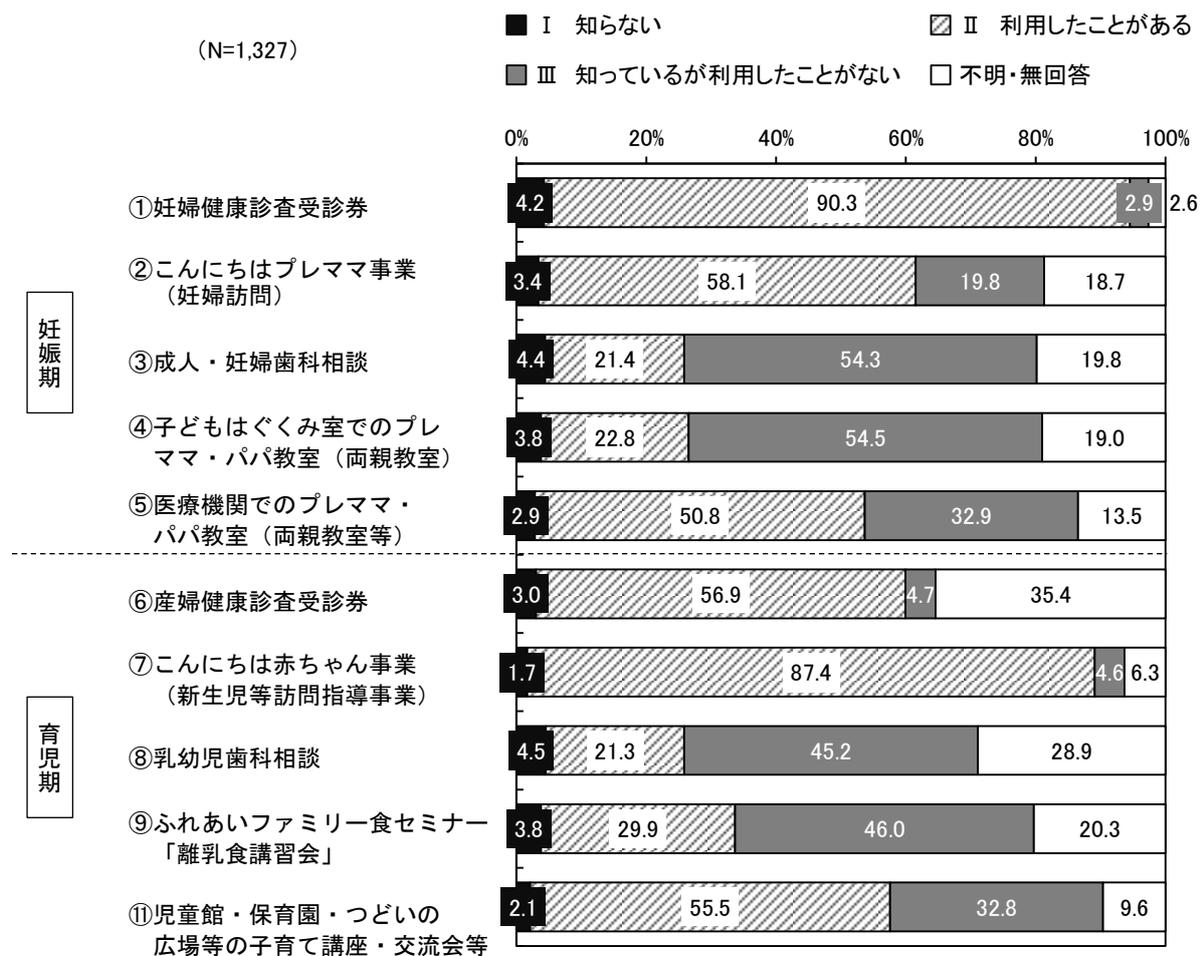
「Ⅰ 知らない」場合は、1に○をつけてください。

「Ⅱ 利用したことがある」場合は、その満足度を2～4から1つ選択して○をつけてください。

「Ⅲ 知っているが利用したことがない」場合は、その理由を5～9から当てはまる番号をすべて選択して○をつけてください。

◆認知及び利用状況（〔⑩乳幼児健康診査〕を除く）

認知及び利用状況について、〔①妊婦健康診査受診券〕〔②こんにちはプレママ事業（妊婦訪問）〕〔⑤医療機関でのプレママ・パパ教室（両親教室等）〕〔⑥産婦健康診査受診券〕〔⑦こんにちは赤ちゃん事業（新生児等訪問指導事業）〕〔⑩児童館・保育園・つどいの広場等の子育て講座・交流会等〕では「Ⅱ 利用したことがある」が最も高く、それ以外のサービスでは「Ⅲ 知っているが利用したことがない」が最も高くなっています。

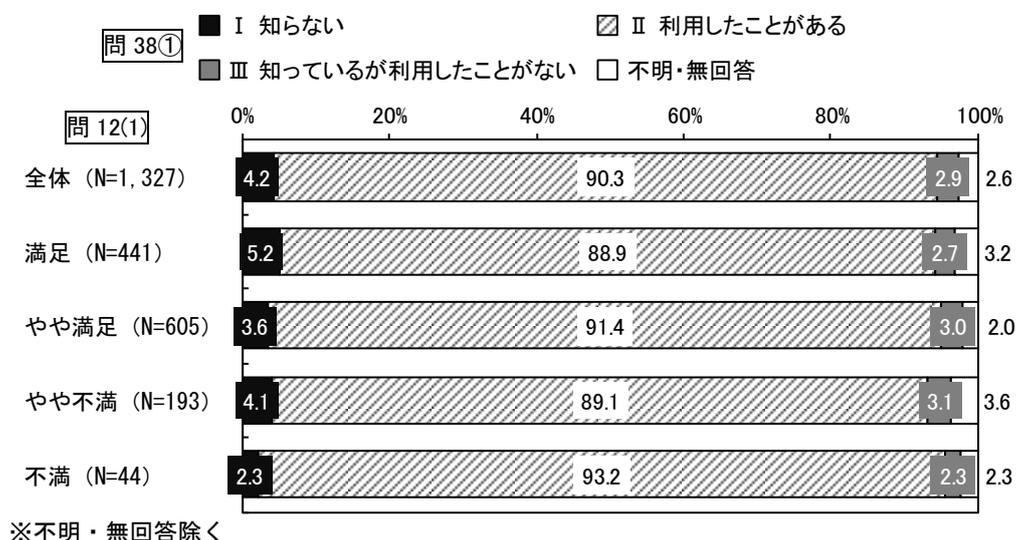


※〔⑥産婦健康診査受診券〕は平成29年4月1日以降に出産された方が対象

《問 38 認知及び利用状況 [①妊婦健康診査受診券] ×

問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

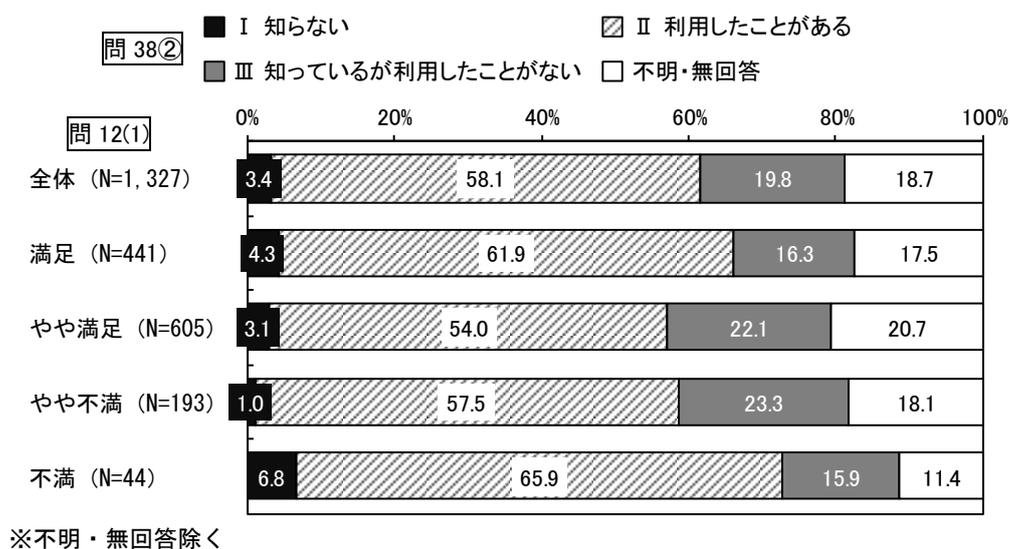
①妊婦健康診査受診券の認知及び利用状況について、家族や公的なサポートへの満足度のすべての区分で「II 利用したことがある」の割合が最も高くなっています。



《問 38 認知及び利用状況 [②こんにちはプレママ事業 (妊婦訪問)] ×

問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

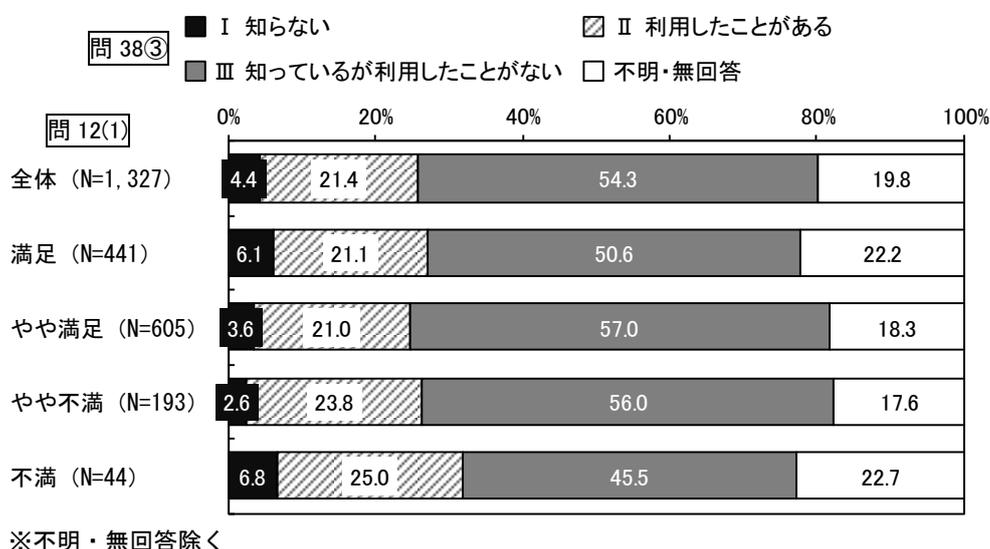
②こんにちはプレママ事業 (妊婦訪問) の認知及び利用状況について、家族や公的なサポートへの満足度のすべての区分で「II 利用したことがある」の割合が最も高くなっています。



《問 38 認知及び利用状況 [③成人・妊婦歯科相談] ×

問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

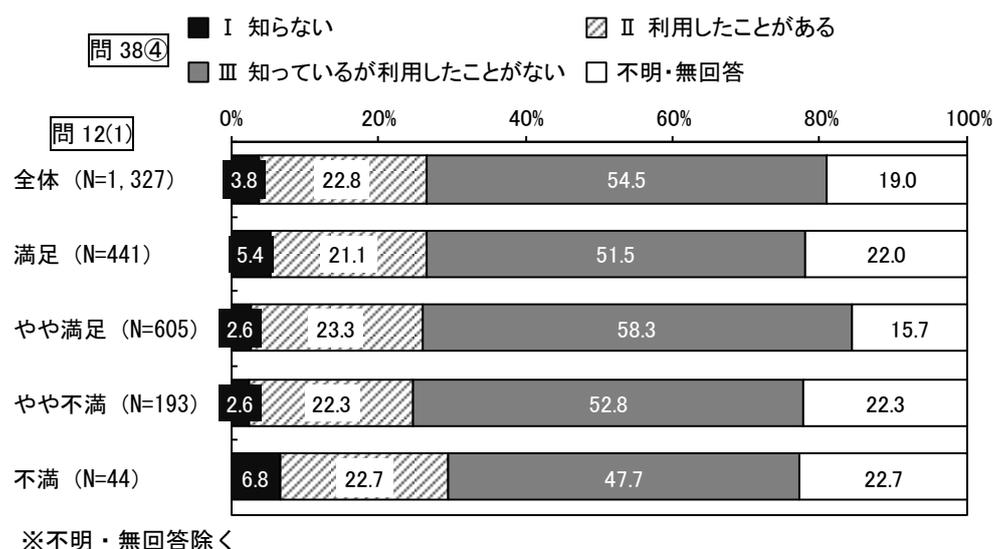
③成人・妊婦歯科相談の認知及び利用状況について、家族や公的なサポートへの満足度のすべての区分で「Ⅲ 知っているが利用したことがない」の割合が最も高くなっています。



《問 38 認知及び利用状況 [④子どもはぐくみ室でのプレママ・パパ教室（両親教室）] ×

問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

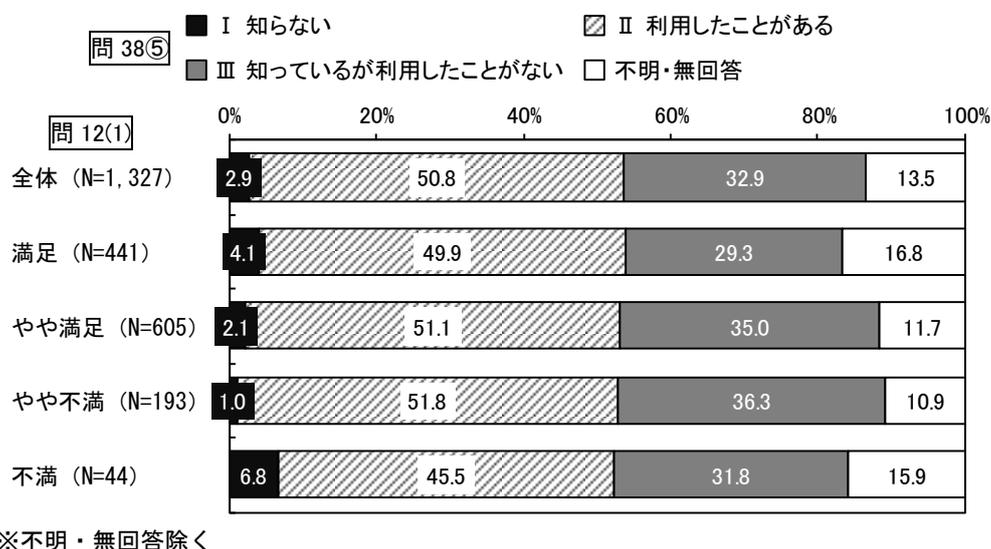
④子どもはぐくみ室でのプレママ・パパ教室（両親教室）の認知及び利用状況について、家族や公的なサポートへの満足度のすべての区分で「Ⅲ 知っているが利用したことがない」の割合が最も高くなっています。



《問 38 認知及び利用状況 [⑤医療機関でのプレママ・パパ教室（両親教室等）] ×

問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

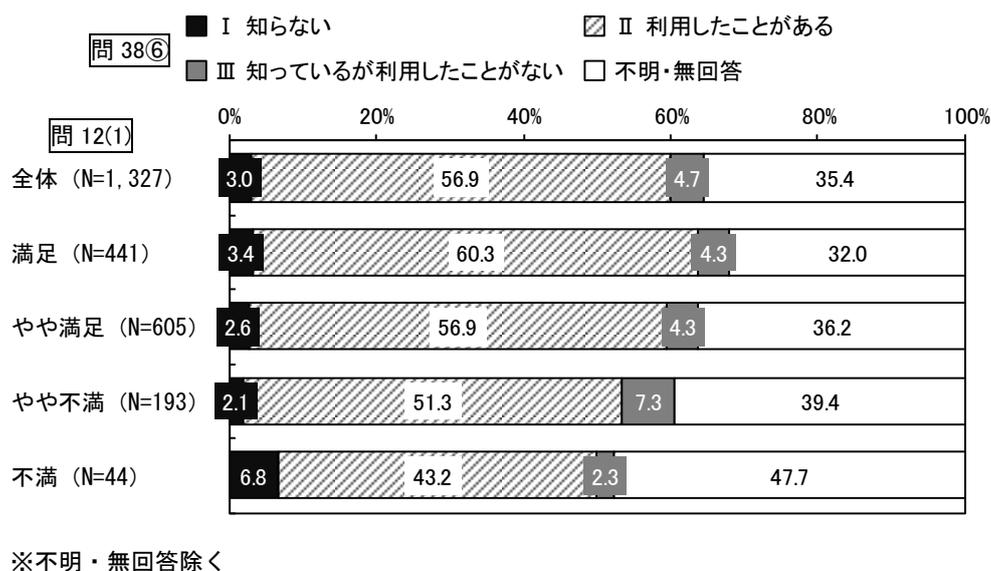
⑤医療機関でのプレママ・パパ教室（両親教室等）の認知及び利用状況について、家族や公的なサポートへの満足度のすべての区分で「II 利用したことがある」の割合が最も高くなっています。



《問 38 認知及び利用状況 [⑥産婦健康診査受診券] ×

問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

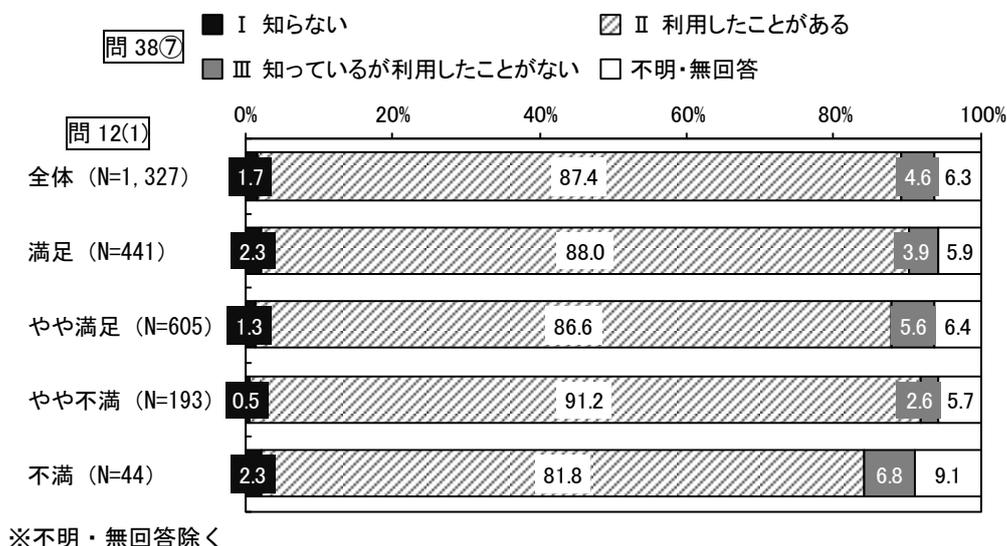
⑥産婦健康診査受診券の認知及び利用状況について、家族や公的なサポートへの満足度のすべての区分で「II 利用したことがある」の割合が最も高くなっています。



《問 38 認知及び利用状況 [⑦こんにちは赤ちゃん事業（新生児等訪問指導事業）] ×

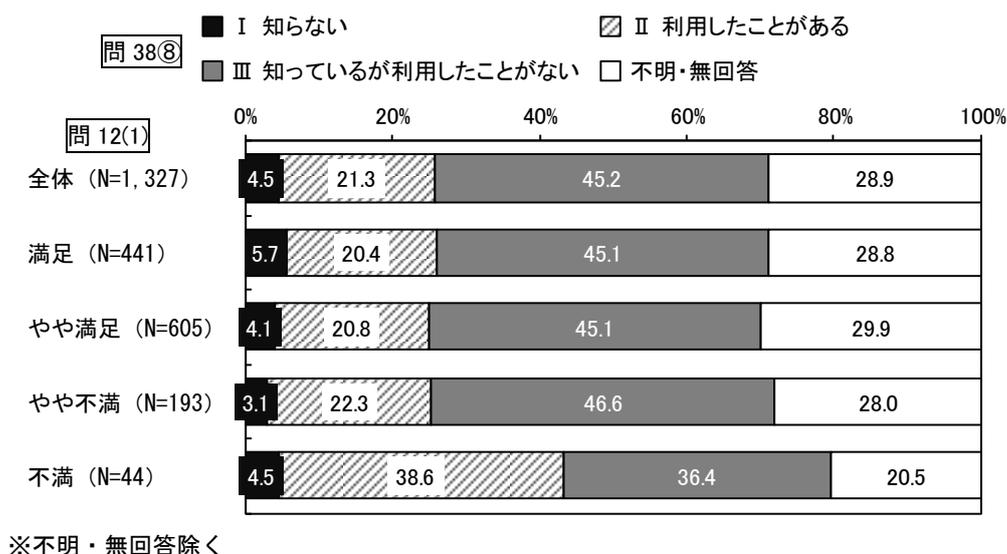
問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

⑦こんにちは赤ちゃん事業（新生児等訪問指導事業）の認知及び利用状況について、家族や公的なサポートへの満足度のすべての区分で「II 利用したことがある」の割合が最も高くなっています。



《問 38 認知及び利用状況 [⑧乳幼児歯科相談] × 問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

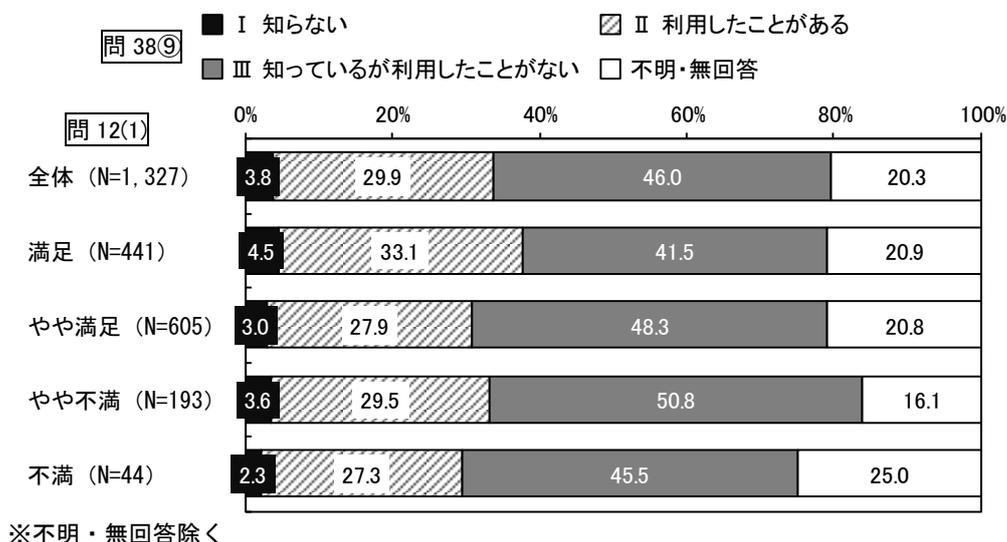
⑧乳幼児歯科相談の認知及び利用状況について、家族や公的なサポートへの満足度が「不満」では「II 利用したことがある」、それ以外では「III 知っているが利用したことがない」の割合が最も高くなっています。



《問 38 認知及び利用状況 [⑨ふれあいファミリー食セミナー「離乳食講習会」] ×

問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

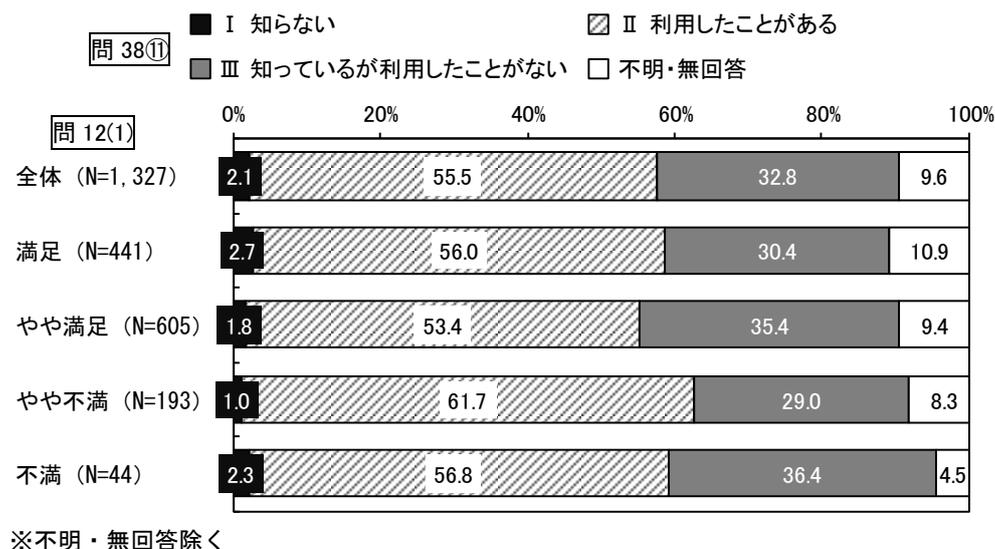
⑨ふれあいファミリー食セミナー「離乳食講習会」の認知及び利用状況について、家族や公的なサポートへの満足度のすべての区分で「Ⅲ 知っているが利用したことがない」の割合が最も高くなっています。



《問 38 認知及び利用状況 [⑩児童館・保育園・つどいの広場等の子育て講座・交流会等] ×

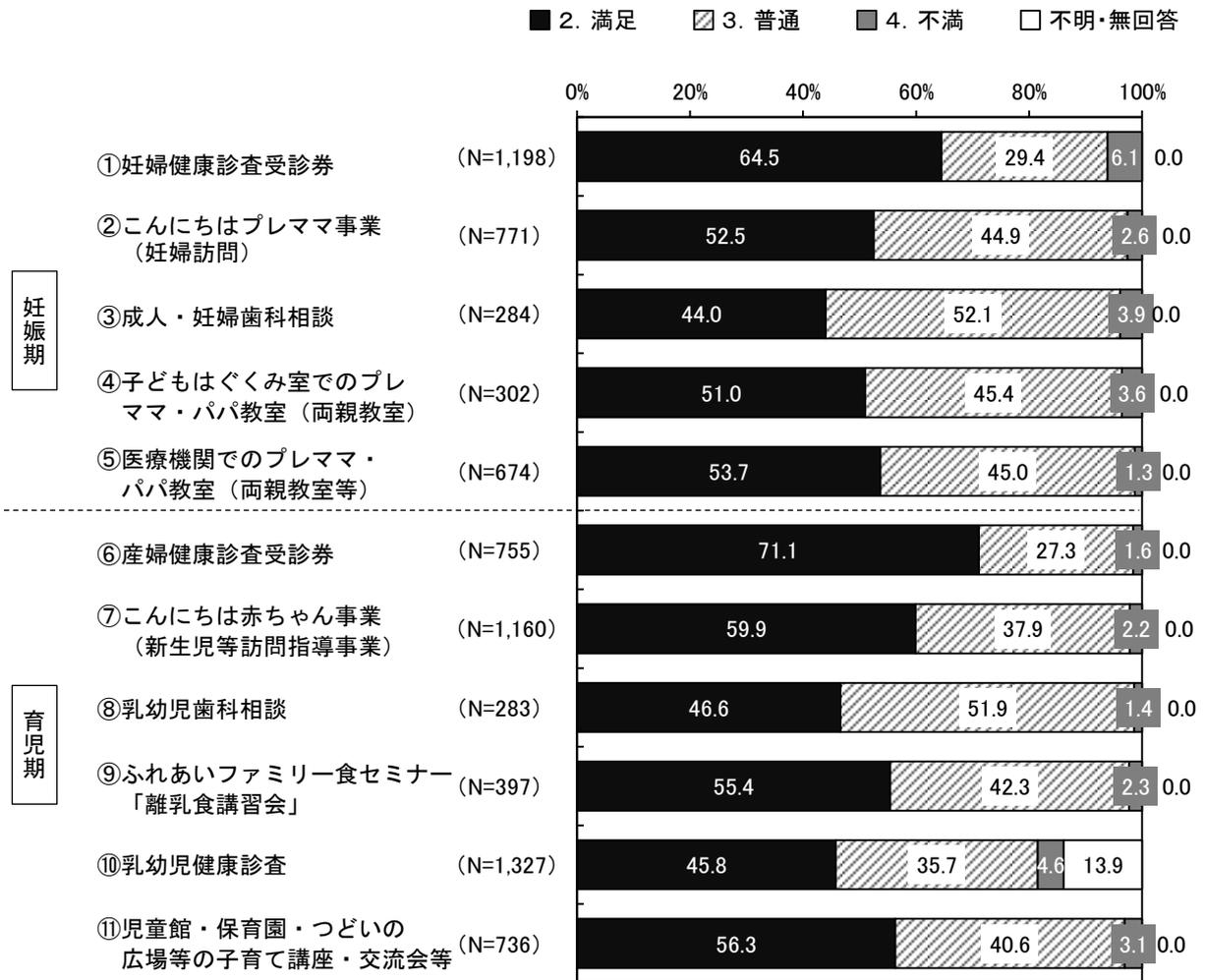
問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

⑩児童館・保育園・つどいの広場等の子育て講座・交流会等の認知及び利用状況について、家族や公的なサポートへの満足度のすべての区分で「II 利用したことがある」の割合が最も高くなっています。



◆利用したことがある方の満足度

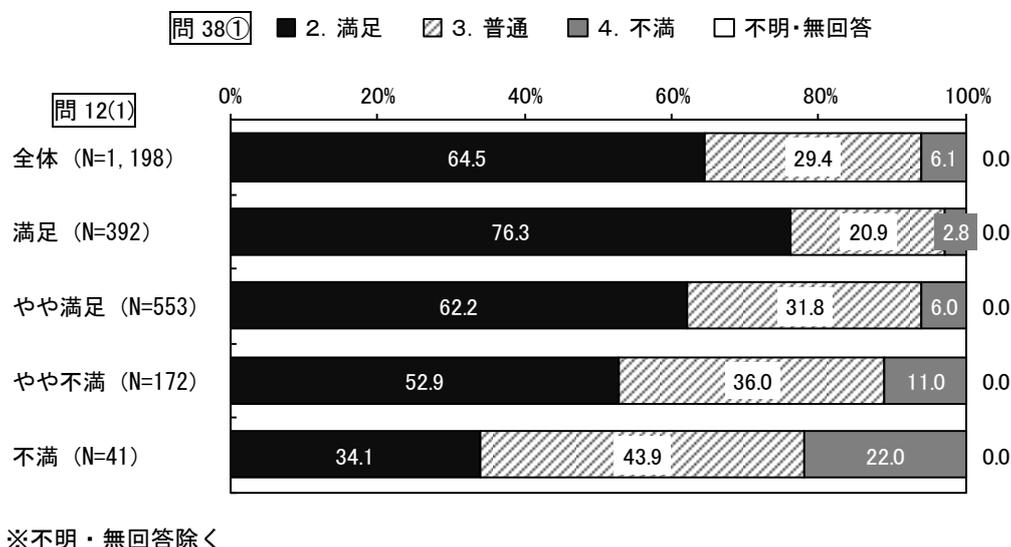
満足度について、[③成人・妊婦歯科相談][⑧乳幼児歯科相談]では「3. 普通」が最も高くなっています。それ以外の項目では「2. 満足」が最も高く、特に[⑥産婦健康診査受診券]が71.1%、次いで[①妊婦健康診査受診券]が64.5%となっています。



※ [⑥産婦健康診査受診券] は平成 29 年 4 月 1 日以降に出産された方が対象

《問 38 満足度 [①妊婦健康診査受診券] × 問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

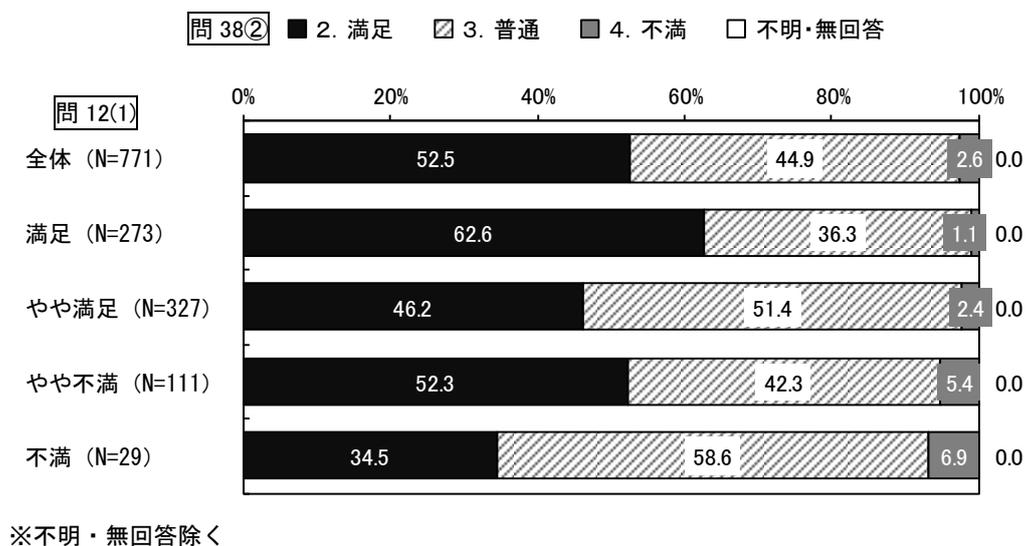
①妊婦健康診査受診券の満足度について、家族や公的なサポートへの満足度が高いほど、「2. 満足」の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 38 満足度 [②こんにちはプレママ事業 (妊婦訪問)] ×

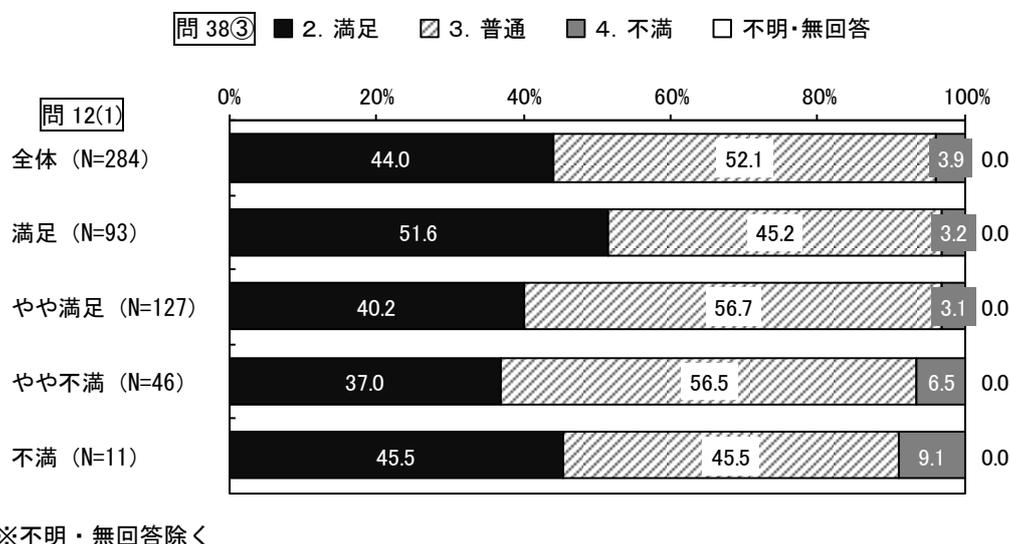
問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

②こんにちはプレママ事業 (妊婦訪問) の満足度について、家族や公的なサポートへの満足度が「満足」「やや不満」では「2. 満足」, 「やや満足」「不満」では「3. 普通」の割合が最も高くなっています。



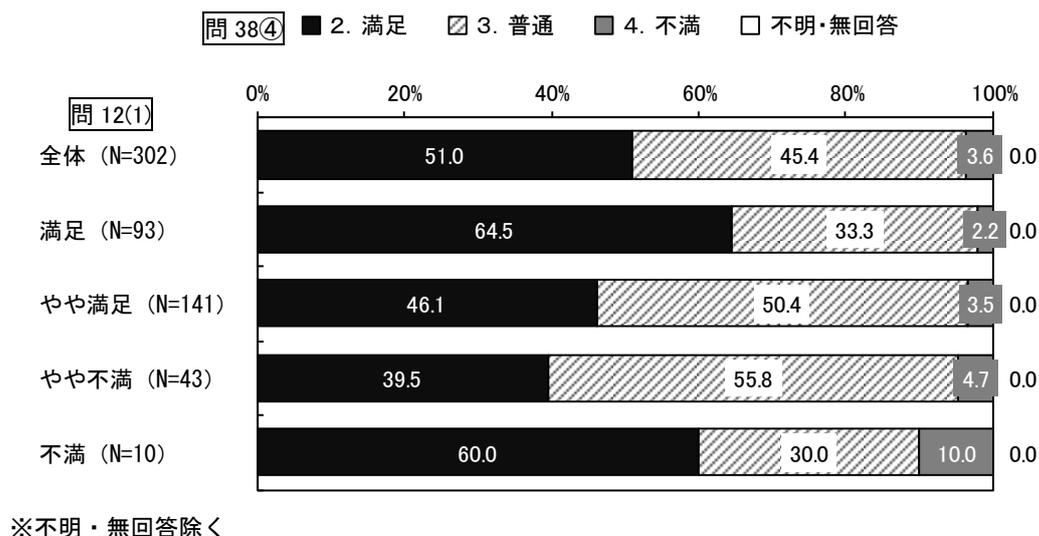
《問 38 満足度 [③成人・妊婦歯科相談] × 問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

③成人・妊婦歯科相談の満足度について、家族や公的なサポートへの満足度が「満足」では「2. 満足」、「やや満足」「やや不満」では「3. 普通」、「不満」では「2. 満足」「3. 普通」の割合が同率で最も高くなっています。



《問 38 満足度 [④子どもはぐくみ室でのプレママ・パパ教室 (両親教室)] × 問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

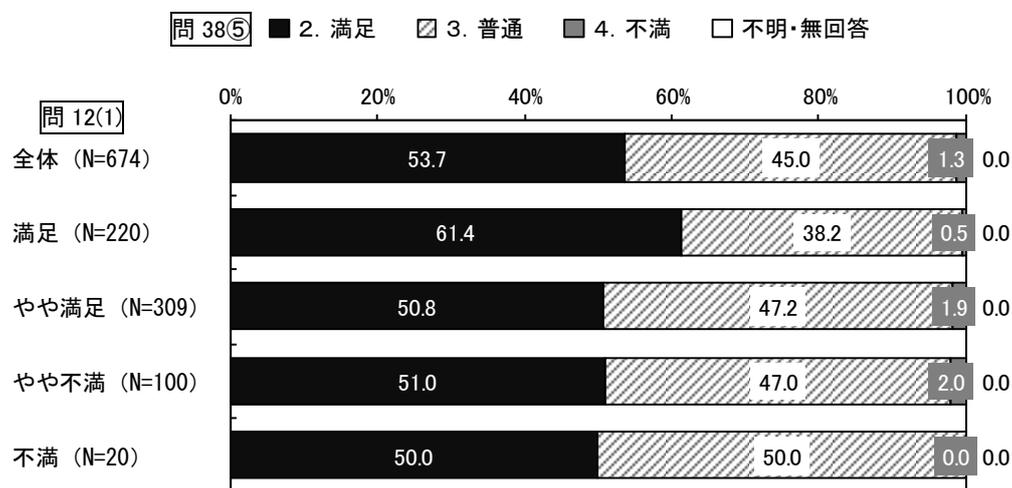
④子どもはぐくみ室でのプレママ・パパ教室 (両親教室) の満足度について、家族や公的なサポートへの満足度が「満足」「不満」では「2. 満足」、「やや満足」「やや不満」では「3. 普通」の割合が最も高くなっています。



《問 38 満足度 [⑤医療機関でのプレママ・パパ教室 (両親教室等)] ×

問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

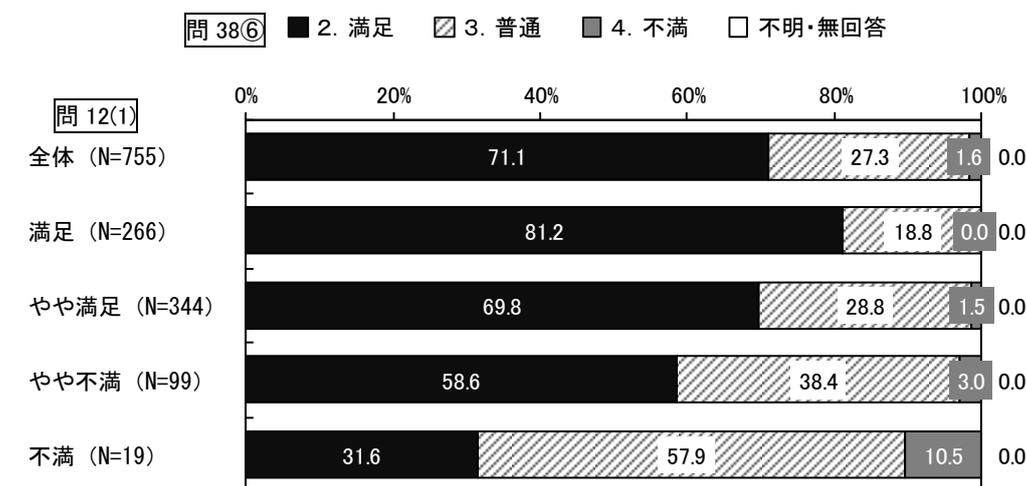
⑤医療機関でのプレママ・パパ教室 (両親教室等) の満足度について、家族や公的なサポートへの満足度が「不満」では「2. 満足」「3. 普通」の割合が同率で、それ以外では「2. 満足」の割合が最も高くなっています。



※不明・無回答除く

《問 38 満足度 [⑥産婦健康診査受診券] × 問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

⑥産婦健康診査受診券の満足度について、家族や公的なサポートへの満足度が高いほど、「2. 満足」の割合が高くなる傾向がみられます。

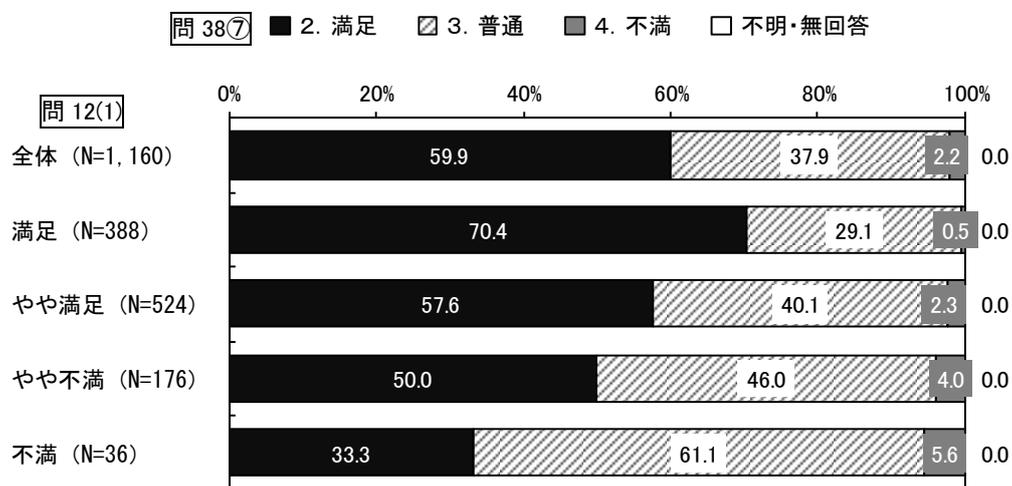


※不明・無回答除く

《問 38 満足度 [⑦こんにちは赤ちゃん事業（新生児等訪問指導事業）] ×

問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

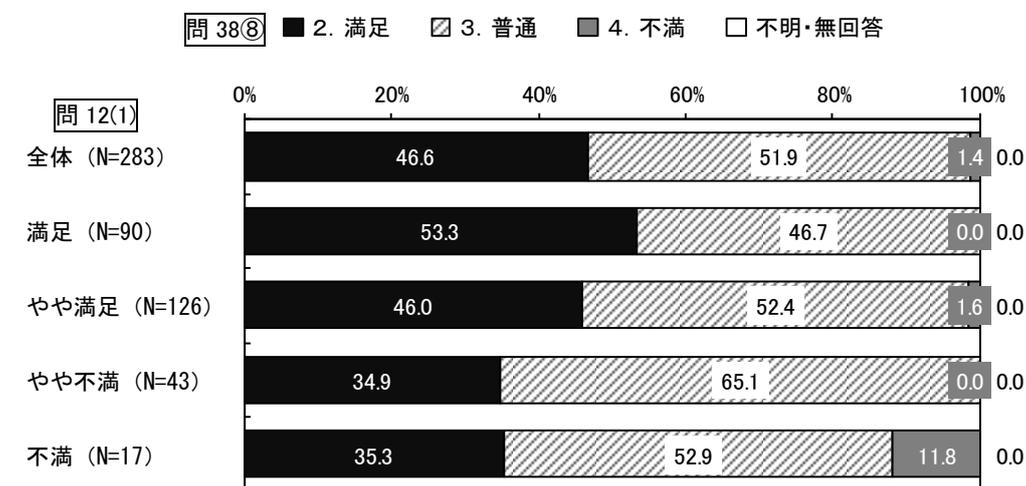
⑦こんにちは赤ちゃん事業（新生児等訪問指導事業）の満足度について、家族や公的なサポートへの満足度が高いほど、「2. 満足」の割合が高くなる傾向がみられます。



※不明・無回答除く

《問 38 満足度 [⑧乳幼児歯科相談] × 問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

⑧乳幼児歯科相談の満足度について、家族や公的なサポートへの満足度が高いほど、「2. 満足」の割合が高くなる傾向がみられます。

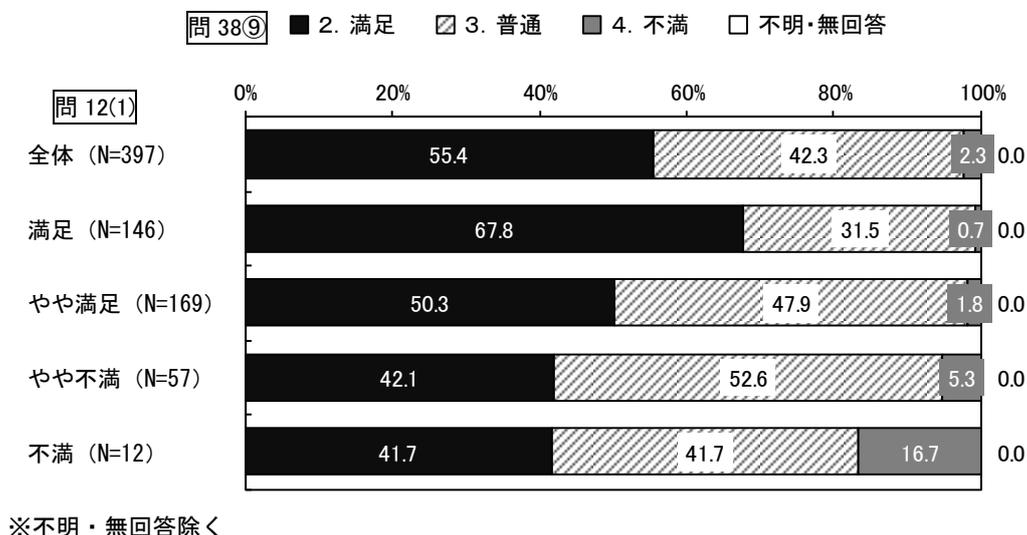


※不明・無回答除く

《問 38 満足度 [⑨ふれあいファミリー食セミナー「離乳食講習会」] ×

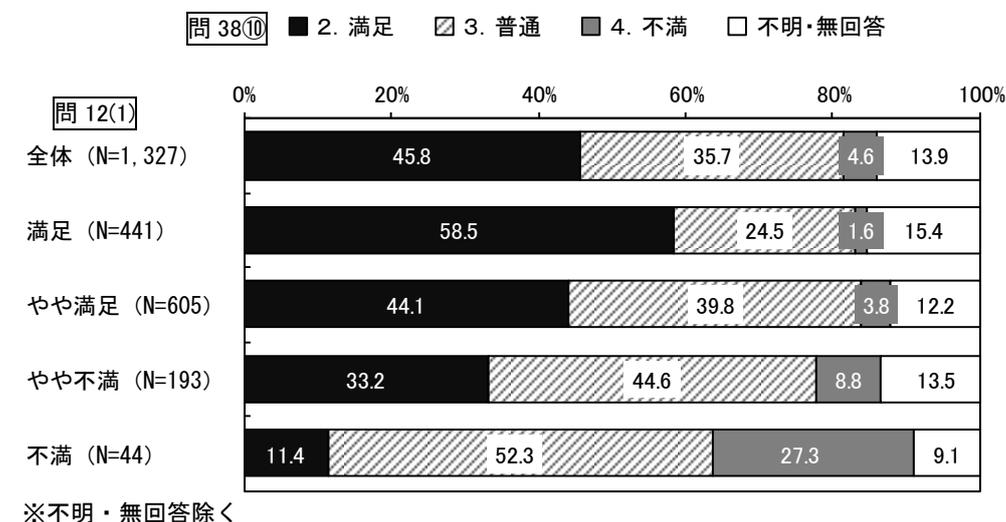
問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

⑨ふれあいファミリー食セミナー「離乳食講習会」の満足度について、家族や公的なサポートへの満足度が高いほど、「2. 満足」の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 38 満足度 [⑩乳幼児健康診査] × 問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

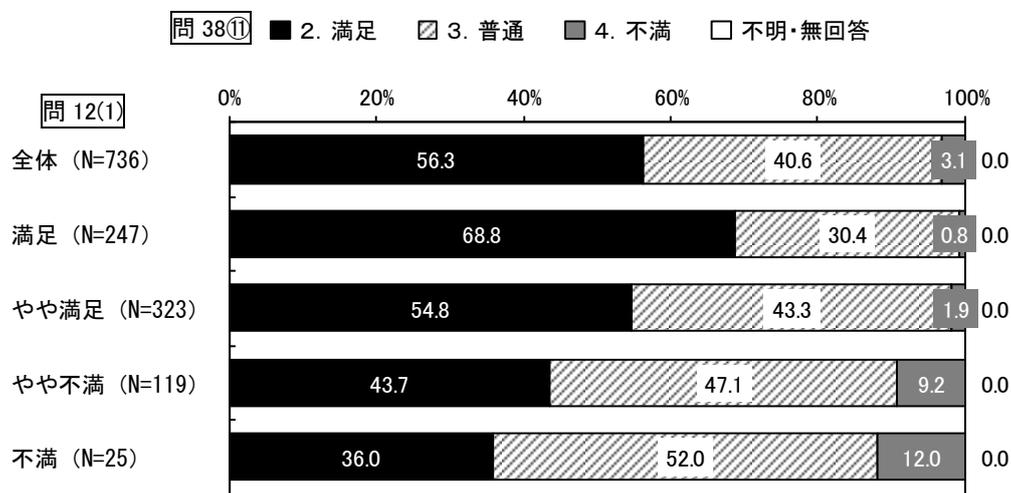
⑩乳幼児健康診査の満足度について、家族や公的なサポートへの満足度が高いほど、「2. 満足」の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 38 満足度 [①児童館・保育園・つどいの広場等の子育て講座・交流会等] ×

問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

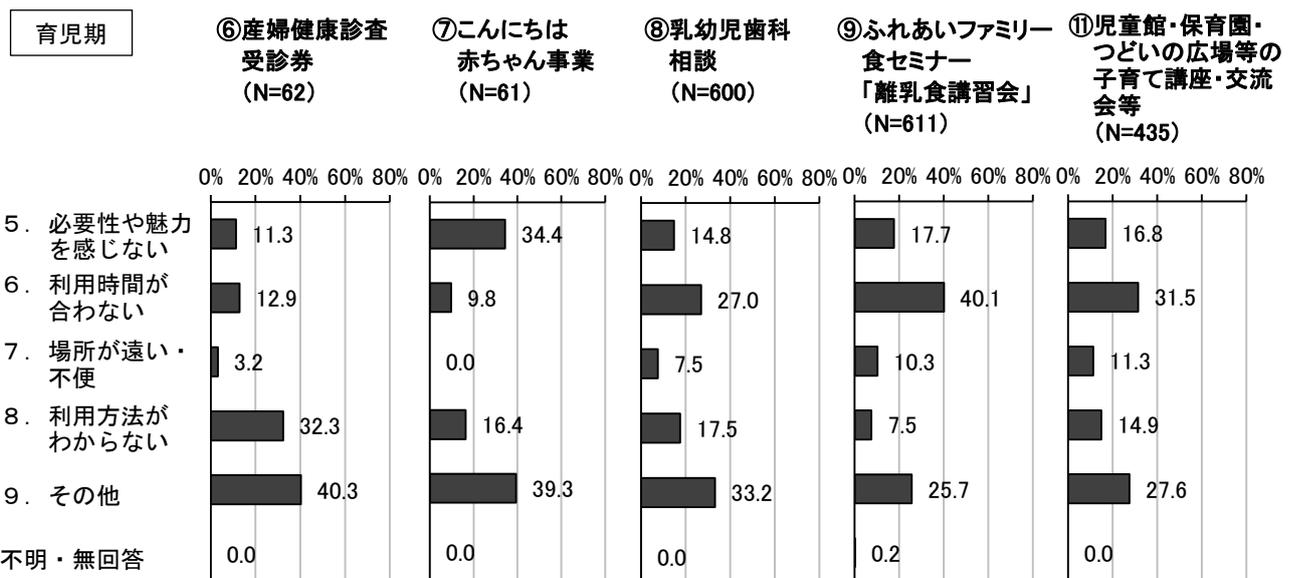
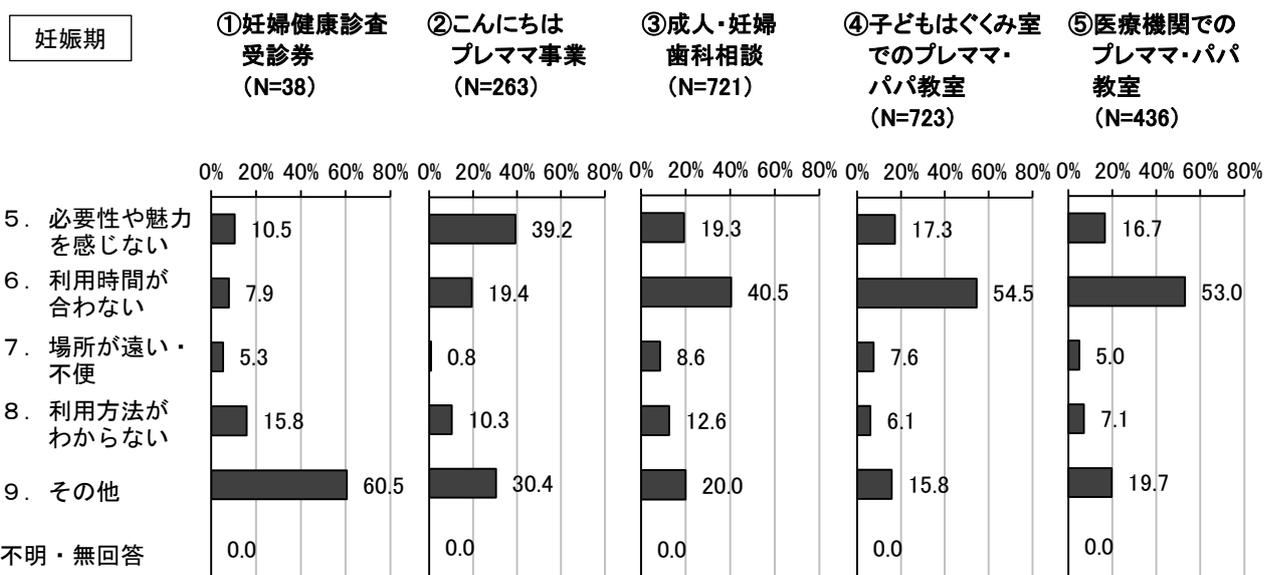
①児童館・保育園・つどいの広場等の子育て講座・交流会等の満足度について、家族や公的なサポートへの満足度が高いほど、「2. 満足」の割合が高くなる傾向がみられます。



※不明・無回答除く

◆利用したことがない理由（〔⑩乳幼児健康診査〕を除く）

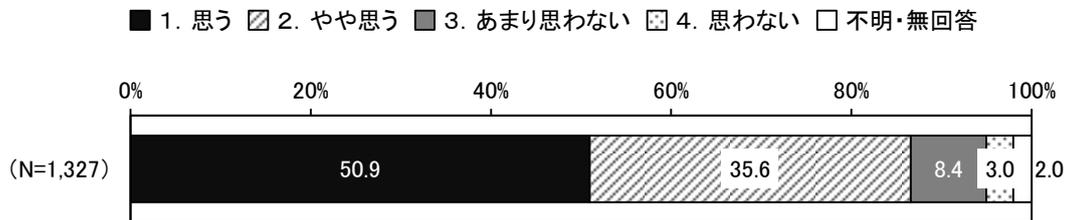
サービスを知っているが利用したことがない理由について、「9. その他」を除き、〔②こんにちはプレママ事業（妊婦訪問）〕〔⑦こんにちは赤ちゃん事業（新生児等訪問指導事業）〕では「5. 必要性や魅力を感じない」、〔③成人・妊婦歯科相談〕〔④子どもはぐくみ室でのプレママ・パパ教室（両親教室）〕〔⑤医療機関でのプレママ・パパ教室（両親教室等）〕〔⑧乳幼児歯科相談〕〔⑨ふれあいファミリー食セミナー「離乳食講習会」〕〔⑩児童館・保育園・つどいの広場等の子育て講座・交流会等〕では「6. 利用時間が合わない」、〔①妊婦健康診査受診券〕〔⑥産婦健康診査受診券〕では「8. 利用方法がわからない」が最も高くなっています。



※〔⑥産婦健康診査受診券〕は平成29年4月1日以降に産産された方が対象

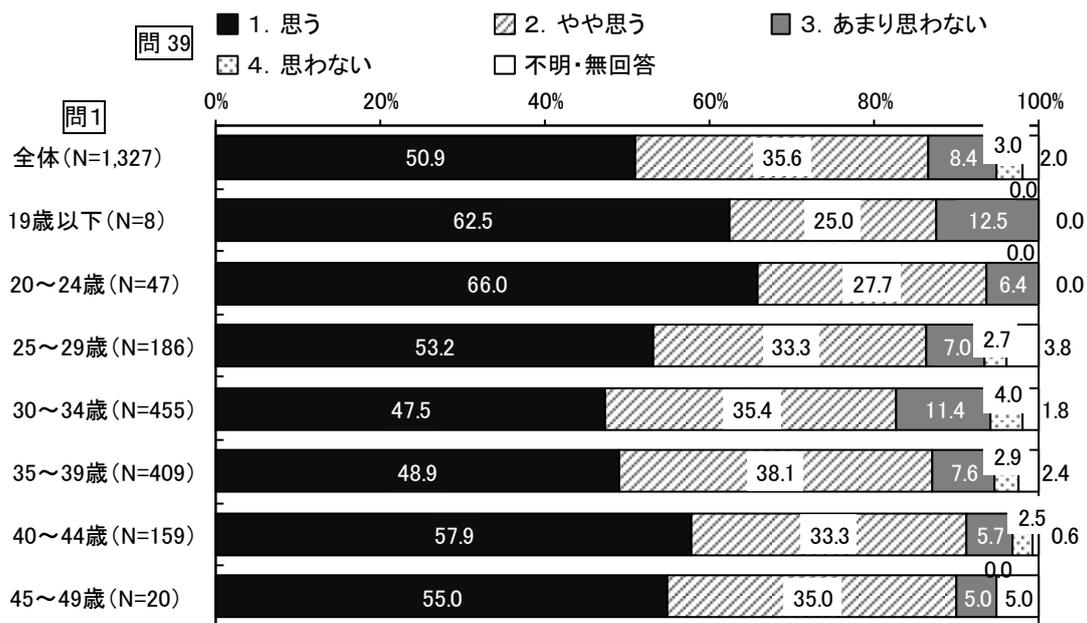
問 39 今後も京都市で出産や子育てをしたいと思いますか。(〇は1つ)

「1. 思う」が50.9%と最も高く、次いで「2. やや思う」が35.6%、「3. あまり思わない」が8.4%となっています。



《問 39 定住意向 × 問 1 年齢別》

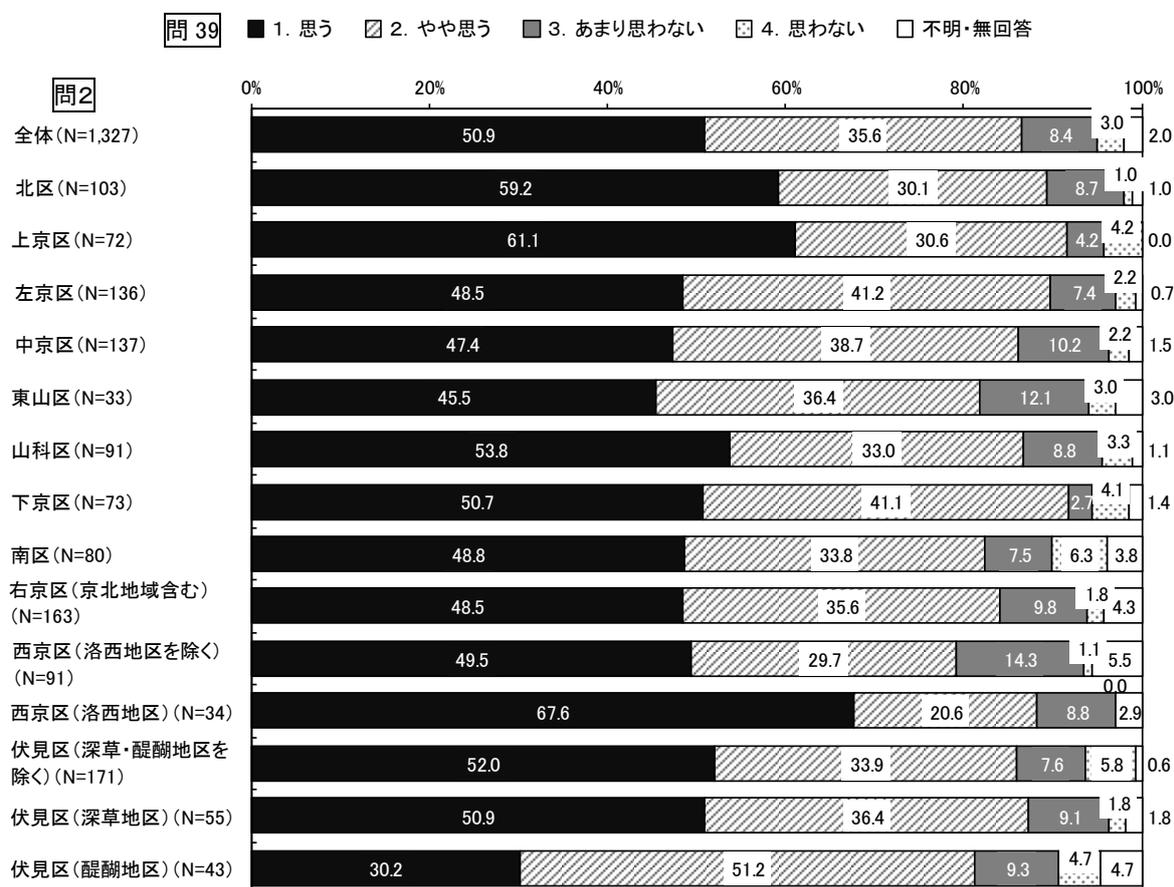
「20～24歳」では、今後も京都市で出産や子育てをしたいと【思う（「1. 思う」と「2. やや思う」の合計）】の割合が、「30～34歳」では【思わない（「3. あまり思わない」と「4. 思わない」の合計）】の割合が、他の区分に比べ最も高くなっています。



※不明・無回答除く

《問 39 定住意向 × 問 2 居住区別》

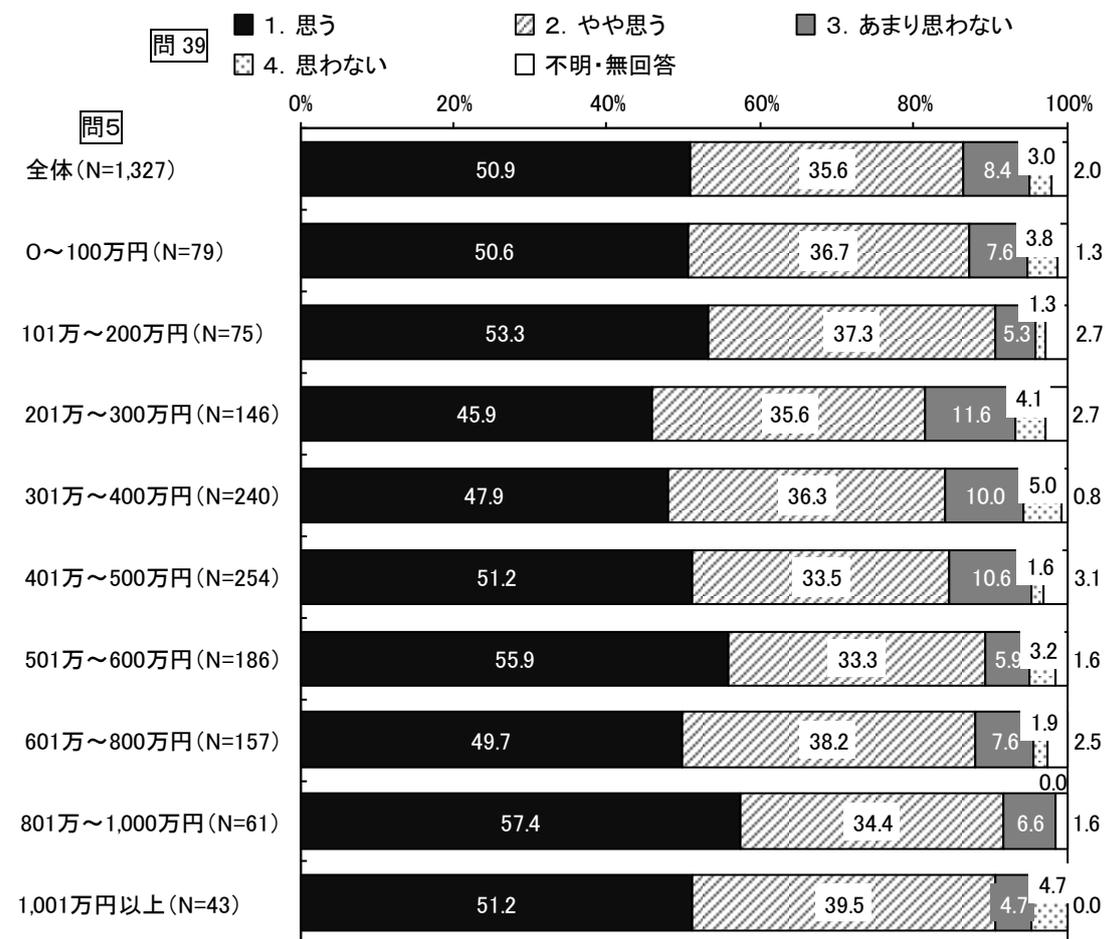
今後も京都市で出産や子育てをしたいと【思う（「1. 思う」と「2. やや思う」の合計）】の割合は、「下京区」「上京区」「左京区」において、【思わない（「3. あまり思わない」と「4. 思わない」の合計）】の割合は、「西京区（洛西地区を除く）」「東山区」「伏見区（醍醐地区）」において、他の区分に比べ高くなっています。



※不明・無回答除く

《問 39 定住意向 × 問 5 可処分所得別》

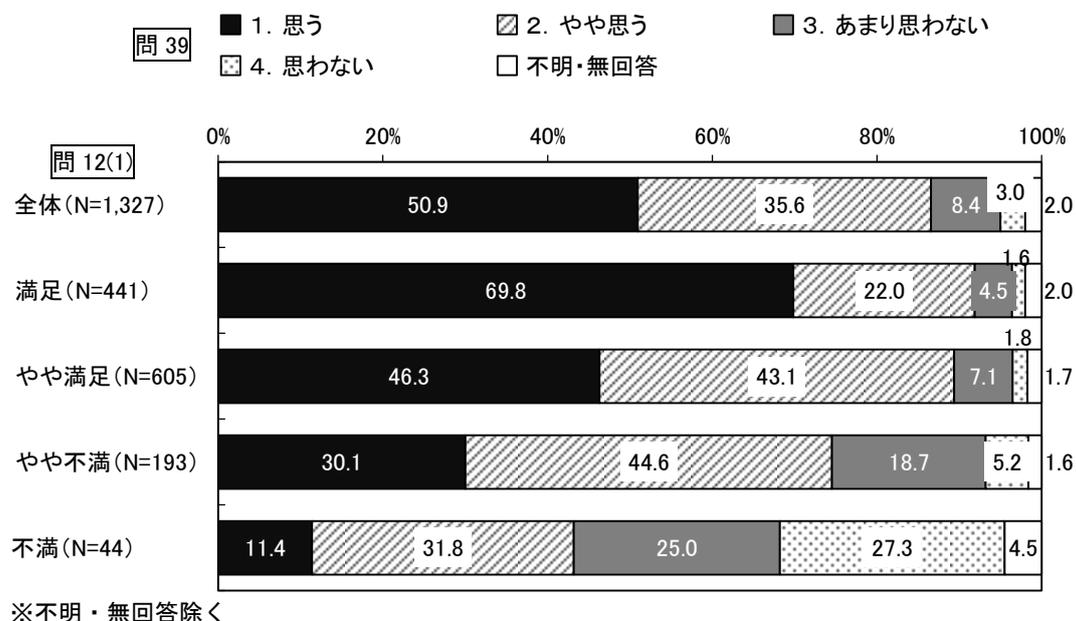
今後も京都市で出産や子育てをしたいと【思う（「1. 思う」と「2. やや思う」の合計）】の割合は、可処分所得が「801万円～1,000万円」「1,001万円以上」「101万円～200万円」において、【思わない（「3. あまり思わない」と「4. 思わない」の合計）】の割合は、「201万円～300万円」「301万円～400万円」「401万円～500万円」において、他の区分に比べ高くなっています。



※不明・無回答除く

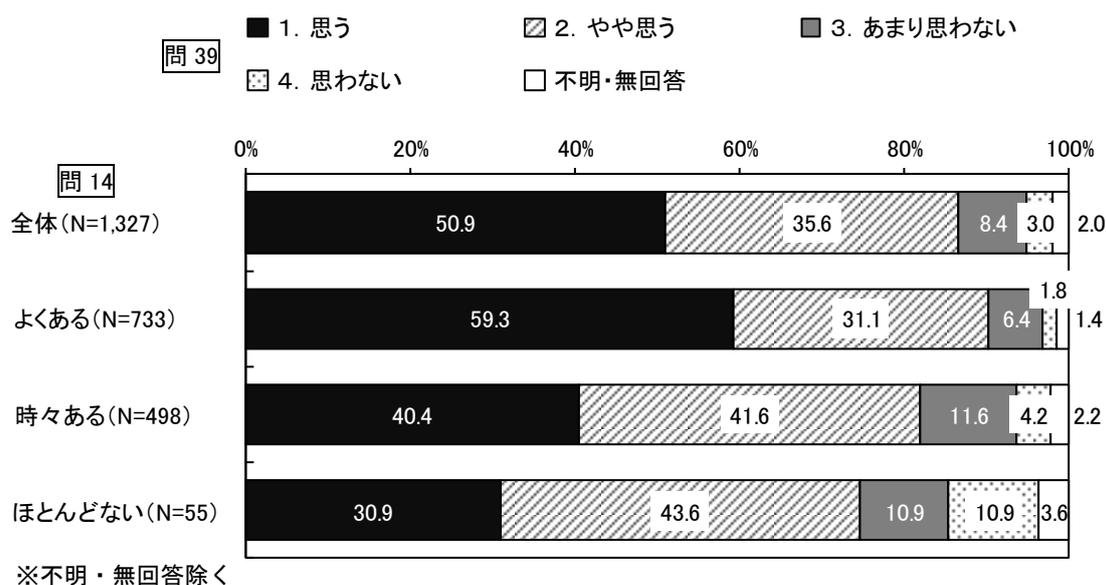
《問 39 定住意向 × 問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

家族や公的なサポートに対して「満足」「やや満足」では、今後も京都市で出産や子育てをしたいと「1. 思う」, 「やや不満」「不満」では「2. やや思う」の割合が最も高くなっています。また、家族や公的なサポートに対する満足度が下がるほど、今後も京都市で出産や子育てをしたいと「3. あまり思わない」「4. 思わない」の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 39 定住意向 × 問 14 ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間別》

ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間があるほど、今後も京都市で出産や子育てをしたいと【思う（「1. 思う」と「2. やや思う」の合計）】の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 39 定住意向 × 問 15 子育てしにくいと感じるか別》

子育てしにくいと感じるほど、今後も京都市で出産や子育てをしたいと【思う（「1. 思う」と「2. やや思う」の合計）】の割合が低くなる傾向がみられます。

